滿洲日報
昭和七年六月二十九日　滿洲日報　（水曜日）　第九千四百五號　（一）
第三種郵便物認可

波紋は世界大に
安東海關を强制接收
昨日引繼を完了
直ちに事務開始布告

安東海關接收に關し滿關監督保旭昌より廿七日タルボット海關長に對し去就を明かにされたしとの要求をなした所 **海關長は滿洲國政府の海關吏たるを得ずと斷つた**ので二十八日朝十時監督は崎川顧問、遊動警察隊長及通譯を隨へ海關本館に海關長を訪問書類の引渡を要求せるに「二十七日夜總稅務司より引繼ぐべからずとの電命あり應じ難し」と拒絕したので警察隊長は已むなく**强制接收を通告し海關長もこれを諒した**時に午前十一時直に中華民國の國旗は降されて滿洲國國旗は高らかに海關に揭揚された、**引繼は午後一時二十分終り**海關監督は布告第一號を以て二十八日接收を了し滿洲國安東海關と改稱し事務を開始せる旨布告した、海關監督は當分海關長の事務を執るはずである【安東電話】

濱江關の接收を容認
英人稅務司の態度決定

【ハルビン特電二十八日發】濱江關監督巴英額は臨時稅務司として就任したが右に關し英國の態度如何は當地外交界において注目の焦點となつたが本問題に關し舊稅務司プレテジヨンは二十七日終日英國領事館においてハアスチン領事と協議した結果滿洲國のさきの聲明に信賴し海關接收は容認すべきものである、隨つて海員の處置に關しては地方的問題として滿洲國當局と協議し決定すべきだと一致した模樣である

圓滿解決の希望あり
日本政府斡旋に努む

【東京二十八日發】滿洲海關問題は滿洲國の大連海關接收要求と南京政府の福本海關長罷免等により紛糾し英米佛伊など關係國の耳目を衝動し大連海關が日本政府の行政權下に存在する處から本問題に對する日本政府の處置を中心に一兩日以來リンドレー（英）マッテル（佛）マヨーニ（伊）トロヤノフスキー（露）各大使は相次いで外務省に有田次官を訪れ問題の經過及び日本政府の斡旋方につき注意を喚起し又は希望を開陳し來つて居る本問題に對しては帝國政府は既報の方針に基き**滿洲南京兩政府間に事實に卽した妥協解決に導びく居中斡旋を試みつゝあり福本氏罷免により問題は激化せるも政府は尙ほ圓滿解決の希望をつないで居る**而して日本政府と支那との間に解決交涉に際し双方提出の二個の妥協案は左の如きものである

支那案

滿洲國の滿洲各地海關接收は大連を除きこれを默認するが大連海關收入は全部これを南京政府のものとし南京政府は右のうちより滿洲各地海關の外債擔保分を負擔する

日本案

支那の關稅制度保全並びに外債擔保の確保は飽迄これを尊重するが大連海關收入が張學良の手に渡つた例に鑑み、南京政府は大連を含む滿洲各地海關收入を滿洲國をして使用する事を默認されたし但し海關收入中の外債擔保分は滿洲國で負擔する

かくて兩者の開きはわづか三百萬海關兩にすぎぬを以て妥協の餘地ありと觀られ英佛等も斡旋的態度を執つて居るから解決もさして遠からぬと期待されて居る

日本政府が壓迫せば瓦房店において徵稅
大橋外交部次長聲明

本紙夕刊一部所報のごとく滿洲國外交部次長大橋忠一氏は二十八日大連を引揚げて新京に歸るに臨み午後二時大連記者團に對して左のごとき聲明書を發表した

廿七日東京發電によれば日本政府に於ては滿洲國が直に大連海關を接收せんとするは日本政府の默視し難きところなりと稱してゐる、しかし乍ら滿洲國は大連海關を接收したに非ず、當然滿洲國に歸屬すべき稅收を徵收してゐるに過ぎぬ、支那海關はその機能を停止してゐるに過ぎず存在することは依然として存在してゐる

◇

しかして斯のごとき事態を惹起した成行を說明すれば滿洲國は三月二十日以來、支那海關制度保全、外債擔保主義の趣旨によつて全滿洲國に屬する稅收を徵取する目的をもつて南京政府に提議をなし實に三箇月の間あらゆる方法によりその受諾を促し、若し聽かずんば海關制度を破壞に導くがごとき事態に立ち到ることを警告し來つた、しかるに今回日本政府が積極的に兩者の間に立ち妥協の斡旋をしてゐる最中突如として海關制度保全のために盡力してゐた福本稅關長を懲戒免職として絕對に妥協の意志なきことを表明すると共に滿洲國および日本の面上に爆彈を投じた、こゝに於いて滿洲國はかねて繰返へして來れる警告に從ひ斷乎として奧地海關を接收して既にその業も殆んど全部完了した、その際に於いて滿洲國は稅務司および海關員に對し若し彼等にして滿洲國關員としてその命令に服從するにおいてはその地位を保護してペンションその他の個人的權益を引續くることを忠告してその留任を極力勸告し右に應ぜざる者のみに對し已むを得ず立退きを要求するといふ合理的方法に出でた

◇

大連海關においては六十餘名の邦人海關員は福本稅務司に對する宋子文の暴戾なる措置に憤激し同稅務司を擁護し且つ新國家の理想に共鳴し敢然として南京政府に辭表を叩きつけ必死的決意をもつて滿洲國のために關稅徵收を開始した、かくてその後無事に職務を遂行しつゝある、かくのごとく南京政府の理不盡なる態度のために新國家は非常なる決意をもつて斷行し最早何者の來りて容喙するもこれを動かすことは不可能となつた、從つて大連においても如何なる迫害が及ぶも斷乎として徵稅を繼續する決意を有してゐる、もし日本政府等の壓迫により事務の遂行不可能となるに至らば已むなく瓦房店に引揚げ徵稅事務を徹底的に行ふより他なし

◇

抑も大連の海關は瓦房店にあるをもつて當然とするに拘らず日本側の希望により大連繁榮のため特に大連に持つて來たに過ぎず、從つて日本側が大連における事務を妨害すれば本來の瓦房店を死守するのみ、日本側は附屬地における行政權を主張するも苟くも滿洲國に關稅徵收權ありと認むる以上國境の中に突き出してゐる數百哩の附屬地において新國家が關稅權を行ふ能はずとは非常なる矛盾で結局新國家の關稅權を否認する結果となる、吾人は斷じて斯る不當なる主張に隨從する能はずしかも不法にも實力を以つてこれを阻止するがごとき場合には已むなく大都市の附屬地の周圍に多數の關所を設け誅求苛察に稅金を取立つるのみ、これをしも實力をもつて阻止せんか創建日なほ淺き新國家は崩壞の他なし、吾人は南京政府が當然滿洲國の取得すべき大連海關の收入千數百萬海關兩を盜みこれをもつて滿洲國の治安紊亂のために使用するを認むるを得ず

滿洲國はこゝに我國に對して滿腔の同情を表ぜらるる日本國民の明鑑に愬へんとするものである

大同元年六月二十八日　滿洲國外交部次長　大橋忠一

『何が輕率だ！もう我慢は出來ぬ』
日滿關係に與へる重大な示唆
大橋次長激越に語る

別項のごとく大橋外交部次長の聲明書は言辭內容および發表の態度ともに激越を極めたもので大連海關問題に關する環境が如何に惡化して居り且つその間に處して滿洲國政府が初志貫徹に如何に鞏固な決意を有するかを物語るものである、ここに右聲明書は主として日本國民に對して向けられてゐることは、日本政府が本問題に關し滿洲國の態度を遺憾としてゐるとの東京電報を對比して今後の日滿關係に重大な示唆を與へるものとして注目されてゐる、なほ大橋氏は記者團との會見後さらに本社記者に對し自室において左のごとく所感を述べた

海關問題に關する滿洲國側の處置が輕率だと非難してゐるやうだが、一體何が輕率だ、我らは三月二十日に南京政府に通牒を發して以來實に三箇月間辛抱してゐる、南京政府はこの當方の好意を無視した上、折角斡旋中の福本氏を馘首したのだ、福本氏らが滿洲國海關に奔つて來たのは當然であり、又我らが滿洲國內の海關收入をこれ以上敵意を有する南京政府に渡すべからずと決意したのは當然だ、故に罪は南京政府にあり決して我滿洲國政府の非難さるべき筋合でないと信ずる

◇

さらに今次の事件で痛切に感じたことは、滿洲國は眞正の獨立國でなく日本政府の傀儡にすぎぬといふ認識不足の考へ方を支那人や外國人はもとより、日本人中にも抱いてゐる者が無きにしもあらずといふことである、これは謬れるも甚しいものである、成る程滿洲國政府には我らを首め多數の日本人が居るが、これは日本政府から派遣されたものでも何でもなく從つて日本政府の意によつて動くものではない、今次の事件で外支人はもとより日本人中の一部の人々も滿洲國が日本の意志からも獨立した完全な獨立國だといふことを切實に感じたらう、その意味で何かの功德はあつたやうな氣はする

◇

結局、瓦房店に新關を設けることになるだらうといふのか、それは今後の發展如何によるので何とも云へぬ、しかしこんな調子で行くと僕らは長春の附屬地から追放されるかも知れぬれ、要するに僕らは捨身で働いてゐるのだ、何ら利害の念を離れて滿洲の三千萬民衆の幸福のために働いてゐるのでこの意味で僕らは長らへる者なしだ

大連海關物語
子口半稅と三聯單の發給（中）
海關長は日本人

大連の海關制度は前にも一言したように露支間の協定によらずして、明治四十年五月三十日、わが國特命全權公使林權助氏と支那總稅務司サー・ロバート・ハート氏が、北京に於て締結した大連海關設置に關する協定及內水汽船航行に關する協定によるものである。福本海關長は突如として罷免されたが、海關長の任免に關する條項を見るに、その第一項に於て大連海關長は日本の臣籍を有するものたるべし、該海關長新任の場合には、總稅務司は在北京日本公使館に協商を遂ぐべし

同じく第三項に於て

大連海關長の更迭は豫め總稅務司より關東都督に通告すべしと規定し居り、これによつて明かなる如く、福本海關長の罷免に當りては、豫じめ關東長官に通告すべき義務を有するものである、日本が條約違反の抗議を提出せる所以もこの點にあると解せられる。日滿兩協定の各項につきこれを列擧することは頗る繁雜であるから、以下大まかに解說を加へることにする。

◇

繰返す迄もなく、大連海關長は日本人たることを條件とし、その職員は日本人たることを原則としてゐるが、假に缺員の生じたる場合、若くは臨時必要ある場合は、他國人を採用するとの除外例を認めてゐる。而して關稅率は一般海關原則に從ふものだが、出入貨物の課稅法に至つては、他の海關と全然その趣きを異にしてゐる、海路大連に輸入する商品には輸入稅が無い。これ自由港の然らしむるところだが、併し日本の租借地境界を越え、州外に至る各種の商品及び產物は、海關に於て現行條約に從ひ輸入稅を課せられる。又支那の條約港より大連に移入される支那商品若くは產物は日本の租借地に在る限り無稅だが、州外に出る場合は沿岸貿易稅を納めねばならない、大連より輸出する外國品、州內の生產品及製造品は總て無稅だが、州外から租借地を經て輸出せらるゝものは輸出稅を課せられる。

◇

次に大連より州外に輸出し、遂に州外より大連に輸入する商品に對して、大連海關より通過免狀の發給を受け、その通過免狀に對しては、輸出稅若くは輸入稅の半額、いはゆる子口半稅をば大連海關に納入すれば足りる、その通過免狀卽ち三聯單の發行に關する海關監督の職務は、大連に監督が駐在せぬため、大連海關長によつて行はれる。又大連を起點とする沿岸通商地との航運に從事する汽船は大連を支那の一通商地たる地位に置き、大連海關が大連と支那沿岸各地との間に行はるゝ帆船貿易を管理する點は、難關に於けると同樣である。滿洲國の大連海關接收が名實共に完全に行はれるか否かは今後の折衝に待たねばならぬが何れにせよ關稅制度の保全は幾度か滿洲國政府によりて聲明せられたところだ。從つて大連海關の制度も何等の變更なきものと信ぜられる。よし多少の變更を見るとありとしても大同小異のものたるに相違はない、大連海關問題の發生を機會に理に落ちると知りつゝその制度を見直したる所以もこゝにある。

◇

事の序に大連海關の組織を一瞥してみよう。稅務司、副稅務司はこゝに述べる迄もあるまい。海關長が日本人たることを條件とし、その職員もまた日本人たることを原則としてゐるのは、大連海關が租借地內に在りて、特殊關係にあるが爲に外ならぬ大連海關はこれを大別して內班と外班とに別ち、更に左の如く區別される

內班　徵稅課　秘書課　會計課　統計課

外班　監視課　檢查課　監查課

更に旅順に分館があり、普蘭店、金州、貔子窩、城子疃に各監視所、甘井子に監視課出張所がある、檢查課には更に貨物檢查所、準頭檢查所、寺兒溝檢查所、大連驛檢查所、沙河口檢查所がある。日本人職員は外班五十二名、內班十名合計六十二名、別に支那人職員は幇辦二名を除き外班に六十數名、尙英文をものする必要上秘書課に外人一名がゐたわけだ、事務官に當る幇辦は十名程度である【寫眞は現在の滿洲國關稅徵收所】

知事異動發表
廿八日閣議で決定

【東京廿八日發】地方長官の異動は本廿八日の閣議で左の如く決定す

前樺太長官　縣忍
任大阪府知事（一等）
和歌山縣知事　唐澤俊樹
任內務省土木局長（一等）
大阪府知事　齋藤宗宜
任京都府知事（一等）
京都府知事　橫山助成
任神奈川縣知事
神奈川縣知事　遠藤柳作
任愛知縣知事（一等）
前內務省衞生局長　赤木朝治
任福島縣知事（一等）
京都府內務部長　田口易之
任大分縣知事（二等）
內務省會計課長　武部六藏
任秋田縣知事（二等）
社會局書記官　一戶二郎
任愛媛縣知事（二等）
福岡縣內務部長　福邑正樹
任島根縣知事（二等）
靜岡縣內務部長　清水良策
任和歌山縣知事（二等）
內務省土木局長　湯澤三千男
任廣島縣知事（一等）
廣島縣知事　千葉了
任新潟縣知事（一等）
前山形縣知事　山口安憲
任石川縣知事（一等）
前宮崎縣知事　半井清
任栃木縣知事（一等）
富山縣知事　鈴木敬一
任熊本縣知事（一等）
前內務省保險部　石原雅二郎
任山形縣知事（一等）
前大分縣知事　阿部嘉七
任茨城縣知事（一等）
內務省河川課長　岡田文秀
任千葉縣知事（一等）
秋田縣內務部長　福島繁三
任埼玉縣知事（二等）
新潟縣內務部長　關屋延之助
任山梨縣知事（一等）
長崎縣內務部長　多久安信
任青森縣知事（一等）
埼玉縣知事　宮脇梅吉
任岐阜縣知事（一等）
愛媛縣知事　久米成夫
任奈良縣知事（一等）
茨城縣知事　君島清吉
任香川縣知事（一等）
奈良縣知事　齋藤樹
任富山縣知事（二等）
岐阜縣知事　伊藤武彥
任靜岡縣知事（一等）
元臺灣總督府內務局長　小栗一雄
任福岡縣知事（二等）
社會局書記官　川西實三
任社會局部長（二等）補保險部長
新潟縣知事　小幡豐治

依願免本官

內務事務官　三橋孝一郎
社會局部長　山本理一
北海道廳部長　楠木壽雄
千葉縣知事　大久保留次郎
栃木縣知事　豐島長吉
愛知縣知事　尾崎勇次郎
山梨縣知事　芝辻一郎
滋賀縣知事　新庄祐治郎
福島縣知事　村井八郎
青森縣知事　宮本貞三郎
山形縣知事　川村貞四郎
秋田縣知事　內田隆
石川縣知事　平賀周
島根縣知事　八木林作
香川縣知事　伊藤昌康
福岡縣知事　中山佐之助
大分縣知事　永野清
熊本縣知事　山下謙一

休職被仰附（各通）

翰長各方面に諒解を求む

【東京二十八日發】地方長官の更迭は愈々二十八日の閣議で決定されるが、今回の異動に當つては政民兩黨の間にはデリケートな關係にあるので齋藤首相も閣內の紛糾を防止すべく柴田翰長に命じて二十七日來關係各方面を歷訪諒解を求めしめ午後七時柴田翰長は山本內相を訪ひ最後の協議を爲した後同八時半鳩山文相を訪問詮衡事情を詳細に說明諒解を求めたが文相は知事と同時に部長の異動も行はれたい旨希望を述べ九時辭去した

異動案閣議

【東京二十八日發】二十八日定例閣議は午前十時開會山本內相より地方長官異動原案を提示し現內閣成立の主旨に鑑み公正に黨派的心事を去つて作成した、現地方官中罷免十六名、新進拔擢八名補充は復活八名、これが作成に就いては充分考慮したからこの點諒とされたいと述べ是に對し鳩山三土兩相より現內閣は官吏の身分保障を實行する考かと質したるに山本內相は當然實行すべきであると答へ全閣僚はこれに贊成した、次いで鳩山、三土兩相は現內閣は官吏の身分保障をなすならば當然地方長官の任免に就き委員會を組織する譯であるが今回の異動に就いてもこの委員會で詮衡すると同樣の精神で決定すべきであると提議したが內相の原案に就き懇談するに決し書記官長、法制局長官退席の上案の審查檢討を行ひ正午一先づ休憩した

海關問題は未だ正式に調查團に通告せず
北平支那要人の意見

【北平二十七日發】支那側某要人語る 日本行一行の委員五名は秘書並に專門家同道二十八日午後五時北平發山海關にて特別列車に乘換へ奉天より朝鮮經由東京に向ふが、東京着は來月二日夕刻の豫定で日本政府と最後的協議を遂げ滯在は二、三週間となるべく支那側隨員は一名も同行せず北平に殘る、支那側隨員は未成の書類を共同整理する筈である大連海關問題に關しては正式に通告してゐないが問題が重要問題なので調查團の調查範圍に入るものと觀らる

調查報告延期案
日本は保留附で承認

【ジュネーヴ二十七日發】調查團報告延期案は二十九日の臨時總會で討議されるが、右に先立ち十九ケ國委員長イーマンス氏より日支兩國側にその承認を求めてゐたところ本日々支兩國とも承認する旨を回答した、但し支那側は

一、事態がこの上惡化せざる事
二、リットン卿の調查委員報告書は來る十一月一日以前に提出をなす可き事

の二條件を附しており、又日本側でも從來聯盟規約十五條の不適用を主張し來つた建前から總會に之を附議する事には原則上承認を與へ難いとの留保條件を附してゐる

滿洲國民の感情を日本國民に傳へる
きのふ奉天で　丁訪日代表語る

滿洲國國民代表として渡日する丁鑑修氏一行は二十八日午後一時二十分奉天着、後宮大佐、森岡領事、唐省長代理等その他官民多數に出迎へられたが氏は貴賓室において語る

今度の渡日は日本が滿洲國を未だ承認してゐない種々な關係もあるので政府代表としてではなく國民代表としての資格で行くのである、着京後直ちに各國務大臣その他要路と會見懇談の手筈であるが最も大きな目的は滿洲國民の思想感情等を日本國民に傳へ兩國民の親善連絡を圖るにある、就中日本が一日も早く滿洲國を承認されるについて國民として諒解を求むることは勿論である、尙借款その他の具體的目的は別にもつて行かないがこれ等の事はより大きな問題である處の日滿兩國の親善が充分出來てから後の部分的問題だ、訪問地は東京の外に大阪、京都、名古屋等大都會を成る可く出來るだけ廣く廻りたいと思つてゐる、旅程は滯日約二週間であるが都合によつては或はもつと永びくかも知れん

斯くて丁代表は直に關東軍司令部を訪問橋本參謀長等と會見懇談の後自邸に入り休憩し午後三時二十五分發安奉線で一路東京に向つた【奉天電話】

調查團は京城に一泊

【京城二十八日發】調查團リットン卿一行は再度訪日の途來る一日夕入城、京城一泊の事と大體決定したので、總督府では一行歡待のため特に特別列車を仕立て便宜を圖る事となり入城當日夕宇垣總督主催の下に龍山總督官邸において盛大な歡迎宴を催す豫定である

民政委員會調查項目

【東京廿八日發】民政黨は廿七日より愈々四大政策特別委員會の調查を開始するに決し先づ午後三時から農村對策特別委員會を開き町田委員長外各委員出席、左の調查項目を決定近く具體案を得ることゝなつた

一、負債整理
二、非常時對策土木事業
三、蠶絲業安定策
四、米穀政策
五、蔬菜、果實、雞卵等の價格に關する件
六、農家負擔輕減問題
七、農村金融問題
八、肥料問題
九、農民自力更生問題

海軍辭令

【東京二十八日發】二十八日左の海軍辭令發令された

第三艦隊司令官　海軍中將　野村吉三郎
海軍々令部出仕　海軍中將　左近司政三
免本職（各通）

社說

吉會終端港と各種の利害點

目下敷設工事が進捗して居る所謂吉會線の終端港に就て、過日の東電は其候補地、即ち西灣滿、雄基、羅津並に清津のうち雄基が最も有力視されて居ると傳へた。由來この問題たる久しく朝野の間に論議せられ、吾人も亦た屢々意見の一端を發表し來つたが、吉會未成の豫定路が、時局に從つて急速に實現性を高め、全部の開通を目睫の間に見んとする今日に於ては、最早や彼これ議論に時を過すことを許さない。當面の急務として是非孰れかに決定せねばならぬ時となつたのである。

◇

自然の情形から各港の適否を檢討すれば、そのいづれにも長短はあるが、位置、水深、背後地などの諸點に於て、雄基は港灣としての資格十分であり、且つ人文的に見ても清津に亞ぐ重要地たるや論を俟たぬ。唯だ缺點は港内水面の狹隘なること、東北風の衝に當つて居ることだ。大津灣及び𤄃浦を隔てゝ雄基の西方に西灣浦がある。地形は南方に向つて展開し、周圍の餘裕亦、他の三港の共に遙かに及ばぬ所だが、豆滿江口のデルタであるだけ低濕の沼澤多く、水深其他に於ても到底大港灣たる資格ないやうに言はれて居る。殊に軍事上にも種々難點が少なくない爲めか、今まで餘りこの地に就て語られなかつた。

◇

どちらかといへば、從來最も盛んに議論の鬪はされたのは、羅津と清津との優劣適否であつて、雄基は常に次善的批評の内に閉ち込められて居た。それは畢竟前に述べた港内面積の狹少なことや、颱風圏内の天候問題などに起因したのだが、併し同時に雄基港にはこの地自體のヒンターランドがあり、羅清のいづれに終端が策定されても、現有の繁榮力は失はれぬてふ自信力が在住者にある爲だと思ふ。處が羅津と清津とに至つては、終端港その者の去就に依つて、直ちに死命の全體が制せられる土地柄なのだ。羅津の加擔者は其の港灣の勝景を說きて、清津の遠く及ばざる所なるを高調する。清津の加擔者は、羅津には背後地なく、且つ鏡城以南の鏈鎖たる實狀を指摘する。斯くて互ひに鎬を削り合つて居たのである。

◇

併し羅津說に比較して清津說の強味は、それが築港上種々風土の缺陷あるに拘はらず、既に今凜との間に五十八哩の幹線をし、四萬の人口と二千萬圓の貿易額とを有する點にあつて、半島行政の局に當る朝鮮總督府としては、之を無視して猶ほ落々農村の點在するに過ぎない羅津に、遽に大々的新犠牲を拂ふことが出來ないのであつた。隨つて常に行政者としての穩健な態度を保つたが、其間に會寧以北の狹軌鐵道は進捗し、それが江岸に沿うて滿鐵に出で、他方訓戒より慶源を經て雄基と相通ずるに至つたが、之が爲に後者は必然的に琿春平野の物資を雄基に流下する勢ひを激成し、羅津間の問題は漸次雄基清津間の繩張爭と變じた。羅津は寧ろ第二次的の位置に低下した形であるが、恰度この際、吉會線の國際的開通期は差迫り、開通後の物資を呑吐すべき終端港決定が急務となつたのだ。

◇

之は確かに時局が與へた北鮮事情の變化であつて、上三峰若くは南陽と、羅津とを連接する鐵路の敷設されぬ限り、雄基の位置は居然として動かすべからざる者となつた。隨つて東電傳ふる如く同港終端說が強調されるとすれば、公平に實際の實情を知るものゝ反對し得ざる所であらう。唯だ注意點は羅津が有する自然の形勝であつて、然し雄基が差當つて吉會の終端となつても、遲かれ早かれ前者の形勝を利用しない譯には行かないやうに、清羅兩港の優劣論が世の耳目を聳動させた時代、雄基在住者はその自から有する基調を確信して疑はずがある。例へば國防上の要塞地帶としても、朝鮮東岸無比の天險と利便さを有して居る。況んや同灣背後の山谿には、石炭その他の礦物を多分に包藏し、更に一路東を指せば、日本海が蓄積する無限の水産物に富めるなどである。何れにしても吉會終端港問題は、それ自體之に隨伴する多くの研究事項を有するが吾人はその一日も速かに決定實現され、人心をして嚮ふ所を知らしめんことを切望したい。

滿洲國政府 舊貨整理法發布
七月一日より施行

滿洲國政府は廿八日舊貨幣整理辦法を發布し七月一日より施行することゝなつた、その全文左の通り

舊貨幣整理辦法

第一條　從來流通したる舊貨幣及び紙幣は本辦法によるの外本辦法施行の日より一切その流通を禁止す

第二條　從來流通したる他の紙幣は本辦法施行後二ケ年間一定の換算率を以て貨幣法の定むる貨幣(單に新貨幣と稱す)同一の効力を有す
期間滿了後はその効力を失ふものとす

一、東三省官銀號發行兌換券（天津券を含まず）
二、邊業銀行發行兌換券（天津券を含まず）
三、遼寧聯合四庫準備庫發行兌換券
四、東三省官銀號發行滙兌券
五、公濟平市錢號發行銅元票
六、東三省官銀號發行哈大洋
七、吉林永衡官銀號發行哈大洋票
八、黑龍江省官銀號發行哈大洋票
九、邊業銀行發行哈大洋票
十、吉林永衡官銀號發行官帖
十一、吉林永衡官銀號發行小洋票
十二、吉林永衡官銀號發行大洋票
十三、黑龍江省官銀號發行官帖
十四、黑龍江省官銀號發行四厘債券
十五、黑龍江省官銀號發行大洋票

第三條　前條の換算率は財政部令を以て之を定む

第四條　從來流通したる奉天の十進銅元は本辦法施行後滿五年間新貨幣一分青銅貨幣との効力を發生するものとす
期間滿了後はその効力を失ふものとす

第五條　第二條第四條に掲ぐる紙幣又は鑄貨は滿洲中央銀行總分、支行において第三條又は第四條により新貨幣と之を引換ふ

第六條　中國銀行及交通銀行はその現在までに發行せる哈爾濱大洋票の額を限度としこれを通用することを得但し本辦法施行後滿五年以内に政府の命ずるところにより之を回收すべし

第七條　熱河省に流通する貨幣に對しては別に之を定む

附則　本辦法は大同元年七月一日より之を施行す

財政部令　第三十五號

舊貨幣整理辦法第三號を以て限定する新貨幣に對する其の換算率を左の通り定む

大同元年六月二十八日
財政部總長　熙洽
同　次長　孫其昌

一、東三省官銀號發行兌換券（天津券を含まず）
新貨幣一圓につき一圓
二、邊業銀行發行兌換券（天津券を含まず）
新貨幣一圓につき一圓
三、遼寧聯合四庫準備庫發行兌換券
新貨幣一圓につき一圓
四、東三省官銀號發行滙兌券
新貨幣一圓につき五十圓
五、公濟平市錢號發行銅元票
新貨幣一圓につき六十圓
六、東三省官銀號發行哈大洋（有監理官印）
新貨幣一圓につき一圓二十五錢
九、邊業銀行發行哈大洋票（有監理官印）
新貨幣一圓につき一圓二十五錢
十、吉林永衡官銀號發行官帖
新貨幣一圓につき五百帖
十一、吉林永衡官銀號發行小洋票
新貨幣一圓につき五十圓
十二、吉林永衡官銀號發行大洋票
新貨幣一圓につき一圓三十錢
十三、黑龍江省官銀號發行官帖
新貨幣一圓につき千六百八十帖
十四、黑龍江省官銀號發行四厘債券
新貨幣一圓につき一圓四十錢
十五、黑龍江省官銀號發行大洋票
新貨幣一圓につき一圓四十錢

附則　本令は大同元年七月一日より之を施行す

議員を非常召集し 市制改革の大評定
近く上京委員を選び 政府筋へ猛運動開始

滿洲國の獨立に關連しわが中央政府は滿洲四頭政治を廢し新統制機關を設置するに當り關東廳の官制改正が目睫に迫りこれに伴ふ大連市の根本市制に劃期的な改革の鐘は鳴り初めた、きのふ二十八日午後四時半より大連市は市會議員の非常召集を行ひ全員協議會を開き慌ただしい中にこれが善後策を討議した協議會は助役室に於て開かれた

出席者は議員側より大内、田中正副議長、今村、牛島、仙波、高塚、大西、邵、芦刈、品田、笠原、相川、石本、矢野、小野鈴木、佐多、高橋猪各議員、市理事者側よりは小川市長、岡野助役、眞鍋臨時市制調査課長先づ大内議長より全員協議會召集理由の挨拶あり

小川市長　滿洲國の獨立に伴ひわが中央政府は統制機關を設置する事となりしかもそれは七月中には實現するやうに傳へられてゐる、さうなれば關東廳は廢止され關東州知事を置く事となるがこの官制改正に關連し大連市制などうするかの重要問題が起つて來る、しかもこの問題は迅速に促進させねばならない必要に迫られてゐるので臨時市制調査課長にその旨を含め調査せしめてゐるが市制の根本改善は各方面の聲でこれをどういふ風にやつて行くかに就き諸君の御意見を承りたい
さて別項市制改革私案を一わたり說明したる後
でソレ以前に運動しこの市制根本改正の好機會を逸せず目的達成のため邁進したいと思ひお集りを願つた次第である
と說明するところあり

石本議員　事務の擴張は贊成だが市長の官選は反對だ
これに對し小川市長の辯明あり、高塚議員は小川市長聲議の意見を述べ

牛島議員　國家重大の秋、これを大連市民の聲として政府に提出するのか、滿洲統制機關の決定後大連市制はかうすべきだと提出するのか

市長　私は民政署長、關東長官に對して此案を勅令として出すことを要求する、今法制局では官制の審議中と聞いてゐるから此際市より案を提出して諒解を得たいのである
この時笠原、小野兩議員より贊成の意見開陳あり

芦刈議員　大いに贊成である から早速委員會を設け審議する一方市理事者と市會議員中より

市長　この案は一ケ月前より練つてゐた、だが事態かく逼迫した以上は早急な必要さするから諸君の贊成を得たら二、三日中に上京し政府要路に運動して見たいと思つてゐる、仙波君は勿論他の議員の方からも二、三名一しよに上京して貰ひたい

田中副議長　何かといへば市會議員は上京々々と口にするが上京して運動する一面には市民の誤解を受ける虞れがあるから慎重に考慮したら如何

芦刈議員　かうした重大問題で市民に遠慮する必要が何處にある、われ〳〵議員は市民より市の問題に關しすべて依囑されてゐるではないか
斯くて市制の根本方針を確立すべき協議會は大體に於て小川市長の提案に贊成したがなほ市長案の大綱を印刷し配布の上兩三日中に再開する事とし六時四十分散會した

市制改革
きのふ市會で發表した
小川市長私案

私案の一端を申せば此の大連市は市制の始めから民政署の仕事とダブツてゐた點が少くなかつた

……から之れをしたものにしたいのである。併し民政署の仕事と申しても官有財産とか國稅徵收とかの國の事務に關しては官吏でなければやつて行けない仕事もあるが營業稅、雜種稅、水道等國の事務以外のものは大連市に合併してやつて行きたいのである。小學校の如きも全部市でやり中學校の如きも收入の點を考慮して實科に屬するものはやはり市でやつて行きたいのである。豫算から申せば現在大連市の豫算は百萬圓内外であるが行國の事務以外の仕事を

合併　すれば四百萬圓乃至は七百萬圓、近き將來に於ては一千萬圓にも達するであらう。而して刻下の急務である市場問題の改組案解決と相俟つて、水産市場問題、滿港問題、蔬菜市場問題、馬欄河の埋立問題等大連市永年の懸案であつた諸問題も根本的に解決して行きたいのである。次ぎに市の實體を何うするかであるが市には決議機關と執行機關とあるも決議機關が

選擧　する事は理窟に倒れさる虞あるにより之れを改正し自治の實體に合ふやう市長を官選とし官選市長を置いた方が好いではないかとも思ふ。勿論之れには民政署と合併すると云ふ前提の下に制度改正と同時に勅令となり州知事の權限なども又同時に定められるではないかと思ふ

東支李督辦 滿鐵總裁を訪問
昨夜哈市出發南下

【ハルピン特電二十八日發】東支督辦李紹庚氏は一九三一年度利益金處分三二年度豫算が片附いたので内田滿鐵總裁に就任の意を表するため理事沈瑞麟、通譯一名を伴ひ二十八日午後九時四十五分發大連に向つた、大連着は二十九日夜である

李督辦は語る
昨年八月四田總裁の訪問を受けたのでその答禮を兼ね外相就任の祝辭をも述べ旁々滿鐵の諸施設を視察したい、滯在は約三日の豫定で

大連は　これで二度目です滿洲國のシンガポールと云はれる位で發展も急テンポであるから隔分變つたでせう東支の三十一年度利益金は二百萬金留と決定しロシヤ側で分配した、此利益金は東支が事業費豫算を使はなかつたために出て來たもので少し苦しい利益金です卅二年度豫算は收入三千七百萬金留と決定したが現在の狀態では百七十五萬金留も損失があるので前途は大いに懸念される、東支從業員は現に給料の三割減をされてゐるのでこれ以上給料の値下げすれば生活が出來ない、併し何うしてもやつて行けなければ從業員を多少減らさなければなるまいかと思つてゐる、自分の

辭職說　があるやうだが自分はこの財政難切拔に全力を注ぐ積りだから辭職はしない

日滿經濟關係の現在及將來 (2)
滿鐵經濟調查會　安藤松之助

(四)滿洲產物に販路の提供

滿洲の輸出貿易額を向先別に見るときは日本が最も大なる部分を占めてゐる（最近五ケ年平均において四十六%）即ち滿洲の資源の最大華客は日本である、特に豆粕に對する日本の需要が大豆生産及び油房業の發達を促したるは著るしい事實である。南滿三港貿易の最近五ケ年平均により重要商品の輸移出總額に對する對日輸出割合を見るに大豆は二十七%、豆粕六十八%、石炭五十八%、粟九十七%、鐵及同製品八十九%、柞蠶糸七十一%、雜豆類七十四%等であつて滿洲の重要產業は日本といふ販路を有することによつて成立するの狀況を示してゐる
滿洲商品を賣り買ひすることは日本にとつても利益さか解することは出來る。而して滿洲商品に販路を提供した事は滿洲の經濟に少からぬ貢獻をなしたときである

(五)必需品の低廉供給

滿洲は原料資源の供給はあるが精工業が幼稚なため衣料品諸雜貨並一部食料品を仰がねばならぬ。

滿洲製品を日本に輸出
大阪の貿易商

渤海漁業權

電話の惡戲

民衆と御役人樣

歐亞連絡換算率

連絡換算率

うすりい丸船客

人事

大觀小觀

市況

市場電報

魅力とは何？

▼…魅力さは一體何でせう？滅多に持つてゐる人がなく、稀には持つてゐる人があつてもその人自身は意識しないもの。人間の五官によつてはなか／＼把握されないが何となく人を惹きつけるチャームさいふものが五官以上のものであるやうに――個性の片影です

▼…例へば機械文明の繁華を誇る近代都市に住む人が、道さいふ道もない山奥の原始そのまゝの掘立小屋や水車小屋を見て魂のふるへるほどの感動を受けるやうに、綺麗に塵一つないまで整頓され掃除された公園の花壇の絢爛さをたゝえた人が、ふさした田舍道のかたはらに見出した露草に無限の美を見出すやうに――

▼…私共の近代的生活が強烈な刺戟をのみ求めてかけずり廻つて疲れ切つた時に技巧と粉粧ぬきにした大自然の大きさが私共の乾き凋んだ心に淸水のやうに沁み込んで來るのを覺える瞬間があります、グロテスクなメーキャップさ、誇張された身振りや言葉さ鼻もちのならぬエロ臭さ――もしさうした雰圍氣の中に窒息しさうになつた時、まだそこなはれない嫋い子供たちの中に、名もない片田舍の純朴のまづしい人々の心に、私共の求めてさがし得なかつたあるものを見出すことがありませう

▼…刺戟を、魅力をと血眼にさがしまはつてゐる時、私共の求めてやまないものは全く私共の思ひがけぬ所に存在することを發見するでせう。

みな樣の道しるべ

『家庭顧問欄』の陣容成る

婦人・衛生・育兒・法律各相談部の顧問に斯界の權威者十八氏を

坊ちやんや孃ちやん方への日曜日の贈物――「滿日日曜附錄」は來る七月三日の第一回發刊日を目前に控へてわが社係員はその準備に忙殺されてをりますが、これと同時に家庭人の道しるべとして開設することになりました「家庭顧問欄」の顧問につき左記の方々に顧問たることを交涉中のところわが社のこの企てを諒として快諾を得ましたのでこゝに全く陣容を整へ鋭意一般のご相談に應ずることになりました、せいぜい御利用下さい(順序不同)

婦人部顧問

大連羽衣女學校長　岡內　半造氏
大連技藝女學校長　島田　道隆氏
大連彌生高等女學校長　細萱　庫三氏
大連神明高等女學校長　村井　榮藏氏
大連女子商業學校長　樋口　光雄氏

衛生部顧問

大連信濃町六三 肛門皮梅科　辻　慶太郎氏
大連市信濃町一三 內科　土井　三郎氏
大連市大山通六四 耳鼻咽喉科　森本　辨之助氏
大連市信濃町一二〇 眼科　三根　辰一氏
大連市三河町一八 產婦人科　岩男其二郎氏
大連市山縣通七二 外科　庄澤　準吉氏
大連市三河町二 齒科　日下卓四郞氏
大連市西通七八 小兒科　金子　甚藏氏

衛生相談部顧問　向つて右上から辻慶太郎氏、岩男其二郎氏、庄澤準吉氏、金子甚藏氏、左上から日下卓四郞氏、森本辨之助氏、土井三郎氏、三根辰一氏

育兒部顧問

大連幼稚園主任保姆　岩本ナツノ氏
大連双葉學院講師　礒部　千代氏
大連南山麓幼稚園主任保姆　峰　羊氏

法律部顧問

大連市霧島町一四〇　寺島　由松氏
大連市但馬町一二　小野　實雄氏

「家庭顧問」へご相談の方は左記をお守り下さい

一、用紙は必ず官製はがきの事
一、住所姓名明記の事
紙上發表は匿名でも差支へありません
一、直接顧問へのご相談は堅くお斷りいたします
一、宛名は大連市東公園町滿洲日報社家庭欄係

婦人相談部顧問　向つて右から岡內半造氏、細萱庫三氏、村井榮藏氏、樋口光雄氏、島田道隆氏

子達が嫌ひな人・參・料・理

斯うしてあたへて榮養を攝らせる

虛弱兒の嫌な食物？を調べて見ますと、先づ牛乳、豆、人參、トマト、玉葱さ、ヴイタミンを含む榮養價あるものばかり嫌はれてゐます、人參など既報した樣に凡ゆるヴイタミンを含んでゐるのですが折角の榮養價ある人參を色々工夫して美味しく調理して子供に食べさせませう、次に人參料理數種を記して見ましたがこの方法だけでなくお母さん方も珍しい物を工夫して與へて下さい

人參白和　人參の皮をむき、小口から廻しながら亂切りさし茹でて、出汁、砂糖、醤油でうす味をつけ、白胡麻三勺位を炒つて、ごろ／＼に擂り、水氣を切つた豆腐半分を加へ、白味噌を少々加へて擂りまぜ、砂糖を加へて裏漉にかけ、この中へ汁をつけます

人參のスチユ煮　人參の皮をむいて一寸位に切り、四つ割か六つ割位にして芯を除り軟かに茹でて汁が煮詰つたらその中へバタを加へ、鹽と胡椒で味をつけた人參を入れてよく和へ小丼へ盛つて出します

人參豆腐　皮をむいた人參を軟かに茹で、裏漉にかけ一合二勺の水で五勺の葛を溶いた中へ前の人參を加へ鍋へ入れて湯煎にかけ、よく煮て攪廻してゐる中に固くなりますから、これを布巾の中に取つて四角に手で形を拵らへ、蒸籠に入れて蒸し冷まして長さ二寸、幅一寸位に切り、鍋の中へ味淋、醤油を入れ煮詰めて、出汁を加へ、少しからめの味にして、水溶きの葛を加へ、よく火が透つてから四角に切つた人參を入れ溫めて椀に盛り、卸生姜を添へます

人參サラダ　サラダ油と酢胡椒、鹽などで調味した中で人參をさつぱりと和へたもので、ビフテキ等に添へて出しますと引立ちます、人參の皮をむいて小口から薄く切り茹でて笊へあげておき、サラダ油大匙三杯、酢大匙一杯、胡椒茶匙半、鹽茶匙二杯をよく混ぜ合はせ、この中へ人參を入れてかきまぜます

人參なます　皮をむいた人參を小口から薄く切つて重ねて毛の樣な線に切り、鹽をふりかけてもみ、軟かになつたら洗つて、固く絞り少しの砂糖、醤油、酢を加へてよく掻きまぜて小皿に盛ります、人參なますは平凡のやうですが夏向の料理として、あつさりしてゐる許りでなく、榮養もあり喜ばれませう

ネットの裏

強いのが好き

だが三振打者にはすつかり同情

―一一―

大連市西公園町六六 土橋萬子さん(二二)

「私たゞ強いのが好き、ファイティング、スピリットに燃えた選手が好きですわ」だからご飯の一度くらゐ食べなくてもといふほど野球の好きな萬子さんですけれど、調子が惡くて自暴氣味になつたりあんまり勝ちすぎて調子をおろしたりして來るときまつてネット裏で欠伸をかみころすのです

× × ×

神明高女を卒へて東京のさるドレスメーカー學校へ學んでゐたんですが六大學リーグや早慶戰には縫ひかけのドレスや型紙なんか放り出して、朝早くから兵糧をしこたま仕入れてグラウンドに頑張つたといふ流石昭和の女學生です「クラスに野球ファンが七八人ゐましたの、ふだんは仲がよいのですが早慶戰にあるとそれが二派にわかれるのです、いつかみんなで學校をサボつて早慶戰を見に行つた時、相憎かへりに雨がふり出して困りましたの、ところが揃ひも揃つて早大ファンの者は雨具の用意がなくてそれでその日は慶大の勝だつたでせう、傘をもつた方たちが入れてあげると仰言るのを振切つて雨の中をビショぬれになつて泣き乍らかへつた事をおぼえてゐますの」その位にも早大が好きだつたといふ萬子さんです。

× × ×

萬子さんの野球ファンになつた起因は遠く常盤小學校在學當時に溯源してゐます當時大連各小學校の少年野球大會ではほとんど毎シーズン優勝をつゞけてゐた常盤小學校ですからその野球熱も推して知るべく、萬子さんも女ながらおうちの長い廊下で弟さんを相手にキャッチボールをしてはガラスや障子を破つてお母樣の御叱言をくつたものです。更に神明高女へ進んでからはクラス對抗のインドアーベースボールの外野手として、或は應援團長として、[illegible]したものです

「今の滿倶の吉野新夫人など素晴らしいショートでしたのよ、私なんか三振の名人で……だから今でも三振して氣まりわるさうにスゴ／＼とバットをさげてかへつて來る人を見るとすつかり同情しちまひますわ」

× × ×

「母さまたん／＼話せるわれ」萬子さんこのごろしきりにお母樣をおだてゝは一生懸命野球のルールをコーチしてゐます

× × ×

「この間浪速町に出てグランドパラソルを見つけて欲しくなつちやつたんですけれど、あんなもの生意氣だつたてお母樣に叱られましたの、だからお母樣にも野球を敎へてグラウンドへ連れて行つてあのグラウンドパラソルがどんなに必要かつて事を知つて頂かうと思ひますの、それに一人で野球見に行つたら話相手がなくてつまらないんですもの」

それにしてもすい分氣の永いはなしです

滿日各地版

北滿の激戰に 武勳輝やく五勇士 森司令官から表彰さる

【鞍山】鞍山守備歩兵第六大隊の左記五氏は北滿吉林省海林、南湖頭、四道溝附近の激戰に於て勇敢なる働きをなし武勳を輝かしたので森守備隊司令官より左の表彰狀を授與された

表彰狀

獨立守備歩兵第六大隊第二中隊 陸軍歩兵上等兵 竹内 健治

昭和七年三月二十一日吉林省南湖頭附近の戰鬪に於て大隊本部桃澤軍曹の指揮に屬し敵陣地の右翼を攻擊せり敵は高地上を巧に占領して我を猛射し爲に我が死傷續出せしも上等兵は最も勇敢機敏に攻擊前進して戰友の士氣を鼓舞し敵の右翼據點猛烈果敢に突擊を決行し遂に之を奪取して敵に側射を加へ以て第四中隊全般の戰鬪を有利ならしめ敵をして潰亂に陷らしめたり、其の動作は勇敢機宜に適し軍人の儀表とするに足る

仍て玆に之を表彰す

昭和七年六月二十五日

獨立守備隊司令官 陸軍中將 森 連

◇

獨立守備歩兵第六大隊第三中隊 陸軍歩兵上等兵 吉松 義雄

昭和七年三月三十日吉林省海林南方四道溝附近の戰鬪に於て右側衛小隊第三分隊長として敵陣地の左翼高地の奪取に任ず、敵は制高を利用し側衛に對し盛に火力を集中せしも上等兵は能く部下を掌握し射擊を以て敵を制壓しつゝ攻擊前進し遂に突擊に移り率先敵陣地に突入し忽ち數名を殪せり、之が爲敵分隊の指揮大に振ひ奮戰格鬪最後迄死守せる十餘名の敵を殲滅し以て大隊の戰鬪を最有利に進捗せしめたり右の行動は洵に勇猛果敢にして軍人の儀表とするに足る

仍て玆に之を表彰す

昭和七年六月二十五日

獨立守備隊司令官 陸軍中將 森 連

◇

獨立守備歩兵第六大隊第四中隊 陸軍歩兵上等兵 遠藤 惣吉

昭和七年三月三十日吉林省海林南方[illegible]品の戰鬪に於て左側衛小隊の分隊長として敵の翼側に行動し高地上に於て不意に約二百の敵と遭遇するや迅速適切なる射擊に依り先づ敵の企圖を挫折し之を急追して全く其の背後に迴り側衛をして此敵を捕捉殲滅せしめたり、次で各地の掃蕩に方り敵の集中火を蒙り部下相繼て死傷し自己亦身に二彈を受けたるも毫も屈せず益々部下を叱咤激勵し完全に之を掃蕩し山砲及機關銃隊の進出を容易ならしめ敗敵を殲滅するを得しめたり右勇敢機宜に適したる行動は軍人の儀表とするに足る

仍て玆に之を表彰す

昭和七年六月二十五日

獨立守備隊司令官 陸軍中將 森 連

◇

獨立守備歩兵第六大隊第四中隊 陸軍歩兵上等兵 渡邊 嘉幸

昭和七年三月三十日吉林省海林南方地區の戰鬪に於て左側衛小隊に屬し敵陣地の翼側に行動し其の據點たる高地上の敵を一擧に擊退し之を急追するや敵の約五十は窮餘逆襲に轉じ分隊長先づ敵彈に殪れ上等兵亦右大腿部に擦過銃創を受けたるも毫も屈することなく率先敵集團に突入し其の數人を刺殺せり、此間再び大腿部に盲貫銃創を蒙りしも尙續いて力戰奮鬪し側衛小隊の戰鬪を最有利に導き遂に敵將校以下約二十を捕虜とし約三十を全滅せしめ赫々たる戰勝を得しめたり、其の勇敢なる行動と旺盛なる攻擊精神とは共に軍人の儀表とするに足る

仍て玆に之を表彰す

昭和七年六月十五日

獨立守備隊司令官 陸軍中將 森 連

◇

獨立守備歩兵第六大隊第一中隊 陸軍歩兵一等兵 平工 數雄

昭和七年三月二十四日吉林省板子房南方に於て尖兵に屬し密林內を前進中俄然近距離より敵の猛射を受けしが敵は巧に隱蔽し其の所在を確認するを得ず中隊は銃聲に向って攻擊前進し忽にして死傷續出す、此の時平工一等兵は自ら進んで分隊長に從ひ敵火を冒して進出し敵前約二十米に於て敵兵を確認報告せり、爾後中隊突擊を敢行するや分隊長に從ひ率先敵陣に突入して奮戰格鬪其の二名を仆し次で退却する敵に尾して機敏に敵情を報告し以て中隊の追擊を容易ならしめたり、密林內の戰爭極めて困難なりし局面を有利に導けるは一等兵の沈着勇敢機宜に適したる行動に依ること大にして其の行動は軍人の儀表とするに足る

仍て玆に之を表彰す

昭和七年六月二十五日

獨立守備隊司令官 陸軍中將 森 連

各縣公安隊聯合 討匪軍を組織す 金山好一味を殲滅

【鐵嶺】開原縣に侵入せんと機會を狙ひつゝある金山好一味の兵匪と大刀會匪は約二千と見られてゐるが、今にして殲滅せずんば憂慮すべき狀態に陷るべしとし近縣各公安隊聯合の下に大討伐隊を編成し西豐縣公安隊二百名、東豐縣公安隊二百名、西安縣百五十名、于芷山軍騎兵旅團四百名合計九百五十名の討匪軍を組織開原公安隊と連絡し二十七日より行動を開始したが今回は徹底的大討伐を敢行する計畫であると

東山地方 再び不穩 皇軍の出動切望さる

【鐵嶺】淸原、金川兩縣下を席捲し益々その勢力を增大したる大刀會匪は最近瀋海線に於て一千の于芷山軍の武裝を解除し討伐滿洲軍は潰亂れとなって北山城子に引揚げるなど賊勢は破竹の如く、最近は瀋海支線たる梅西線方面に進出し遂に西安大疙瘩居住邦人の引揚げとなり大肚川邦人婦女子も二十五日朝奉天に避難し、男子も引揚げ準備を整へるなど東山地方は再び事變直後と同樣の大混亂に陷ってゐるが、これに對抗せんとする滿洲官憲の力は誠に賴薄く各地公安隊の素質不良の上に給與不渡が因をなして內部に不平多く且銃器彈藥缺乏して殆ど戰力なく何時兵匪に豹變するやも知れずとさへ言はれる狀態にあり、滿洲側首腦者は各地とも皇軍の出動一刻も早からんことを切望してゐると、なほ開原縣に侵入せんと畫策しつゝある大刀會匪は廿三日午後十一時頃淸原縣大孤家子掏鹿東南十七里附近に約二千の大集團となって現れ英額門西北土口子に移動し一部は西豐縣老營盤に襲擊し來れるを以て東豐西安兩縣下の鮮農五百餘は開原縣下肥地八棵樹地方に避難し形勢頗る急を告げつゝあるを以て鹿領事分館主任は二十六日來鐵して領事館に狀況を報告し開原守備隊に赴きて出兵討匪に關し懇請するところがあったが東山地方住民は何れも戰々兢々として避難準備に忙殺されてゐると

鷹鷲堡の 住民安穩 皇軍に感謝

【鞍山】遼陽縣鷹鷲堡李公安局長及甑務會長金廷眞氏の兩氏は廿七日午前十時來鞍し守備隊本部、警察署等を訪問し今回の匪賊討伐につき鷹鷲堡附近各部落は非常に平穩に歸し住民一同は今更の如く皇軍の有難さに感激し安心して從業に就きゐると感謝の意を表した

虎石臺守備隊の除隊兵

【奉天】奉天獨立守備歩兵第二大隊で春季除隊兵中除隊延期中の虎石臺守備隊は來る七月一日午後八時卅五分發奉天、撫順守備隊は同夜十時四十五分發列車で離奉何れも大連經由歸還の途につくが市民多數の見送りを希望すると

警備飛機活躍

【營口】目下蓋平東南方十邦里の地點偏嶺に約二百名より成る馬賊出現、盛んに掠奪橫行中との趣き蓋平城內の警察隊が通報に接し當營口滿業總局所屬警備用飛機の應援方を依賴して來たので直に一機をして爆彈を搭載し即刻之が討伐に赴かしめた、同機は偏嶺南方二邦里涼家斗に匪賊二百餘名が潛伏の情報を得たので同地附近の偵察をも行った

第二、第三の 市場を開設 奉天の食料品需要激增で 差當りバラック建で開業

【奉天】奉天人口の增加に伴ひ食料品の需要は益々多くなるばかりで從って小賣相場の變動もまた高調に達してゐるが、滿洲市場會社で目下十間房の新許可地に第三市場豫定地を計畫すると共に第二市場豫定地(競馬場附近)に明年度より市場を開設し南方市街の小賣市場新設を計ってゐるが取敢ず暫定的市場として稻葉町三番地にバラック建の市場を新設し開設をなす筈である尙同市場は明年度より第二市場豫定地に移轉すると

群る敵兵めがけ 肉彈また肉彈 靠山屯で名譽の戰死をした 大川中尉と二上等兵

【長春】輝かしい滿洲國獨立の陰には幾多悲壯な血と淚の鬪爭史が綴られてゐる、これもまた去る二十四日の靠山屯の激戰に名譽の戰死を遂げた德島縣海部郡宍喰町歩兵中尉大川高喜(二七)愛知縣岡崎市上六名町木之座二二豫備上等兵草野敬治(二二)宮城縣栗原郡尾松村稻屋敷字中屋敷豫備上等兵阿部能市(二三)この三氏を繞る壯烈極まる悲壯な戰鬪物語りである、廿七日歸長した滿洲國軍事教官方賀豐次郎氏は戰友大川中尉の人となりを激賞しつゝ左の如く語った——

大川中尉 の率ゆる吉林鐵道守備騎兵隊は本年一月以來各地の戰績を經本月廿二日ハルピン近くに接近して來たその頃馮占海、宮長海の聯合隊は日本軍のため擊退され南方に遁却しつゝあった、この情勢を知った大迫中佐は敵軍は楡樹方面に移動するものとの豫想から譲て大川部隊の後銃を知る中佐は直にその後方を衝くべく命令を下した、この命により大川部隊は二十二日楡樹を出發、その北方四阿城嶺山砲に向って出動した、その途中二十三日午前十時に靠山屯附近でバッタリ馮、宮、趙の聯合軍約四萬の大兵に衝突したのである、この大軍に對し味方は僅か三四百名の手勢しかし奮戰の結果、辛うじて之を喰ひ止めその夜はその附近に假宿した、ところが夜二時頃になってさしもの嚴重な警戒も多勢に無勢、遂に前線は全く

敵の重圍 にかこまれ未明にはほとんど目前に敵兵が迫り盛に砲火をあびせかけた、この猛襲への應戰は朝の二時ごろから四時半まで約二時間半に續し味方は傷き斃れ遂に百名を超すに至った、今まで大川中尉の人物に敬服し、この人とならば死をも辭さぬと誓った滿洲兵も餘りの危險におそれを爲し次第々々に姿を消し最後に殘ったのは驚くなかれ阿部、草野の兩上等兵と大川中尉の三名きりとなった、三人は戰った力限り根限り大川中尉に支那人家屋に登って機關銃を据え盛んに敵兵に向ってあびせかけた、これが爲め約五六百名の敵兵はうち斃された、も早や殆ど立つ力もないほど戰ひ拔いた大川中尉はそれにも屈せずズタズタに破れた上衣を拔ぎすて今一瞬と立ち上ったところ敵の迫擊砲一彈飛び來って大川中尉の右肩にバッと命中した、この傷手に早速機關銃を持つ手を奪はれた大川中尉は敢然ピストル握ってよせ來る敵兵の

眞只中へ 飛び込んだ、その時そばにゐた阿部、草野の兩上等兵は後れじと砲塞から飛び降り隊先深く押し寄せた敵兵目がけて突入した、肉彈また肉彈約一時間の奮戰は續いた、そしてこの激戰の杜絕えた後に大川、草沼、阿部の戰友は悲しくむくろとなってゐた

文官屯居住民 警察機建造獻金

【奉天】文官屯居住民一同は今回警察の飛行機獻金として金三十五圓二十錢を二十七日奉天署に屆け出た

寬甸縣の匪賊

【安東】寬甸縣小雅河方面に集中した唐玉振一派の一千餘名は越境日本軍及び徐文海の軍を擊退すべく部隊配置を爲してゐたが討伐隊愈々接近し交戰しても勝算なしと見て二十三日朝來各部隊を引揚げ桓仁縣內に逃走すべく第三區牛毛溝に向った

武器を要求

【營口】營口縣管內上口子に根據を有する匪賊頭目立山は第五區大房身村公所長に對し三八式銃彈三百發モーゼル拳銃三挺同彈藥三百發軍衣五十着軍帽二十箇を要求し若し之に應ぜざる時は攻擊を加ふべしとて脅迫狀を送って來たので同村長は大に恐怖し直に其旨縣公署公安隊に屆出でた縣公安隊では警戒中である

軍警慰勞園遊會 けふ鐵嶺公園で開く

【鐵嶺】鐵嶺全市民主催の軍人、警察官慰勞園遊會は二十九日午後五時より公園境內東側樹林において催されるが、既に市主催者側の出席申込も二百名を越え主客合して八百名近くになる模樣あり空前の大園遊會となるやうである、尙この慰勞會に對し大矢組は金二百圓、電燈局から淸酒一樽の寄附があった

州外野球大會 優勝戰經過

【安東】州外野球聯盟大會第三日(廿六日)撫順對奉天の優勝戰は午後四時より撫順先攻、筒浦(球)三好、杉田、保田(壘)四氏審判の下に開始、撫順軍最初より優勢に出でゝ奉天を壓迫し得點を許さず好守好打に一、三、兩回に一點づゝを加へたが奉天振はず遂に零敗を喫し優勝の榮冠は撫順ナインの頭上に輝いた、斯くて米澤會長より主將渡邊、副將成松兩君に榮ある優勝旗は授與されファンの拍手裡に州外野球大會は無事終了を告げた

(奉天)(撫順)

川 藤村 賀野 橋上 原
香 沖 孫 近 田 室 中 大村 柳
7 4 8 2 1 9 5 3 6 5
寺 原 松 原 野村 本 野 山田
小 梶 成 出 俣 岡 梅 佐 西 高
9 4 5 3 7 1 6 2 8 PH

奉天	000000000	0
撫順	101000000	2

▲一回(撫)小寺三振、梶原一箇强襲に出で成松打者の時投手の牽制球を一壘手後逸に二進、成松三箇に倒れたが一壘よりの送球を三壘手後逸して梶原生還、出原遊箇△(奉)香川左飛し沖投手右を拔く箇高打、孫も亦投手右を拔く二遊間安打、近藤遊箇に孫二壘に封殺さる

▲二回=兩軍無爲

▲三回(撫)西山四球、小寺投前バント一壘高投に生き梶原も三箇にセーフとなったが西山本壘に殺到して寸前に刺さる、成松三遊間ヒットに小寺生還、出原、俣野三振△(奉)大橋右翼ヒットに出でしも村上打者の時牽制球に刺され村上三振、香川三箇

▲四回(撫)二死後佐野投箇を一壘手落球に生き西山の三箇は佐野を二壘に封殺す△(奉)三者凡打

▲五回(撫)二死後成松遊箇失に出でしも二盜に刺さる△(奉)三者凡打

▲六回(撫)出原四球に出でしも俣野三振の時二盜に刺さる、岡村中飛△(奉)大橋左腰部死球に出で村上のバントに二進、香川四球に出で捕逸に二進、沖遊箇

▲七回(撫)一死後佐野遊箇ハンブルに出で西山遊飛、小寺一壘寄り絶好のヒットを放ち佐野三進せしも梶原遊箇△(奉)孫右飛、近藤三遊間安打、捕逸に二進、田村三振、室賀中飛

▲八回(撫)成松初球を遊越テキサスに出で出原三振、PH高田中飛、岡村後飛△(長)PH標原右飛、大橋三壘線に沿ふ軟打を壘手ハンブルに生き村上遊箇失に出で香川三振の時捕手の送球を壘手後逸に柳原三進、沖三振

▲九回(撫)梅本(中野退き柳原三壘に入る)遊箇、佐野遊飛、西山左飛△(奉)孫三箇、近藤遊箇、田村一箇

試合終了五時五十五分

撫順大勝 對鞍山庭球戰

【撫順】撫順體協庭球部は二十六日鞍山に遠征、鞍山庭球部と公園コートで試合を行ったが、左の如く不戰二組を殘し大勝して歸った(下は鞍山)

第一回戰

▲千野百武 四—〇 大倉木下
▲西尾梶 四—一 大谷黒澤
▲安部野崎 三—四 溝口尾中
▲成井宍戸 四—一 野口伊添
▲炭田石井 四—〇 長野伊添
▲濱田小田 〇—四 大谷片山
▲瀧澤矢野 一—四 森川庭村

優選戰

▲千野百武 四—一 溝口尾中
▲炭田石井 四—二 森川庭村
▲西尾梶 一—四 大谷片山
▲成井宍戸 四—三 大谷片山

不戰

▲千野百武 ▲炭田石井

平北中等野球

【安東】平北體協主催第二回中等學校野球大會は二十五日午後四時より新義州驛前平北體協球場で開催、新中新商兩選手入場式の後新義州中學大塚主將より優勝旗の返還ありて後、佐々木體育會長の見事な始球式に依って爭覇の幕は切られた、新中先攻、東(球)高田(壘)三氏審判の下に開戰午後四時四十五分、兩軍とも必死にプレーを演じたが新中大塚投手の好投も空しく遂に九A對八の接戰に敗れた

奉天アマチュア庭球優勝戰

【奉天】市內春日町五番地スター運動具店主催第一回アマチュア庭球大會は廿六日藤浪町コートに於て開催されたが優勝戰で德永、田[illegible]中組と大上兒組の試合となり大上組の綺麗な球も後つゞかず離れ遂に德永組優勝し榮ある優勝ラケットが授與され午後四時散會した

安東新興學校 維持經營決定

【安東】安東に於ける鮮人初等學校の一たる私立新興學校は設立以來經營思はしからず廢校同樣の窮狀に陷ってゐたが、その子弟教育本來の使命よりしてこの際これを維持する必要を感じ安東朝鮮人會長金虎贊氏は同氏發起の下に維持會を組織してこれを維持することになった、この維持決定に伴って今後の經營方法、同校職員の組織などにつき二十五日午後四時より市場通九丁目の同校內に理事を招集の上協議の結果、校長に金虎贊氏を推し今後に於ける維持策についても略決定を見たのでいよいよ生命ある歩みをつゞけ鮮人子弟の教育に盡す事となった

渡邊上等兵の 遺骨鞍山着

【鞍山】湯崗子溫泉玉泉館陸軍轉地療養所に於て匪賊の來襲を受け勇敢に戰ひ名譽の戰死を遂げた本溪湖守備隊上等兵渡邊嘉幸氏の遺骨は二十八日鞍山守備第六大隊練兵場に於て盛大なる守備隊葬舉行されるに就き上杉、坂口兩僧侶護衞の下に二十七日午後二時五十三分着急行列車にて來鞍した、驛頭には上田大隊長を始め將兵、時局委員會在鄕軍人會、青年團時局婦人會等多數出迎へた、直に自動車にて第六大隊本部貴賓室に安置され佛教團の讀經、一般多數の燒香があった

全滿中等學校 長會議

【奉天】全滿中等學校長會議は廿八日午前八時半から長春高女校に於て開催されたが出席者は關東廳滿鐵の各中等學校長總て廿九名で左記重要事項につき協議をなす外議に中等教育研究會で決議された事項の實行方法につき打合せをなす處あった

一、滿洲の事情に適應したる教育を施す方法如何
一、中等學校に於て民族協和の精神を涵養する適切なる具體的方法如何
一、滿蒙の新情勢に鑑み之に順應する教育方針を立つる必要なきか
一、民族協和の具體的方案に關する件
一、勤勞精神鼓吹方法について各校の模樣承りたし

守備隊除隊兵

【撫順】事變のため除隊延期中の撫順守備隊兵四十六名は七月一日除隊せらるゝこととなり、同日午後六時四十分撫順驛發列車でそれぞれ故山に歸ると

主金拐帶店員 奉天で捕はる

【奉天】廣島市鍛冶屋町相生橋通り隆居ゴム商會店員向井龜人(二六)は去る廿二日主家の集金二千圓を拐帶逃走し奉天に向った形跡があるとの捜査手配により奉天署の目ぼしき刑事は市內各方面を捜査中のところ廿四日市內富士町下宿屋長門屋方に僞名して投宿してゐるのを發見し直に取押へたが彼はその金を殆ど消費し五百圓のみを殘してゐたと

沿線往來

▲內田滿鐵總裁 廿七日朝長春より來奉同夜歸連
▲閻奉天市長 廿七日朝歸奉

白米食に起因する日本人の諸疾患

日本人は米食人種であります。根本的に主食物を異にした歐米人の榮養學をそのまゝ直譯的に適用した處で我々の保健率を高めることにはなりません。それ故に日本人には日本人獨特の榮養學を樹立すべきだといふ說が盛んになつて、玄米食から半搗米、胚芽米といふいろ／＼な試驗時代を經てまゐりましたが最近酵素學說が唱導せらるゝに及んで玄米食も半搗米も胚芽米も結構であるけれども未だ／＼可なりの缺陷があり、學理的にも實際的にも充分研究の必要がある事が發見されました。日本人の體質にピツタリ合つた理想的の榮養素は何によつて求める事が出來ませうか

東京醫大顯微鏡學教室の發表によりますと貯藏一ケ年後の玄米のヴイタミンB含有量は新米の五分の三に減じ貯藏年數を增するに從つて其含有量は低下することが發見されました。そこで新米の胚芽でないと効力が少ないこと及び酵素の働きを亡失せるものは治療的價値少なき事が分つて來ました。

白米食の欠陷　白米か死米か

米は天が日本人に與へた天惠的の食物であります。一粒の玄米そのなかには千差万別の榮養素、治療上及保健上に重大關係を持つ生命力、神祕力が包藏されてをります。その大部分は胚芽と外皮の内に在る類脂肪體との中に含まれてをりまして榮養と保健と生命力の根源を成すものであります。二百年ほど前から日本人は此の重要なる成分を糠として捨てゝしまひ、何等生命力なき死物に過ぎない白米を常食とするに至りました。近代に至り日本人の體質が低下し早死するに至つたのは實にこの巧妙な天の配劑に背反したからであります

日本人はなぜ脚氣に罹るか

脚氣の原因は皆樣も御存じの通りヴイタミンBの缺乏に依るものであります。胚芽には最も多くヴイタミンBを含んでゐるから胚芽米を常食とすれば脚氣は治る、脚氣は罹らぬかと云ふとなか／＼そうではありません。何故か、學者の調査によりますと市販の胚芽米の胚芽保有率は最低百粒中に三十粒、最高八十五粒、平均六十粒に過ぎません。しかも最近

日本人にはなぜ結核病が多いか

東京市結核療養所長田澤博士は「ヴイタミンB缺乏と結核との關係」の論文に於てヴイタミンの缺乏と結核菌の活動との密接なる關係を說き白米食國に於ける結核患者の榮養療法としては先づヴイタミンBを補給すべきことを力說してをられます。新米から採つた生きた胚芽、ヴイタミン保有率の豐富な新米の胚芽、而して酵素の働きを最も有利に活用させた胚芽こそ結核體質にとつて欠くべからざる貴重な榮養素であります。

日本人にはなぜ胃腸病が多いか

胚芽の成分はヴイタミンBだけではありません。もつと重大な無數の酵素が含まれてをります。これこそ稻の發芽する力、伸びる力、穰る力を司る宇宙の大神祕力の凝集であります。そのうち現在發見されてゐるものは澱粉を消化するアミラーゼ即ちヂアスターゼ、脂肪を分解するリパーゼ及びエステラーゼ、蛋白を分解するプロテアーゼ。尿素を分解し疲勞を恢復するウレアーゼ等でありまして其他既知未知のもの無數を含むと稱されてをります。即ち天は食物と共に消化劑まで同時に與へてゐるのであります。白米のみを食べることは消化劑なくして食物を攝取すると同じ道理で消化器内に於て化學的變化を起す力に乏しく、胃腸は其の重荷に堪へ兼ねて其の機能の衰弱を來すのであります。

元來酵素は云はゞ一種の生物でありまして熱に會つたり、貯藏法が惡ければ直ぐに分解變質して其の作用を失ふものであります。玄米食、半搗米、胚芽米が欠陷の多いと云ふのは高熱で煮炊するため酵素の働きを殺してしまふからであります。胚芽は生きた新米の胚芽、酵素の働きを活用させた胚芽を生で食べることによつてのみ玄米の有する有効成分を殘らず攝取することが出來、初めて日本人の體質とピツタリ合つた理想的の榮養並に治療的價値が充實するのであります。

日本人は何故に早老早死するか

凡て人類は自然の法則に從つた生活をしてゐれば細胞は常に全能力を發揮し　新陳代謝は旺盛に體内の諸機關も順調なる活動をつゞけ眞の健康を享受し天與の壽命を完することが出來るのであります。白米食の如き自然に背いた食物を取ることに依つて樣々の病氣を招き早死早老の悲運の道を辿るのであります。而も純粹の胚芽は榮養の範圍を越えて寵賞すべき治病力を有するもので一般脚氣、姙產婦血脚氣及び產前惡阻、乳兒脚氣、慢性胃腸、食慾減退、消化不良、惡醉、二日醉、常習便祕、利尿、腎臟等に偉効を奏し、更に精力減退、神經衰弱、榮養不良（特に結核體質其の他虛弱兒童、腺病質小兒）等に對し汎ゆる榮養劑、科學藥劑の著効なき難症をも速かに恢復に導き消化機能—胃腸を强壯にし、新陳代謝を旺盛ならしめ治癒に導くは、各實驗例の證する所である。

理想を實現せる文研の胚芽出づ

文研の胚芽は以上の生化學の學說と實際とに基き、從來の胚芽を細菌學の泰斗醫學博士山田壽一先生の創案を樞軸とし、榮養學の權威服部彌二郎先生を製劑顧問とし、改良に改良を加へて苦心研究し、今や理想を實現し天下に推薦して憚るところなき純正の胚芽劑「文研の胚芽」を創製するに至りました。比類なき特長としては、悉く生活力旺盛なる新米の胚芽より摘出せるものなること胚芽の有する無數の酵素をして、特殊の生化學的操作により其の活力を發芽直前の狀態まで昂進せしめ更に其の生命力に永遠性を賦與した點であります。

文研の胚芽を創案するまで

醫學博士　山田壽一

「文研の胚芽」は余が白米を常食とする日本人の榮養缺陷を救匡し、民族の保健、體質の向上に資せんがため文化榮養研究會より從來の胚芽劑の改良を托せられ、營々研究の結果茲に初めて創案せられたるものなり。

從來白米食の缺陷を補はんとする目的のためには或は麥飯奬勵時代あり、小豆粥時代あり、パン食時代あり、玄米食常用奬勵時代あり、半搗米奬勵時代あり、胚芽袋奬勵者あり、胚芽米奬勵者等あれども要するに此等は酵素の活用を俟つて初めて凡てが充實せるものと謂すべく、又世に胚芽と稱して市販せるものありと雖も有効成分の大部分を失へるもの少からず、或は胚芽のみを篩脫し粉末として市販に附するに際し、腐敗を防がんとして極度の高熱を與へ爲めに最も重要なる酵素を變質流失せるものならんか。余が改良創案せる文研の胚芽は從來の缺陷を除去し得たるものと確信す。即ち「文研の胚芽」は悉く生活力旺盛なる新米を原料として其の胚芽を摘出せるものなり。而して余が獨創になる生化學的操作を以つて其の貴重成分たるフエルメント（酵素）の機能を害せざる樣其の生活力を極根まで上昇せしめ、更にこれに永遠の生命を賦與したるものなり。余は「文研の胚芽」に於て玄米の有する有効成分を完全に包含せしめ得たりと信ず。「文研の胚芽」の普及により白米食に原因する各種疾病の根絶を期するを得ば余の本懷とする處なり

製劑顧問として

醫學博士　服部彌二郎

「文研の胚芽」は余が製劑顧問たる立場より仔細に之を檢するに、胚芽特有の成分たるヴイタミンBを主とし、蛋白質、脂肪、含水炭素、無機質、有機燐及びアミラーゼ、プロテアーゼ、リパーゼ、エステラーゼ、ウレアーゼ等既知未知無數のフエルメント（酵素）を含有す其の製劑工程中、フエルメント（酵素）の取扱は最も至難なるものに屬し微妙なる作用を永遠に生けるが儘に封じ込む操作は、實に銘酒を釀造すると同樣なる苦心を要すと稱せらるゝ爲め、現今市販に供さるゝ胚芽劑の類が多く酵素について顧みる處なきに反して、同會が敢然該難事業に當りあらゆる辛苦と犧牲を拂ひ、遂に完璧に近き該製品の製出に成功し得たるは余の竊に欣快とする所にして、眞に國家的優良品たるに恥ぢざるものと信ず。

白米食の缺陷を補ふもの

富士見高原療養所　醫學博士　正木不如丘

主として脚氣を問題として半搗米や胚芽米等の一般的採用に就て學者達が夫れぞれ自分の說を主張してゐる。今日の研究は其の中心は胚芽そのものにある。然し目で見える胚芽だけを問題にしては實はいけないのであつて、胚芽そのものが生きて居てヴイタミンBは勿論その他の榮養分を完全に含むで居るのが必要條件なのだ。貯藏法が惡かつたり、餘りに古い籾は之れを蒔いても芽を吹かない。かうゆう籾にも胚芽はついて居るが、實は死んだ胚芽でしかない。近來「文研の胚芽」と稱して市販せるものがあるが、これは我が意を得てゐる。何故なればこれは胚芽の生きる力である酵素に重きをおいて、初めて製劑せられたと云ふから、恐らく生きた胚芽であらう。若しそうなら脚氣の豫防治療は勿論、結核に對する自然免疫を增大する意味でも白米常用者には恰好な榮養劑と云ひ得るであらう。

會心の驚異的効果

醫學博士　津金巨摩雄

輓近榮養學の進步に伴ひ、種々なる榮養素釀出し、殊にヴイタミン類に屬するもの、酵母の作用を主眼とする等釀出するあるは斯界の一大進步たるを疑はず、然れども之れを個々に亘りて學術的に或は臨床的に實驗研究する時は、何れも一長一短缺の憾あるを免れず、例をヴイタミン劑、酵素劑について見るに、元來此の兩者中には或程度の高熱に耐え得るものもあるも、熱によつて容易に破壞缺乏せらるるもの多きに拘らず、その製劑工程中熱との關係を顧慮せずして製劑せられたるものあるが如き最も遺憾とする處なり。

然るに最近山田壽一博士によつて苦心創案せられたる「文研の胚芽」の出現を見たるは余の欣快とする處にして、余は之を腺病質小兒、虛弱者、病後の恢復、乳兒脚氣（これは母體に服用せしむ）等に試みるに何れも豫想以上の驚異的効果を收め、嘗て得ざりし會心の治療的經過を齎らし得たるは余が賞讚するに止まらず、我が刀圭界のため慶賀すべき業蹟と信ず。今其の効果を實驗の經過に依りて探究考察するに、本劑に用ひたる胚芽に新鮮にして充分なる發芽力を有するものの如く、生物の生存、生長に不可缺なる各種の胚芽酵素及び活力の素たるヴイタミンB以下各種養素を破壞亡失することなく自然の姿に於て摘出し得たるが如く其の綜合的作用の齎らしたる必然的成果に歸すべきものと思惟す。

婦人科の立場から

醫學博士　木川浩逸

吾々產婦人科醫は姙婦及褥婦の脚氣に常にヴイタミンB劑の投與を行つてゐるが、近時半搗米又は胚芽米を食用して豫防及治療を行ふことが流行してゐる。然しながら半搗米及胚芽米に就いては消化し難き不與な纖維が附着し又完全に腸管壁から吸收せられないために學界に於て種々論議されてゐる。偶々此等の缺點を除去した純粹の胚芽の摘出に成功して「文研の胚芽」として販賣さるるに至つた。私は姙、產、褥婦の脚氣又は浮腫患者に本劑を試用して效果を得た。殊に惡阻患者に對してはヴイタミンB劑中「文研の胚芽」の使用が最もよいと思ふ。「文研の胚芽」は單にヴイタミンB及びACDEのみでなく從來同種劑が全然沒却し去つた酵素を活用してゐるので一層有效である。私は脚氣に罹り易い姙婦、褥婦には豫防法として、及び產後の榮養劑として常用を勸める。

文研の胚芽を體驗して

便通が整つた　頭が常に爽かである

大阪商船會社東京支店長　渥美育郎

どつちかと云へば、通常滋養劑榮養劑其他藥劑類は全然無視して居る程僕は健康である。所が始めて榮養劑文研の胚芽をすゝめられて服々用ゐてから、其驚くべき價値を知つて今日は一日も無くてならぬものとなつた。

元來僕の健康狀態は不健康の健康であつた。何故たらば第一坐食である。步るくと云へば事務所内と自宅座敷内で他は殆ど車である。第二は頭腦が主の仕事である。從つて筋肉を働かせることが殆ど無い。第三は米食人であり乍ら米食菜食をしない。これは每日なく、晝と夜となく宴會に引き出されて洋食する或は和食しても料理屋の料理には自然食が殆ど無い。

以上に依つて僕の不健康である不健康の理由が成立すると思ふ。此不健康な僕の日常を知つて居た橫濱在勤時代からの知友内田君が、是非用ゐよと云つて文研の胚芽をすゝめてくれた。成程これは米食菜食の少ない僕にはうつてつけの榮養劑であらう。然し常に多忙の僕が每日缺かさず用ゐると云ふのは中々至難であるに違ひないが、健康を顧る秋、それくらゐの犧牲は小さなものであらう。で僕は事務所に於て氣の附いた時始終文研の胚芽を用ゐる樣にした。用ゐてから成程驚いた。實にお腹が空く從つていくらでもお美味く物が食べられる。便通が整つた。頭が常に爽かである。

以上の事實を經驗して、早速家内にも文研の胚芽を用ゐさせたところ便通が整つて、近頃裡氣分の優れた日常を送ることは十五年來嘗つてなかつたと大喜び、内田君に會ふ度每に謝意を表して文研の胚芽の効能を讃えてゐる次第である。

醫者が見離した　半身不隨から救はれて

非凡閣社長　加藤雄策

一昨年十二月五日、母が腦溢血で倒れてから足掛三年、半身不隨ながら一應の元氣と生氣を保ち得てゐるのは、全然胚芽のお蔭と僕は信じてゐる、母が倒れた當座は完全に意識不明に陷り、二週間以上醫師もつききりで、あらゆる手段をつくして、而も死線を彷徨してゐた譯だが、奇蹟的に二十日目頃から意識を復活し苦痛を訴へる樣になり同時に幾分の流動物が嘔吐なしに喉を通る樣になつたが、苦痛を訴へる每に早く死に度いと遮殺されるのに近親者もほと／＼閉口した。こんな日が一ケ月も續いて或る日僕は奮て懇意に願ふてゐる、文化榮養研究會の河原氏を訪ねた折、偶々河原氏より米胚芽が腦溢血に非常なる卓効あるを聞き「それでは早速母に飲んで貰ふ」といふ事になり即日「文研の胚芽」一罐を携へて歸りました。

意識恢復以來、母が一番苦しんでゐたのは此の種の病人につきものゝ便祕であつた。頭痛と便祕、便祕と頭痛、常人でさへ此の相對性には時折惱まされる。母は全然それだつた母の昔氣性は機械的に便祕の減策を施される事を極度に嫌つた。そんな譯で母が大便を催の耳負ほどでもしやうものなら一家を擧げてよろこんだものだ。ところが胚芽を用ひ始めて二日目の夕方だつた。丁度總領の姉が看病當直だつた折、他の兄弟近親者十人許りが別室で雜談して居たところ、不斷大聲一つあげぬ姉が耳をつんざく許りの聲で「此を見な」と叫んだので一同驚天して病室に飛込んだものだ。それは說明するまでもなく早魃に雨を求める農民の如く一同が期待してゐた便通であつた此の頃の母はすつかり頭痛と便祕を忘れて杖にすがつて多少とも步行も出來、またきかぬ左手をふり乍ら「此の分なら間もなく孫の子守位は出來やう」など言ひ乍ら生命讃歌を始めてゐる。

虛弱兒童に與へて　驚ろくべき好成績

教育家著述家　椎名龍德

私の學校では兒童衞生といふ事に就ては特に意を用ひてゐる事は御存じの通りであります。

今まで實行してまゐりました健康增進法のうち、特に目立つて優れた成績を擧げ、私共をはじめ父兄の方々まで驚嘆させたのは文化榮養研究會の「文研の胚芽」であります。私の學校では每日兒童に晝食後二匙づゝ與へることに致しておりますが其成績は何と驚くべき、今まで顏色の惡かつた子供や腺病質で瘠せてゐた子供がメキメキと見違へるばかり丈夫になつてきたことです。學校で驚いたばかりでなく親御さん達も大した喜びです、「文研の胚芽」は腺病質小兒虛弱兒童にとつて全く救ひ神と申しても過言ではないと信じます聞く所によれば文化榮養研究會は單に營利的許りでなく、白米食の害を一掃して全國民の健康と榮養の向上のため設立せられたものゝ由でありますが、目のあたり「文研の胚芽」の素晴らしい効き目を見るにつけ廣く社會のため御成功を祈つてやみません。

重症な脚氣を全治した喜び

前やまと新聞社理事　中塚晃南

私は永年慢性脚氣のため苦しめられたこと一方ならず、且つは其青年時代に於て此脚氣病殺のため蒙りたる損害は甚莫であつたらう或は研究を中途にして放棄するの止むなきに至り、或は將來のため絕好のチヤンスと知りつゝ之を見逃すの無念を味つた。正に私を苦しめたものは事業の失敗に非ず經濟界の變動に非ず且又自己の不明に非ずしてこの脚氣の惡ひそのものであつた。

昨年春は頻連が殊の外激しく、舌が吊つて言語の表示が不可能にまで亢じて醫療を受けてゐた。丁度此時友人中田君から文研の胚芽を薦められた。なにせ私の脚氣は永年のものであるため從來人の噂に上るものや又は新聞雜誌等の廣告に掲載せらるゝものなどありとあらゆるものを試み、普通胚芽藥の如きも既に用ゐたるも私の慢性脚氣に對しては何等効果を認められなかつたもので、中田君の言葉も馬耳東風、試めして見ようと思はなかつた。然るに再三再四の薦めに會ひその熱心と親切と人格を想ひ終に之を試用したるに、僅か三日にて言語自由となり、實に眼に見えて體の調子良好となり、試用後數日にして全治し、且つ本年の如き脚氣の季節に遭ふも、全然脚氣に侵されることなく、實に欣快至極なる福音に惠まれた次第である。茲に私は驚異を感ずると共に感謝に堪へざるものあり同病人の知人に極力薦めたるに全く同樣の經過を見、私と同樣の驚異と感激を以て私に謝言を表して來た。斯る人生への福音を增大せしめんがため茲に一文を草したものである。

文研の胚芽の卓効を讃へる

帝國興信所日本觀社　岡本四郎

浦和高校二年の長男が急性肺炎を病み四十一度の高熱が一週間續き既ち二三日續けば危なかつたと云ふ際どい所で幸ひ救はれましたが、餘後がはか／＼しくなく、丁度廣告に依りて文研の胚芽を知り嘗つて胚芽の効果を多少認めた經驗を想ひ、況や生きた純粹の胚芽であれば米食人の體質機能に最も大なる効果があらうと早速購づて服用させました。蒼白なる病後の皮膚が直ちに光澤を現し、めきめき體量が增し、實に僅かの日子で病氣前の體量を遙かに凌駕しました。斯る驚異的な効果を目前にして私も用ゐ、又四年前腎孟炎を患ひ、次いで腎臟炎を病み六十日間醫療を受けたるも根治せず、僅かの坂道にも、掃除に力を使つても、洗濯し過ぎてもその日のうちに浮腫を來し、熱を出し食慾不振に陷る等實に弱り切つて居た妻が、文研の胚芽を用ゐるや實に速に根治し、全く再發せず、四年來の苦しみは完全に一掃されました。中學五年の次男が進級試驗前極度の勉強の結果、眩暈で倒れて以來、運動過勞の時或は空腹時に極端に眩暈がして二日位寢るのでしたが、無理に文研の胚芽を用ひさせてより、その服み易きに驚き、今度は進んで缺さず連用し遂に眩暈が襲はなくなつたばかりでなく、以前にも增して體量が確え、如何なる勉強にも服用前の樣な疲勞を覺えず、一同驚嘆して文研の胚芽の卓効を讃えてゐます。

昨今の私は實に繁忙副湊した仕事に携づてゐますが、便祕を知らず疲勞を知らず、體に若々しい彈力を持つ樣になりました。かゝる靈藥の普及こそ富國の基と信じ茲に感謝の一言を記する次第であります。

妻の血脚氣を治し　乳兒の綠便快癒

婦人雜誌記者　山戸宣男

私の家内が昨年十一月長男をお產した時です。赤ん坊は兩眼瞼がひどく腫れてゐました。產婆は直ぐ治るでせう、と稍多量の硝酸銀液を注入し簡單な手當で歸りました。すると四日目は大人の親指大に腫れ上り、而も夥しい出血があり、診斷の結果が或は失明するやも知れぬとあつて失神せんばかりに打ち驚きました。

身も世もあらぬ思いで、日夜看護につとめて居るうちに、今度は家内が血脚氣にかゝつてゐることがわかつたのです。どうも赤ん坊の便が惡るいから一度内科の先生に診て貰うようにとの、眼科の先生の注意があつて、早速かゝりつけの石田醫師に診察を乞ふたところが、今いふ通りの血脚氣だつたのです。

家内の脚氣は幸ひ極く輕いから今手當をすれば直ぐ治る、それには醫者の藥よりも文研の胚芽が一番よい。私の方で別に藥は差上げませんから、今日にもそれを服用なさい。と懇切なお言葉だつたさうです。

文研の胚芽と云へば、社の代理部の推奬品ですが、實は同じ社内でも代理部勤務でないので、文研の胚芽は斯く醫者が奬める程いゝものとは知りませんでした。早速社の代理部から文研の胚芽小罐一個買ひ求めまして、服用させました。大變服みよいと云つて四匙づゝ三回服むと、其晩から快い便通があり、またお乳の出が頗るよくなつたといふので、私も甚も先づ驚きました。

それよりも尚一層おどろいたことには、翌朝赤ん坊の便を見ますと、今までの綠便が素晴しい良便となつてゐるのではありませんか。こんなにも早く効いて來ようとはまるで夢の樣です、此で母子共に救はれたやうな思[illegible]

慢性胃腸病が治る

日本生命保險會社員　飯沼輝雄

私は生れつき胃腸が大變惡く一寸食ひ過ぎても直ぐ吐して終ふと云ふ調子で、體はいつも痩せ衰へ下痢をしたり便祕をしたりして十日も廿日も治りません。殊に食物に好き嫌ひが多く油の強いものは絕對に口に這入らないと云ふ有樣で私の慢性胃腸病は生涯治らないものではないかと思はれました。

然し學校を出て愈々社會に働く樣になつてみればこんな風では使つてくれる所もないでせうし、遂に京橋の南胃腸病院に診て貰ふ事にし、約二ケ月を醫藥と注射に過しましたが一向効が見えませんでしたが、或る時それには「文研の胚芽」がよいから是非試みてくれた人がありました。[illegible]

病後の衰弱快癒

松竹俳優　花柳章太郎

昨年春私は帝劇出演中突如熱を發し、強い頭痛と眩暈に襲はれて終に倒れた。假のことで樂屋中は大騒ぎ、急遽醫師の往診に依つて到底二三日で恢復不能と斷定された。入院當初の熱は三十九度、二日目より四十度五分に達し、意識全く不明、生死の境を彷徨すること一週間、其間腸チブスと判定された。一週間後に意識稍回復するや今度は口中が乾きつく樣に渇き、節々痛み、頭痛強く、不眠續く等、生きながら地獄の責苦であつた。斯る重態も幸ひ諸先生の御苦心と努力に依つて曙光を得茲に一命を拾ひ得たのである。回復に向ふにつれて漸々と食慾が起つた。が該病の保後は思ふに委せて食べると怒ちぶり返へすと聞いて、食物の選擇、食量制限等の必要から入院期間の延長を願つた。

斯くして退院は夏の暑い盛りであつた。歸ら後も專ら養生に盡して居た際友人が文研の胚芽を敎へて呉れた。色々友人の說明を聽いて成程偉大な効果があるものだと云ふことが解つて、直ちに文研の胚芽小罐一個購めて、中味を見ると如何にも御飾として服み易さうであつたが、友人の云ふ樣に迅速[illegible]

文研の胚芽

生きた胚芽を生で食べよ！

文研の胚芽は新榮養學の原理に基く米食日本人絕對の榮養素にして驚嘆すべき治病偉力を發揮す

一般脚氣、姙產婦血脚氣及び產前惡阻、乳兒脚氣、慢性胃腸、食慾減退、消化不良、惡醉、二日醉、常習便祕、利尿、腎臟等に偉効を奏し、更に精力減退、神經衰弱、榮養不良（特に結核體質其の他虛弱兒童、腺病質小兒）等に對し凡ゆる榮養劑、科學藥劑の著効なき難症をも速かに恢復に導き消化機能—胃腸を强壯にし、新陳代謝を旺盛ならしめ治癒に導くは各實驗醫家の推賞止まざる所なり。

小罐　一八〇瓦入　金壹圓五拾錢　送料　内地十一錢　海外四十二錢

大罐　四〇〇瓦入　金參圓　送料　内地十四錢　海外四十九錢

東京芝區三田通新町十三
文化榮養研究會
振替東京一四四三五番
電話高輪八三三四番　八三三五番

ニセ物御注意

◆全國有名藥店にあり、御求めの節必ず「文化榮養研究會の文研の胚芽」と御指定下さい。

◆尚近頃「胚芽商會」と稱して販賣する者あれど右は當研究會と何等の關係之なき故お求めの節は特に御注意あれ。

營口のコレラ患者 眞性と決定す

なほ續發し嚴重警戒

夕刊所報の營口に發生した疑似コレラ患者二名はその後檢鏡の結果二十八日午後一時半眞性と決定した旨同日午後四時滿鐵衛生課に入電があつた、その氏名は舊市街五畫子居住滿洲國婦人秦繁（三）高長四（三）であ、また他の罹病者も疑似性として警戒中で尚續發しつゝある

者總計六百餘名その內死亡三十名あり一日平均新患者四十名を越える現在水道は四ケ所あるが料金が高いので約三十萬人の貧困者はクリークの水を使つて居るそれがコレラ流行の一大原因となつてゐるらしい當局者は今この水のことを心配して居る

上海の虎疫

新患四十づゝ

上海における最近の虎疫流行狀態につき廿八日入港大連丸船醫遠藤幸夫氏は語る
初發以來本船の上海出港迄の患

金龍丸審判

二十九日午前九時より埠頭ビル四階海事審判室において去る二月門司沖前田燈臺附近において御用船八雲丸と衝突した金龍丸（船長香坂峰三氏）に關し第一回海事審判が行はれるが特に金龍丸側には我國審判界の權威者門脇觀次郞氏が補佐に當るさ

赤十字社の新施設

各方面の要望を容れて活躍

尺五寸乃至六尺浸水し我領事館內も浸水一尺に達した、奧地の衡州瀏陽、常德にも出水してゐる

日本赤十字社滿洲本部では野村主事着任以來萬事積極的活動に出でつゝあるが最近關東廳關係の官衙學校方面より經費關係上要望し來

れる保健衛生施設に關し左記各項實施に決定した
一、普蘭店民政署長よりの要求に係る同地小學生のためのプール新設
二、大連の各小學校虛弱兒童のため大連赤十字病院に於けるレントゲンの實費治療及施療
三、柳樹屯小學校海濱聚落等に於ける衛生救急機關の施設
四、貔子窩民政署よりの要求に係る管內日支人の巡回施療（七月一日より三週間）
五、長春警察署の要求による管內各地警察派出所に對する救急箱の設置
右の外滿洲政府警務司よりの要請による國境警備隊及遊動警備隊に救急箱を配備した

ホノルルで歡迎の準備

【ホノルル特電二十七日發】龍田丸は三十日當地に着くので當地で

は早くも歡迎氣分が漲つてゐる、當日一行が上陸すれば直に自動車に分乘軍樂隊を先頭に市中を練り午後七時より米大陸聯盟日布自治協會主催の歡迎晩餐會に臨む、翌朝は陸上、水上兩選手ともそれぞれ練習をなし正午一路羅府に向け立つ豫定

滿洲事變展

國際聯盟事務所、滿鐵總務部弘報係、同美文係主催の下に社員俱樂部第二集會室において國際聯盟關係、滿洲事變の寫眞並に滿洲事變以後外國の新聞、雜誌等に現れた漫畫の展覽會を催すことになつたが二十九日（午前十時より）三十日（午前八時より）の二日間それぞれ午後四時までゞ蒐集約二百點に及ぶのを社員のみならず一般にも參觀に供するさ

ロータリー俱樂部が 沙市で世界大會

國際感情融和に貢獻

世界に於ける物質的文明と精神的文明とを連結し住み易い現世を送り出さんとする二十世紀に於ける特殊の一大運動を以て人類に幾多の貢獻をなしたロータリー俱樂部は「サービス」卽ち「他のために役立つ」事をモットーとして組織され既に七十九ケ國にそのロータリー俱樂部は設立され一都市一俱樂部の原則に依つて今は三千四百九十四の俱樂部を有し會員も亦十五萬餘を算し日本及び滿洲にも現在十二俱樂部、會員六百六十名の紳士を集め、先頃日本、滿洲の同俱樂部員の親睦並に連絡を圖つたが同俱樂部は每年一回世界大會を開き國際間の融和親睦を圖る事に規定されて居り、去る六月二十日より五日間北米シヤトルにおいて華

々しく開會された、本年大會に出席せるものは五千百五十九人國別にして五十三ケ國に達し前年の會長英國パスコール氏に代り、ニューメキシコ國のアンダーソン氏は本年大會會長となり伊國ボリケロ氏副會長の下に國際親善の和氣靄々たる實に美しい情景を呈したが同大會に日本側出席者はフレザー、齋藤惣一、三輪善太郞、野村洋三、高柳松一郞、里見純吉氏の諸氏で國際的に愉快な雰圍氣に包まれてゐる折柄、是等各國の代表的紳士の會合は國際感情融和に寄す貢獻は大なりとしてその結果を期待されてゐる

湘江大增水

【長沙二十八日發】湘江增水甚だしく二十五日長沙のバンド一帶二

滿洲神社は 北大營跡に建立

總工事費五十萬圓は 全滿から淨財を募る

滿洲事變犧牲者の英靈を永遠に鎭座するため建立を計畫されてゐる滿洲神社は總工費五十萬圓を以て東京靖國神社に象り北大營の元の兵舍を取除き神殿、社務所、記念品陳列館を建造し城內より參詣自動車道路を新設するが工費は全滿に淨財を募り滿洲の聖域を造ることゝなつた【奉天電話】

元技手の證言から 法の缺陷暴露か

麻醉劑の附屬地行は合法か 『移出入』の解釋

麻醉劑を滿鐵附屬地へ移出入しても法律の適用を受けないといふのが立法の精神であつたといふ元關東廳衛生課技手近森監介氏の證言により法曹界に新なる

波紋

を投じたが、從來檢察局及び法院當局では麻醉劑取締規則中にある「移出入」の文字の解釋を關東州以外の地域に持ち出した場合を意味するとの見解の下に、滿鐵沿線に移出した場合、これを密輸入としてドシ〳〵檢擧し法院もまた同一解釋の下に有罪の判決を下してゐたものであるが、近森證人の證言の如く「滿鐵附屬地は關東州と同一法域內であるから

法律

を適用しないといふ

が立法の精神である」といふことになれば、立法者とこれを運用する司法官、裁判官との非常な見解相異の下に國民が裁かれてゐたもので、成行如何によつては重大化すべく注目されてゐる、なほ瀧田辯護士の申請せる麻醉劑取締規則全部無效論は原議取寄せの結果事實長官の署名なき場合はまたも法廷に一大

論爭

の火花を散らすものと見られてゐるが萬一全部無效の主張が通ればペンゾイリン違反のみならず、あらゆる麻醉劑の違反事件は全部無罪といふ重大なる結果を招來するので俄然法曹界注目の焦點となるに至つた

麻醉劑取締規則制定當時の立法の精神が「滿鐵附屬地への移出入は罰しない」といふにあつたか否かを質せば、近森證人は頗る低聲ではあつたが

移出入といふ文字の解釋は附屬地外へ持ち出すことを意味するもので、同規則制定當時も滿鐵附屬地は關東州と同一法域內であるから罰しないといふ主旨の下に移出入に對する區域を明記しなかつた、また立法者もその精神であつたから藥種業者を集めた席上、この意味を訓示したことがあります

と被告に極めて有利な重大なる證言をなした、次いで瀧田辯護人は麻醉劑取締規則全部無效論を主張し同規則原議取寄せの證據申請を行ひその理由として

關東廳令公布式によれば廳令公布の場合必ず立法の主權者たる關東長官の署名を必要とするとある卽ち長官の署名は法律制定に際し御裁可を仰がれば效力を生じないのと同樣廳令公布の場合長官の自署なき規則を公布しても效力がない、然るに麻醉劑取締規則第五十四號の原議には時の關東長官兒玉秀雄伯の署名がなく、單に「關東長官兒玉秀雄」と長官以外の者の筆によつて記名してあるに過ぎぬ、斯る重大なる手續上の缺陷ある廳令を以て有效なりとし國民を罰することは法治國の大なる恥辱である

と熱烈な句調で理由を說いた、裁判所側では追つて採否を決定することゝなり四時三十分閉廷、次回公判は未定である

關東州と附屬地は 同一法域內

辯護士、無罪を主張

密輸事件の公判

夕刊所報＝麻醉劑密輸事件に新なる波紋を投じた石川萬次郞外十三名にかゝる麻醉劑（ヘロイン七十餘萬圓）密輸事件の公判は二十八日午後一時大連地方法院小田裁判長（夕刊長島裁判長は誤り）池內檢察官立會、齋藤、大內、瀧田、長谷部辯護人出席の下に開廷された、麻醉劑取締規則公布當時關東廳衛生課技手だつた近森監介氏が藥種業者を集めた席上

滿鐵沿線附屬地は關東州と同一法域內であるから麻醉劑を移出入するも法律（廳令五十四號）の適用を受けない

と訓示したか否かにつき當の近森氏を證人に喚問、裁判長は先づ麻

上海から潛行した 露人スパイを檢擧

水上署の警戒網に飛び込んで 憲兵隊に引渡さる

滿洲國の健全な發達を阻止すべく蔣介石一派は北滿攪亂の徹底を期して全滿一帶にスパイ網を設け討伐前にその實效を擧げんさ露支日語に通ずる鮮、支、露人を使用してこれを滿洲に潛行せしめんとしてゐるが、逸早く右情報を聞込んだ大連水上署では爾來監視の網を擴げ鵜の目鷹の目で入滿者を注視し

べてゐる、廿八日午後上海より入港の大連丸でこの待設けた警戒網に自ら飛び込んだ二人の蔣介石直屬のロシヤ人スパイがある
同人等はかねて當地水上署がその搜査の目的人物としてゐたもので元白系露人陸軍大佐ククリン（四三）並にその部下ドイグリン（一八）の兩名で有無を云はせず本署に連行取調べたが兩者何

れも露目支語を操り蔣介石より北滿攪亂の密命を受け義勇軍反滿洲國軍と連絡を執らんとしたもので既に蔣介石よりは約二十萬元運動資金として出資されて居る
兩名は滿洲への上陸第一步で水上署高等役員にマンマと辦名を擧らせたが觀念したか樣着に構へてゐた、一方右密報を知つた當地憲兵

隊では〇〇方面との連絡もあり一應兩名の身柄を引取る事となり荒木憲兵軍曹が憲兵分隊に護送した（寫眞は水上署より憲兵分隊に護送されんとする兩名〇ククリン、×バイグリン）

手不足

三澤署長語る

水上署における最近の高等警察事務は滿洲國の設立と共に頗る重要性を加へて來たが三澤署長は語る
近ごろ高等事務が增加し署員は何れも努力してゐるが手不足なのが一番困る、廿八日の如きも奧地擾亂企圖のロシヤ人を逮捕したしその他重大犯人と目せらるゝものが時々發見されるがモット組織的に洗つたら面白い事になろうと思ふ、今後は支那人ロシヤ人の來往に對しては特に嚴重取締るつもりだ

八幡對滿俱第二回戰

けふ午後四時二十分より滿俱球場

夫を捨てた 支那美人

水上署で保護

灼熱の戀に燃える年增支那美人が憧憬の旅を續けて二十八日午前入港福壽丸にて來連した、女は原籍山東省萊州府卽墨縣、現在芝罘煙臺西南河味に住む張孝氏（二五）で永年連れ添つた夫張子明には昨年秋死別後同地內杜元擧（三三）に再嫁したが杜の收入では生活を充す事が出來ぬ處より張孝氏は女の身で働きつゝ家計を助けてゐたが間もなく宋順山（二八）と云ふ眉目秀麗な青年と知り合ひ親む中年增女の情は燃えて灼熱の戀と變り宋順山は餘りの亂痴氣に漸く底恐ろしさを感じ本月始め大連へ逃れて來たので張孝氏は夫を捨てこれまた絕世の美人である娘張有祿（一五）を伴ひ夫を脫出し情人の後を追つて福壽丸にて來連したものであるが大連水上署では芝罘の夫杜元擧の保護願により上陸間もなく兩女を保護檢束した

人より借金し居りその他貸借上の怨恨より右友人から狙はれたものとみらる目下犯人嚴探中【奉天電話】

吉林軍教官 大川中尉戰死す

敵陣地に突入奮戰

【ハルビン特電二十八日發】吉林軍教官大川中尉以下の奮戰につき判明した所によれば二十四日夜反軍五千が襲來したとの報に接し大川中尉以下敎官阿部北野上等兵山田伍長は吉林軍の一部を率ゐ討伐に向つたが衆寡敵せず吉林軍潰走したので敎官等は自ら機關銃を以て應戰した、敵は迫擊砲の集中射擊をなしこれが爲機關銃に故障を生じたので右手に軍刀左手にピストルを持つて敵陣地に突入し力の續く限り奮戰して敵約二百を斃した、山田伍長は聯絡のため陶賴昭に向つたが他の三名は力及ばず慘殺されたこと船橋枝隊の出動により判明した

麻繩で縛り 拳銃で射殺

二十八日午前二時十五分奉天淀町十二番地渡邊傳吉方ボーイ任昌之（二七）が熟睡中二名の怪滿洲人侵入し同人を麻繩にて縛し拳銃を橫腹に押しつけて發射首貫銃創を負はせ逃走した、被害者は直に滿鐵醫院に擔ぎ込み手當したが遂に絕命した、原因は同人は六百餘圓を友

乘客を拉去

東部線で乘込んでゐた賊 乘客を片端から檢査

【ハルビン特電二十八日發】二十八日朝七時頃一面坡よりハルビンに向ふ第二十五號旅客列車が阿什河の手前六露里の地點を進行中乘客を裝つて乘り込んでゐた賊九名は機關手を威かくして停車させ乘客を片ッ端から檢査して金品を奪ひ人質として滿洲國人三名を拉致した

大仁田雇員に 最高の表彰を

去る廿五日呼海線張維屯の北方二粁の地點で殉職した瓦房店保線區梁家在勤線路方雇員故大仁田武義氏の勇敢な行動に對し滿鐵では廿八日附社報を以て左の事由を附して表彰規定による最高の表彰を行ふ旨を發表した
呼海線出動中昭和七年六月廿五日軍用モーターカーを操縱張維屯北方二粁の地點に達するや兵匪數百名の猛襲に遭ひ全兵員下車應戰中挺身危險を冒し兵士一名と共に徒步後續列車との連絡に向ふ途中不幸終に敵彈に殪れその職に殉ずるに至るその犧牲的精神の熾烈にして職務に忠實なる洵に社員の龜鑑たり、仍て社員表彰規定に依り功績章並賞金一封を追授し之を表彰す

軍隊匪賊入亂れて 阿片收入の爭奪戰

苛政に喘ぐ熱河省民

一部は錦州の皇軍に出兵請願

錦州來電によれば熱河省特に建平縣地方においては同地附近駐屯騎兵第十六旅第十一團長蘇某等は該地方において奪掠掠財その他不法行爲多く又一方熱河一帶は今や近くその唯一の然も最大收入たる阿片の採取期に入りこれを掠取若しくはこれに課稅せんとする軍隊、官僚、匪賊等これを免れんとする農民との間に各種の亂鬪劇を行ひつゝあり、地方民は兵匪のために壯丁の一部に銃器を執らしめあくまで武力を以て對抗せんとし先づこの苛政より免れんがため日本軍の來ることを望むもの多く住民の一部は在錦州の邦軍に對し出兵を請願し來つた【奉天電話】

張學良の 苦肉策

滿洲要人の 離間を計る

張學良は滿洲國要人の離間を計り山海關、湯玉麟は朝陽、凌源境にある學良の義勇軍拡天の聲明により二十二日百七旅を以て討伐せしめ又朱霽は目下北平において熱河省要人と連絡せんとせしむ、湯玉麟はこれに絕對反對せしを以て朱は目的を達せずそのまゝになつてゐる【奉天電話】

張學良は滿洲國覆滅の一手段として滿洲國要人の離間策を講じつゝあり先づ于芷山を目標とし東邊道にある東北民衆自衞軍總司令李春五をして于芷山の名義を以て反日反滿の檄文、傳單を作成せしめこれを各地に貼布し或は密偵をして于芷山危ふしとの謠言を放たしめ

鐵橋爆破事件

懲役十年言渡

【京城二十八日發】大鐵橋爆破事件第二回公判は本日午後一時淸津地方法院に於て開廷戶田裁判長より左の如く判決言渡があつた

懲役十年	趙	鐵豐
同 八年	金	明河
同 七年	河	南道
同 同	宗	柳圭
同 五年	朴	春昇

滿俱選手慰勞宴

滿洲俱樂部後援會長山西恒郞氏はさきに本社主催の全滿野球戰に優勝し更に近く內地の都市對抗野球戰に出場する滿俱野球部選手一同を二十八日午後七時から滿洲館に招待の上慰勞、激勵の晩餐會を開いた

伊藤畫伯個展

東都畫壇において新南畫家として名聲高い伊藤舞浦畫伯の來連を機とし有志の斡旋で作畫展覽會を二十九、三十、三十一の三日間三越において開くことになつたが、揮毫申込所は市內兒玉町八番地一號（電話社內二七〇九番）である

また小學校 一校新設

明年度の學級編成豫定

大連民政署學務係の昭和八年度學級編成豫定は小學校側兒童數一萬六千八百二十一名で三百四十五學級、公學堂側學童數六千三百八十九名で百十一學級であるが七年度に比し小學校側三十八學級、公學堂側十學級增加の見込その內容は左の通りである

校名	兒童數	學級數
伏見臺	一、二四五	二五
朝日	一、四〇八	二七
日本橋	九七一	一九
常盤	一、二四三	二四
大廣場	一、二三七	二五
春日	八八七	一八
松林	六七七	一三
南山麓	一、三一一	二六
嶺前	一、二四八	二四
沙河口	七五三	一四
大正	一、〇七四	二二
聖德尋高	一、一六七	二六
早苗高等	九三五	二三
下藤	一、〇八四	二〇
霞	九二一	一九
新設豫定		
柳樹屯尋高	五一一	一三
周水尋高	三八一	一三
計	一六、八二一	三四五
公學堂		
伏見臺	九三七	一九
同分敎場	三三三	七
土佐町	一、二六一	一九
同分敎場	一二八	二
西崗子	一、二六六	二〇
沙河口	一、四七〇	二四
秋月	一、二〇四	二〇
計	六、三八九	一一一

なほ八年度は大連運動場上方に一校新設の豫定であるさ

西大連庭球大會

期日　七月三日午前八時より
申込　勤務個所氏名を明記し申込み料金五十錢を添へて廿九日までに黃金町本社西部支局並に工場庭球部宛

主催　滿日西部支局
後援　工場庭球部

「大橋の筆鬪外交」で優男の多い霞ケ關に捩くれたる變骨を謳はれた大橋忠一君。

◇

今度は河岸を變へて滿洲國外交部で、支那を、列國を……まつた日本を相手に我武者羅に闘つてゐる。

◇

痔の療養に星ケ浦に出て來て、大連醫院から一週間分の藥を貰つたところへ、顧本君の罷免で海關問題は急轉直下。

◇

その後は痔のことは忘れて連日飛び廻るので容態いよ〳〵惡いが「どうせ僕らは捨身で働いてゐるから平氣だよ」とは元氣なもの。

◇

「だが……後架に下りる度に血淋漓だ、女がメンストで弱るのも無理がないね」と柄になくシンミリと妙に同感した。

曙の鐘 (329)

倉田潮
河野想多畫

結婚(六)

かれてあけみが驅け合つておいた江の島の松濤樓と云ふ、海へ見はらしのきく大きい旅館に二人は夜遲くなつてから着いた。

壯三は豫想と反對にたえ子が從順であるのを喜んでゐたが、今迄幾度も最後になつてから前言を翻へされてゐるのでひそかに用心してゐた。

宿では豫てあけみから電話をうけてゐるので、新婚旅行の二人を迎へるのに遺漏は無かつた。既に着かぬ前から三階の眺めのよい八疊が二人の爲に取つてあつた。

壯三は宿につくと風呂に這入つて、たえ子を代つて湯に行かした。たえ子はその言葉のまゝに階下におりて行つたが、なかなか戻つて來なかつた。壯三は心配になり出した。そつと湯におりて行つて、その前に立つて樣子をうかゞつた。湯の落し口にかすかに水のしたゝる音がしてゐるだけで、物音は全くしなかつた。

壯三は心配になつて息をころして、耳をそばだてた。と、暫くして浴槽から湯のあふれた音がして續いてながしにあがる人の氣配がした。確に湯に這入つてゐるのだ。

——と壯三は安心しようとしたが直ぐまた疑ひが心に湧き起つて來た。湯には確に誰か這入つてゐるが、それがたえ子だとはきまつてゐない。案外たえ子は湯からあがつて何處かへ逃げてしまつてゐて、別の誰かゞ湯に這入つてゐるのかもしれない。

壯三は延び上つて、曇ガラスの上に一枚づゝはめられた透明のガラスごしに、チラと中をのぞいて見た。浴槽は見えないで、籠に這入つて棚にあげられた華美な着物と其の紅い裾が眼についた。

壯三はそれがたえ子の着物ではないと思つて、ドキとしたが直たえ子が湯に行く前に隣りの部屋に這入つて着換へてから出て行つたことを思ひ出した。でも、その着換へた着物が果して今籠の中にある着物か何うか、彼はそれを知らなかつた。

新しい着物の柄や、燃えるやうな緋の裏を見てゐると、それがたえ子の新しくつくつた着物であるやうな氣持もして來た。が、想像と云ふものは大抵はづれるもので多くの場合反對になるものだと云ふことを思ひ出すと、壯三は一層よく確めないではゐられなくなつた。

あたりを見廻したが、誰も見てゐる者はなささうだつた。大きい宿の中は波の音にこそ滿されてはゐるが、人の足音は全く聞えなかつた。彼は安心して風呂の前の階段にそつとのぼつて、戸の上のガラス戸越しに今度は詳しく內を覗いて見た。

初めは湯氣に隔てられてよく見えなかつたが、暫くすると眼が慣れて來て、內の樣子がハツキリと見えて來た。湯からあがつてぢつと項垂れてゐるのは確にたえ子だつた。長い足を輕く斜に折つて、その橫に手桶をおき、それにタオルを持つた手をかけてゐるが、體を洗ひもせずに物思ひに沈んでゐる樣子だつた。上半身は少しねぢ曲げてゐたが、色が透き通るやうに白く、その上に湯の温味が櫻色に染まつてゐた。

壯三は安神を見るやうな、手にとるのが惜い氣がした。そして、春木が此の女と同棲したと云ふことが嘘であるやうに思はれて來た。同時に自分も恐らく今夜手痛く振られるのではないかと案じられ出した。そこには何等エローチツクな物を思はせないほどの美の威嚴が領してゐた。

しかし、たえ子が立ち上つた時壯三は再びその指に光るリングを見た。それは大山家からやつたものでなく、多分春木の與へたもので、何處にか春木とたえ子の頭文字が組合はされて彫つけられてあるに相違なかつた。壯三はリングを見た時初めてたえ子を戀人として新妻として、今夜は何んなことがあつても、己の腕に抱きしめようと全身を顫はしながら考へるのだつた。

滿日柳壇課題

▽題 「浴衣」「蚊」「雨」
▽締 七月五日(各題五句)
▽定 題毎別記住所氏名明記
▽宛 大連市能登町十高橋月南

けふの放送

大連 JQAK 六月廿九日

▲午前六時ラヂオ體操
▲午後四時四十分野球連絡放送(滿俱對八幡製鐵第二回戰)
▲午後七時三十分ニユース
▲英語講座(テキスト第七課)大連第二中學校片山篤郎
▲ソプラノ獨奏(一)埴生の宿「ビショップ作」滿鐵音樂會(前田テシ)(二)かもめ「弘田龍太郎作」(三)子守歌「大中寅二作」加藤ユリ子
▲淸元(深山櫻及兼樹振)淨瑠璃三谷、同岡崎、同牧、三味線淸元延美佐榮、同大槻駒吉
▲職業紹介事項
▲ニユース
▲氣象通報
▲中國劇(打鼓罵曹)連東俱樂部々員

東京 JOAK

六月廿九日午後六時卅分(凱旋記念上海實戰談の夕)日比谷公會堂より
▲吹奏樂、行進曲「皇軍の門出」陸軍戸山學校軍樂隊、指揮樂長辻順治▲(挨拶)東京市長永田秀次郎、上海派遣司令官代理陸軍中將植田謙吉、第三艦隊司令長官海軍中將野村吉三郎▲(講演)第九師團歩兵第七聯隊歩兵中尉辻正信▲(講演)第十二師團第四十一聯隊歩兵大尉一ノ瀬壽、上海特別海軍陸戰隊海軍少佐勝野實、第三艦隊參謀海軍中佐大西瀧次郎、第十一師團第四十三聯隊歩兵大佐辻權作▲吹奏樂、行進曲「軍艦」海軍々樂隊、指揮吹田鐵雄

第四回 滿日特選碁戰

先相先 四段 長谷川章
先番 三段 島村利博

黑	白
●四一ワの七	○四二チの九
●四三レの七	○四四カの六
●四五カの七	○四六ヌの十六
●四七ヌの十三	○四八ヌの九
●四九チの十三	○五〇ルの四
●五一ルの十八	○五二ルの九
●五三チの十七	○五四への十七
●五五ナの十五	○五六ルの十四
●五七ルの十三	○五八ヌの十八
●五九チの九	○六〇ヌの七

對局者の感想

黑曰く 四三では色々迷ひましたが兎に角眼形の奪はれるのが嫌だつたのです
白曰く 五〇は疑問です(チの十六)に圍ふのも好點でした
黑曰く 五一もはぶくと次に(ルの七)に讓られるのがたまらないいゝところです
黑曰く 五五が大變では兎に角(ルの十七)あたりへぶち込むべきです
白曰く 六〇は(ルの七)に讓るのでした

—【3】—

滿洲日報

滿洲國内の各地海關 接收順調に進捗

引揚げ關員の補充準備

滿洲國では總ゆる隱忍と隱忍を以て國内海關の圓滿接收を圖つてゐたがこれに對する支那側の不誠意に遂に實力を以て接收するの外策なき狀態に陥つたので已むを得ず外交總長の名によつて海關接收の聲明を發し廿六日ハルビン海關の接收を皮切りとし二十七日には大連、營口兩海關を接收したが、更に二十九日は安東、琿春、龍井の三ケ所を接收することに決定した、然るにその接收により支那側は何がゝり上支那側の任命した海關官吏たる外人、支那人には引揚げ方を發令することは當然豫想されるので、若し彼等が滿洲國に誠意を披瀝せず引揚げる場合は事務の澁滯を來す恐れあるためこの對策として全滿商工會議所及び稅務會に手配して補充を講じつゝある、隨つて一般輸出入業者に迷惑をかけることはないだらう【長春電話】

英帝國は憂慮を表示

サイモン外相下院で答辯

【ロンドン二十七日發】本日英下院で保守黨議員サー・アーサー・サミエル氏の滿洲國内海關接收に關する質問に對しサイモン外相は左の如く答辯した

滿洲國政府當局の命によりハルビン、牛莊、安東の各海關收入の上海總稅務司の許への送金停止に關しては駐日大使リンドレーに命じて、右に關する事實並に大連海關問題についての**事實を確め且つ同問題については英帝國の憂慮せる旨を表示**せしめることゝした

海關問題の對策協議

大橋、河相兩氏内田伯訪問

近く外相に就任し大連海關問題解決の最後の鍵を握るべき内田康哉伯は廿八日午前八時歸任、直に星ケ浦の滿鐵總裁別邸に入るや同九時二十分大橋外交部次長は總裁邸を訪ひ、内田伯と對座して

會談時餘 に及んだが、十時二十五分に至つて河相外事課長も往訪、鼎座して重要協議を行ひ正午午餐を共にしさらに協議を續けた、會談の内容は固より不明だが恐らく大橋氏よりは本問題に關して滿洲國の採つた態度を、また河相氏は關東廳の立場を詳細に說明して總裁の裁斷の資料としたものと信ぜられる、内田伯は二十八日午後さらに關係各方面より事情を聽取する筈である、同伯は來る七月二日大連出發上京

外相就任 は七、八日ごろと見られてゐるので日本外務省の態度の決定がその前後いづれになるかは興味ある點で既に滿洲國の大連海關接收が日本政府に何らの豫告なしに行はれたので、日本政府としては成るべく速かに滿洲國に對して何らかの方策に出ればならぬ立場にある、卽ちこの事實上の接收狀況を永く放置する時は日本はこれを承認したかのごとき印象を列國に與へるわけで日本政府の態度は注視されてゐるが滿洲國が日本の立場を顧慮し當初の聲明によつて

瓦房店に 新海關を設置し南京政府の大連海關が存續するも事實上徵稅は不可能となり、この間に日本をはじめ各國の斡旋で大連海關問題の合理的解決が圖られるにあらずやと觀測されてゐる

金州出張所も告示を掲示

海關接收の報を齎して二十八日元大連海關金州出張所に林田重三郎氏を訪へば氏は語る

廿七日本處に行つて自分は邦人と行動を共にするから萬事宜敷く賴んで來た、此處は大連海關の出張所であるから大連海關が滿洲國に接收されて滿洲國の稅關徵收處となればその出張所となるのは當然であるから、本處の命に依つて專心滿洲國の爲めに努力する積りだ、退職慰勞金が惜しいだらうつて、そんな事は此際問題ではない、我々邦人には血と熱があるんだ

なほ同日大連から告示第一號が臨き直に掲示された

海關問題に何等かよい辦法があらう

二重課稅問題は起らぬと思ふ けふ歸任の内田滿鐵總裁談

内田滿鐵總裁は夫人および杉本秘書役同伴廿八日朝八時着列車で歸連した、驛頭には村上理事、山崎總務部次長、石川經調副委員長、根橋技術局次長、中西文書、千種衛生、有賀地方の各課長、猪子大連經事所長はじめ課長多數その他小川大連市長、栗島國際運輸、石井大連署長等官民多數の出迎へ人あり、總裁は夫人と共に出迎へ人と挨拶を交した後、一先づ自動車で星ケ浦の別邸に落ついた、なほ山西、十河兩理事も同車で歸連した、總裁は途中金州まで出迎への記者に語る

やあ、御機嫌よう、大橋君はまだ居るだらうれ、海關問題については早速大連で大橋、福本の兩氏をはじめ關係方面の人々に會つて眞相を聞きたいと思つてゐる、この問題については谷亞細亞局長や奉天駐在領事等にも會つて聞いたが何れも極めて斷片的なもので自分はこの問題の最初からの經緯なり總括的なことは知らぬから今自分がこれを批判することは極めて危險だ、然し自分はこの問題は何とか辦法がつくだらうと思つてゐる、元來これは滿洲國對支那の問題で唯大連海關が日本の租借地内にあるといふ點で日本にも關係があるのだが、日本は双方の間に立つて何とか良い方法を見つけるために努力しつゝあることゝ思ふ、自分も個人的に出來ることがあれば盡力したいと思つてゐるのだが、この問題については關東廳が政府を代表して大いに解決に努力するだらう、次のことが今度の例に當はまるかどうかは知らぬが曾て閻錫山が天津で佛租界にある支那稅關を押へたことがある、そして支那はそれを結局承認したらしい、なほ今度の問題も結局日本が滿洲國を承認すれば存外簡單に片づくのではなからうか、といふ人があるが、前にもいつたやうにこれは滿洲國と支那との問題であつて承認によつて法的關係においての日本の立場だけは變つて來やうが、從つてこの問題がそれだけで解決すると見るのは早計だ、なほ自分は今のところこの問題のために二重課稅問題は起らぬと思つてゐる

（寫眞は大連驛に着いた總裁と出迎への大橋外交部次長(右端)）

飽迄既定方針で邁進

最早何者にも動かされない 大橋外交部次長聲明

大橋滿洲國外交部次長は廿八日内田滿鐵總裁との會見後午後二時星ケ浦星の家において記者團と會見大連海關問題について憤激した顏色にて重要なる聲明を發表した、右は極めて長文であるがその内容は先づ海關問題について滿洲國が最善を盡して妥協を圖りしにも拘らず南京政府の暴戾なる態度によりて事こゝに至れる事を詳述した後

滿洲國政府は今や非常なる決意を以て右政策を斷行最早や**何者の來りて容喙するも之を動かす事は不可能**となつた從つて大連において如何なる問題が及ぶも斷乎として徵稅事務を繼續する決意を有してゐる、若し日本政府等の壓迫により**事務の遂行不可能となるに至らば已むなく瓦房店に引揚げ**徵稅事務を徹底的に行ふより外なし

と述べ日本政府が壓迫を加へるにおいては附屬地の周圍に幾多の海關を設け滿洲國の關稅自主の見地より飽くまで徵稅する旨を語り、これなども日本が實力を以て壓迫するにおいては創建日尚淺き滿洲國は悔懷の外なしと述べ、最後に吾人は滿洲國に對して滿腔の同情を表ぜらるゝ日本國民に訴へんとするものである

と結んだ、なほ同氏は二十八日の夜行で北行歸京する筈

吉田一等帮辦は

きのふ辭表を提出

大連海關における日本人關員中只一人の辭表未提出者として注目されてゐた一等帮辦吉田五郎氏は廿七日午後五時頃辭表を電報をもつて叩きつけ廿八日は平日通りサバくした顏で新しき看板財政部關稅徵收處に出勤してゐた、執務中の吉田氏に糾を通ずると快く語りつゞける

最初に日本海關員が全部出席した時自分は友人のところにあつて一しよになれなかつたので全く一人除け者にされたやうになつたんです、で二十七日の朝刊でその事情を知り早速福本氏、中村氏に自分の考へを述べて了解して貰つたのです、廿八日になれば一切糾ると思ふていつたのはすでにその時から辭意があつたんでしたが、一度決心した以上四時間や五時間遲れても好いと考へてそのまゝにして廿七日午後五時頃辭表を打電したのです、これは日本人としては當然すぎる事で常識で考へてもわかると思ひます、いづれにしても今申上げた通り皆様に會はなかつたのがいけなかつたので、それが誤解の原因と思ひます

兩中將親補式

【東京廿八日發】廿八日午前九時半左の如く親補式行はせられた

補軍事參議官 海軍中將【四位勳一等功五級】野村吉三郎

補第三艦隊司令長官 海軍中將 正四位勳一等 左近司政三

なほ左近司中將は三十日午後一時東京發七月二日旗艦出雲に搭乘四日上海に向ふ筈

拓務兩書記官

廿七日滿鐵本社の地方部および鐵道部の組織、および業績を調査した拓務省富田、副島兩書記官の一行は廿八日午前十一時滿鐵技術局を訪問、根橋次長、由利庶務課長、木村地質調査所長、栗原中央試驗所長等から技術局の組織を聽取した

地方官異動

けふの閣議で決定

【東京廿八日發】齋藤内閣最初の地方官異動原案は左の如く決定、廿七日夜柴田翰長は政友會側鳩山文相に原案を提示し鳩山文相は鈴木總裁と協議の結果、大體諒解成立した、但し内務部長、警察部長も同時に更迭するとの條件附で廿八日の閣議で決定左の通り發表を見ることゝなつた

復活知事(民政黨系八名)

任大阪府知事 縣忍

任栃木縣知事 半井清

任福岡縣知事 小栗一雄

任靜岡縣知事 赤木朝治

任山形縣知事 石原雅二郎

任茨城縣知事 阿部嘉七

任石川縣知事 山口安憲

任島根縣知事 窪田治輔

新進拔擢(八名)

內務省河川課長 岡田文秀

任千葉縣知事 秋田縣內務部長 福島繁三

任埼玉縣知事 新潟縣內務部長 關屋延之助

任山梨縣知事 靜岡縣內務部長 清水良策

任福島縣知事 長崎縣內務部長 多久安信

任青森縣知事 社會局勞政課長 山戶二郎

任秋田縣知事 內務省會計課長 武部六藏

任愛媛縣知事 京都府內務部長 田口易之

任大分縣知事

居据り組

兵庫縣知事 白根竹介

長崎縣知事 鈴木信太郎

三重縣知事 廣瀨久忠

宮城縣知事 三邊長治

福井縣知事 大達茂雄

鳥取縣知事 館哲二

岡山縣知事 篠原英太郎

山口縣知事 岡田周造

德島縣知事 落合慶四郎

高知縣知事 坂間棟治

佐賀縣知事 早川三郎

鹿兒島縣知事 市村慶三

沖繩縣知事 井野次郎

群馬縣知事 金澤正雄

宮崎縣知事 木下義介

(政友會内閣時代任命された知事で居据り異動の者)

任神奈川縣知事 京都府知事 橫山助成

任京都府知事 大阪府知事 齋藤宗宜

任愛知縣知事 神奈川縣知事 遠藤柳作

任岐阜縣知事 埼玉縣知事 宮脇梅吉

廣島縣知事 千葉了

任新潟縣知事 靜岡縣知事 田中廣太郎

任和歌山縣知事 茨城縣知事 君島清吉

任滋賀縣知事 奈良縣知事 齋藤樹

任富山縣知事 岐阜縣知事 伊藤武彥

任香川縣知事 愛媛縣知事 久米成夫

任奈良縣知事 富山縣知事 鈴木敬一

任熊本縣知事 內務省土木局長 湯澤三千男

任廣島縣知事 和歌山縣知事 唐澤俊樹

任內務省土木局長

罷免組(十六名)

新潟縣知事 小幡豐治

千葉縣知事 大久保留次郎

栃木縣知事 豐島長吉

愛知縣知事 尾崎勇次郎

山梨縣知事 芝辻一郎

滋賀縣知事 新庄祐治郎

福島縣知事 村井八郎

青森縣知事 宮本貞三郎

山形縣知事 川村貞四郎

秋田縣知事 內田隆

石川縣知事 平賀周

島根縣知事 八木林作

香川縣知事 伊藤昌

福岡縣知事 中山佐之助

大分縣知事 永野濟

熊本縣知事 山下謙一

依願免本官(各通)

けふの閣議 午後一時再開

【東京廿八日發】地方官異動を決定する定例閣議は午前十時開會せるも政友會出身閣僚の[illegible]小委未强硬のため午後零時二十分一旦休憩午後一時から再開した

丁交通總長 けふ、日本へ向ふ

日滿親善の使命を帶びて

非公式に滿洲國民代表を以て渡日し我政府當路者を始め實業界、軍部、教育等各界を訪問、日滿親善の大使命を帶びた丁鑑修氏は二十八日午前八時半急行で駒井長官、謝外交總長その他日滿官民多數の盛大なる見送りで華々しく出發したが、同氏は往路は安奉線經由で歸途は大連上陸歸京のはずである而して同氏の渡日により日滿の親善滿洲國の承認促進、產業投資に對する誘發等に寄與する所頗る大なるものがあらうと期待されてゐる、因に一行は十五名で正使丁氏の外副使は最高法院長林棨氏、副交通部鐵道司長森田成之氏等であると【長春電話】

滿鐵辭令(廿八日附社報)

監理部考查課計畫班副查 事務員 江口胤秀 監理部考查課計畫班主查心得を命す

監理部考查課計畫班主查兼地方班主查參事 山島登 監理部考查課地方班主查を命す

監理部考查課元財產班主查 事務員 小林完一 監理部考查課財務檢查班主查を命す

監理部考查課工事班副查 技術員 西島源次 監理部考查課工作班主查を命す

監理部考查課元能率班副查 技術員 加藤常二 監理部考查課事務能率班主查心得を命す

資政局は廢止

各省財政廳を廢し中央で統轄 滿洲國々務會議決定

滿洲國第三十四次國務會議は廿七日午後三時より國務院において開催されたが、當日の閣議に上程可決された議案は十一、二件の多數に上り聯つて最近稀に見る緊張を見せた、その主なる議案は左の如くで廿八日發表された

一、政府組織法、國務院官制、國務院各部官制中一部改廢の件 これは建國早々の過渡期であるが過去三ケ月の經驗により最も合理的に改廢し根本的に基礎を定むるもので、その正式發表は四五日後になるであらう

一、資政局廢止の件 建國當初は當然必要の官制でそれだけにその活動は大いに見るべきものがあつた、然るに今日では既にその役割も濟み必要がなくなつたため之を廢止することに決定した

一、文官官等俸給令の件 之は從來內規のみで發表されて居なかつたが今回敎令として公報を發表することに決定した

一、硝磺局、マッチ公賣局の所管に關する件

一、自治縣制の件

一、各省財政廳を廢止し中央政府に移管決定の件 各省の財政廳を廢止し徵稅その他財政所管事務總てを中央政府に集中する事に決定した

一、敎科書編纂委員會官制の件 これは國定敎科書の審查編纂事務を管掌するもので一時的でなく永久性を帶びて設置する事に決定した

一、中央銀行開業に際し私帖、紙幣類似證券などの取締暫行辦法制定に關する件

等々であり此等はいづれも執政の裁可を得て近く公布することになつた【長春電話】

全滿郵便局閉鎖命令

歐洲行郵便物の滿洲經由停止 南京政府の報復手段

【南京二十八日發】南京政府交通部は滿洲國の海關接收の報復手段を取るに決定した

一、全滿郵便局の封鎖命令を發し同時に從業員の關內引揚を命ず

一、滿洲國切手を貼附せる郵便物は無切手郵便物として取扱ふ

一、歐洲行郵便物の滿洲經由を停止し一切海路を取る

關東廳縮小と市の對策

在滿機關統一もいよ〳〵七月中に實施するやに傳へられこれに伴ふ官制改正の結果は大連市にとり重大影響を及ぼすので小川市長は二十八日午後四時半から市會議員の非常召集を行ひ全員會議を開きこれに對する根本方針につき協議することになつた、卽ち關東州に長官制を施行し州知事總に縮小する事となれば民政署の存在は認めぬ事となり從つて市の權限に及ぼす影響重大となつて來るのでこの際權限を擴張して官選市長を置く事とするか或は他に適宜の方法を講ずるか兎に角根本對策に關し慎重審議を遂げて手遲りよく方針を確立して置かうといふのである、しかし本問題は市政上劃期的重要問題であり一朝一夕に決する事なくなほ兩三回の協議會を必要とするであらう

角蛇

犧牲者を出さず合法的に行はれた點においてシャムの革命は先づ芽出度完了。

◇

安達派も漸く眼鼻がついて來たこれが第一黨の分裂ならキャスチングボートが握れるンだが…。

◇

撫順炭移入制限問題に對する石炭聯合理事會の決定は先づ穩當。

◇

これを勞働者解雇の口實にしやうとする筑豐互助會の態度は感心出來ず。

◇

世界早廻りの新計畫、相變らずヤンキイの獨擅場。

◇

飛機の業、踏底彼に及び難しとは口惜しき限り。

◇

吉田帮辦の行動、何かの方便と思つたら然うでもなかつたらしい

人事

▲內田康哉伯(滿鐵總裁)廿八日朝八時着列車で歸連

▲山西恒郎氏(滿鐵理事)同上

▲十河信二氏(滿鐵理事)同上

▲杉本重道氏(滿鐵秘書役)同上

▲林顯藏氏(滿鐵秘書係主任)同上

▲鎌田彌助氏(滿鐵囑託)同上

▲山之井格太郎氏(滿鐵囑託)同上

▲石原重高氏(洮昂鐵路顧問)同上

來連

▲松島鑑氏(滿洲國農鑛司長)同上

▲林熊祥氏(臺灣實業家)二十八日出帆はるびん丸にて內地を經て歸臺

滿蒙の戰慄(28)

直木三十五作 淺枝次朗畫

踏出す者(六ノ二)

寒月凍る磧行賴
霜白々と、廣野原
沈默の底を進み行く

合唱だ。天井も、襖も、その聲に、合唱してゐるやうな喧騒さだ

「獨り、爆彈三勇士のみが、勇士ではないぞう」

一人が、怒鳴つた。

「止めい」

「機會さ——」

一人が、叫んで、どんと、卓を叩いた。卓の上の盃も、皿も——皿の中の肴も、びつくりして、飛上つた。

二十二三人の將校が、軍服のまゝで、醉つてゐた。

落花紛々、雪紛々
落花を蹴り、雪を踏んで
伏兵起る

「そうだ、そうだ」

白晝、斬取る大臣の頭
あゝ、時事、知るべきのみ

「ちえすと」

一人が、立上ると、佩劍をもつて、鞘のまゝ

櫻田門外血花の如し

「やれ〳〵」

落花紛々、雪紛々
風蕭々として
易水寒し

佩劍が、きらつと、閃いた。

壯士一度び出つて
又、歸らず

「その意氣、その意氣」

怒號と、拍手とが、部屋中に充滿した。女中は、若い血、熱い血に狂ふ人々に、壓倒されてしまつて、德利をもつたまゝ、默つて座つてゐた。

「飲め、飲め」

劍舞のやうな形をした一人に、二三人が、盃を指した。

「お醉だ」

「こらつ、醉ぜんか」

女が、周章て、膝を立て、、酌をした。

「道木、貴樣の爲の送別會だ、もつと、飲めつ、おい」

「飲んざろよ」

「白晝、斬りとる大臣の頭か」

一人が、女中の手から、德利をとつて、道木に酌をした。卓の上の鉢は、皿は、亂れてしまつてゐたし、疊の上にも、德利や、サイダーや、盃が、置かれてゐた。

「道木、滿洲は、その第一歩のみだぞ。それを忘れるな。東にソビエットあり、西に、アメリカあり南に——南に——」

「北に」

「品川あり」

「吉原あり」

「然り而して、家に女房あり、子供あり」

「下らん事をいふな」

道木は、女中と巫山戯たり、話をしたり、食つたり、怒鳴つたりしてゐる人々を見ながら、一人の將校と、床の間の柱の所で、囁き合つてゐた。

「實際、困つた事だよ——何うなるか——」

道木は、醉つてゐたが、しつかりとした口調であつた。

コレラ遂ひに營口に發生す
舊市街に疑似性二名 愈よ嚴重防疫

北支方面のコレラ患者續出の報一度び傳はるや營口では他港に先立ち滿洲國、關東廳、滿鐵協力してその防疫につとめてゐたが、遂に廿六日舊市街に患者二名を發生廿八日午前三時半何れもコレラ疑似性と決定した、このため現在營口の防疫機關は全部々署につき防疫機關も整つてゐるが今後の成行により更に機關の擴充をはかることゝなつた

今回の發生までの事情を見るに營口の舊市街に去る十八日以來數名のコレラ樣患者が發生したので關係防疫機關ではこれに對して正規の檢査を施行すると共にその關係者を隔離若くは交通遮斷等を行ひ嚴重警戒中のところ廿六日に發病して同日海口檢疫醫院に收容してゐた舊市街五臺子丁字街居住の滿洲國人奉環(女二三)および同平安街居住の滿洲國人高長順(三〇)の二名は細菌學的檢査の結果廿八日午前三時半何れもコレラ疑似性と決定された、また同樣の症狀で同醫院に收容中のもの七、八名ありこの傳染系統は一兩日中に判明の筈であるが兩人共營口の住民で高の家は籠造り、奉は無職である

なほ滿洲國内の本年の患者發生はコレラ猖獗を極めた大正十五年の患者が八月二十二日に初發したのに比し約二ケ月早く從つて今後衛期、酷暑期を控へる關係上今年のコレラは大正十五年以上に猖獗する可能性が充分にあり滿鐵でも非常に警戒してゐるが取敢ず目下出張中の村川防疫係主任を現場に派し眞相を調査せしめることゝなつた

因みに大正十五年の附屬地接續の舊市街の患者發生數は營口百十三名(初發八月廿二日)安東三百三十六名(初發九月六日)で關東州内および州外附屬地の患者總數は六十二名、保菌者二十名であつた

營口線船舶 檢便協議 海務局緊張

營口における虎疫患者發生の報を受けると共に當地海務局にては上海天津航路同樣營口よりの入港船に對し檢便を行ふか否かについて協議中だが右に關し岡本局長は語る

たつた今營口署よりの通知によつて知つた、今後續發する樣な事があつたらどうしても檢便しなくてはいけないだらう、今のところその發生徑路その他が判然としないので何とも手の施し樣がないが聞き合せて對策を講じよう

麻醉劑密輸公判にまた新な波紋
近森元關東廳技手の告示で 犯罪不成立を主張

關東廳令第五十四號を以て發布された麻醉劑取締規則中一部條文の脱落から遂に白川一味のベンゾイリン大密輸事件が一二審共に無罪の判決が下され我裁判史上前例なき珍事件として法曹界の注目を惹いてゐる折柄今度は二十八日午後一時から大連地方法院長島裁判長係開廷の市内信濃町藥種商萬壽堂こと石川萬次郎(五〇)ほか十三名にかゝる七十餘萬圓の麻醉劑密輸の公判廷で瀧田辯護士から麻醉劑取締規則全部の無效論を提唱し再び廳令原議の取寄せ方を申請することゝなり法曹界に新たなる波紋を投じてゐる

理由は同規則中「誘導體の藥類」なる條文が脱落せるを發見した際關東長官の決裁を經ず勝手に近森技手が挿入公布せるもので立法の主體者たる長官の捺印なき法律は全部無效であるといふにある

更に當日は白川一味の無罪の導火線を作つた元關東廳衛生課技手近森監介氏が在官當時各藥種商に對し大連から長春方面へ麻醉劑を輸送する場合たとへ瓦房店の税關を無關通過するも密輸とは認めないとの告示を口頭をもつて發したの理由をもつて石川一味の密輸は法律を犯したものでないとの辯護士側の主張があるので果して右の告示を近森氏が發表したか否かに就き當の近森氏を證人に喚問する等で二つの新らしい疑題を提供した同公判の成行は非常に注目されてゐる

英艦を誤認し爆彈を投下
廣東軍の飛行機から 幸ひ一彈も命中せず

【香港二十七日發】二十六日午後廣東三角洲内の澄海附近を航行中の西江警備英國砲艦ムーアヘン號に對し廣東軍飛行機一機が突如爆彈六個を投下したが幸ひ一彈も命中しなかつた

【香港廿七日發】昨日廣東空軍が陳策の艦隊を爆撃する際白田港碇泊中の英國軍艦ムーアヘン號は支那軍艦と誤認され爆彈六個を投下されたが奇蹟的に爆沈を免れた又他の英砲艦は陳策の乘れる中山艦の空襲さるゝを目擊したと、なほ陳策の艦隊は爆擊を恐れ香港附近の英國領海に避難した

日滿人百三名を人質
奉山支線盤山附近進行中の旅客列車を匪賊襲擊
邦人三名支那人百名人質として拉致された

二十七日午後五時三十分奉山線營口支線營口驛に到着する筈であつた旅客列車は盤山大窪間に於て匪賊に襲擊せられ邦人三名支那人百名人質として拉致された急報に接し王殿忠軍三百名は同六時同地現地へ急行した【營口電話】

楡樹縣城を死守する 吉林軍將兵

楡樹縣城の吉林歩兵第一旅の主力及び鐵道守備騎兵隊は反吉軍の主力たる馮占海、宮長海の部下約六千に包圍せられあるも吉林軍將兵は楡樹城の要點たるを以て吉林省の治安に重大なる影響を考へ悲壯なる決心で死守し增援隊の來着をまちつゝある【奉天電話】

馬占山軍擊破

吉岡騎兵〇部隊は廿六日午前十一時四十一分綏泉東北方において馬占山軍約五百を急襲し十六名を殪し五名を捕虜とし兵器多數を鹵獲した【奉天電話】

東邊道の討伐隊 各方面に活躍

平田大佐の指揮する東邊掃蕩隊は新濱附近出動以來殆ど晝夜の別なく兵匪と戰ひ二十六日山城子に到着した、又某方面より東邊道方面に派遣された部隊は二十五日新陽鎭に到着した、森中將は右兩部隊作戰指導のため二十八日該方面に向つた【奉天電話】

工大小倉氏理學博士に

【東京二十八日發】廿四日の東京帝大理學部教授會にて旅順工大小倉勉氏の學位論文が通過した氏は大正二年東京帝大理學部地質科卒業にて今回氏の學位獲得により小倉伸吉、小倉謙(東大理學部教授)の兄弟と共に三人の理學博士を出したことになつた、氏の論題は「旅順老鐵山地域における綠狀片麻岩の接觸變質作用」である

世界早廻り計畫 來月九日に紐育を飛出す

【ニューヨーク二十七日發】テキサス州フオートワースのジエームス、マタン及びオクラホマ州のベネツト、グリツフインの兩飛行家は昨年七月一日ポスト、ゲツテイ兩氏の樹立せる世界早廻り飛行記録を打破し新記録樹立を目差し來月九日ニユーヨーク發世界一周飛行の壯途を決行する旨本日發表したが豫定コースは左の如し

ニユーヨーク—ハーバーグレース—アイルランド—イングランド—オランダ—ベルリン—モスクワ—オムスク—ノブオンベルスク—カクーツク—フエヤーバンクス—エドモントン—ニユーヨーク

滿鐵は自分の家
八田副總裁の招宴に出席し 少女使節一行大喜び

【東京特電二十八日發】上京以來人氣者の少女使節一行は二十八日日光見物、二十九日鎌倉見物を最後としていよく懐しの東京にさようならを告げることゝなつた、これより先二十七日午後拓務大臣官邸のお茶の會に臨んだ後、自動車で滿鐵總裁社宅に赴いた、八田副總裁の招宴に臨むのである、一行が社宅の大玄關に着くと八田副總裁、大藏安社長同夫人令孃、平山庶務課長同令孃、池田、清水各令孃等が「ようこそお出で下さいました」と喜び迎へた一行は「ほんとうに有難うございます、滿鐵と聞くと自分の家のやうな氣が致します」と打ちくつろぎ廣間で面白い手品を見物した後、廣い青芝の庭で鬼ごつこや唱歌を歌ひながら戯れた、子供好きの副總裁はニコくしながらもてなし歸りには立派な文房具をお土産に贈つたなほ山岡長官よりは時計入りのインクスタンドのプレゼントがあつた

一等賞金三萬圓の福券競馬許可
更に袖賞も出し人氣を煽る 入場券は近く前賣

大連競馬倶樂部では既報の如く創立十周年記念として來る七月廿三日より六日間四萬圓懸賞福券レースの十周年競馬大會を催すべく沙河口署に此程出願したので同署では直に關東廳に稟申すると共に審議中でいよく廿八日朝關東廳より沙河口署に對し許可の通知があつたので同署では同日午後一時倶樂部當局者に正式許可を通達した

右四萬圓福券レースは從來の制度と趣きを異にし期間中即ち六日間を通ずる入場券を三圓にて發賣し最終日に從前の一千圓福券レースと同樣の方法をもつて決定發表するので一等當籤者は三萬圓、二等五千圓、三等二千圓、四等一千圓五等以下百圓で同レースには更に袖賞(當籤番號前後)として一等袖賞二百五十圓、二等百圓、三等六十圓、四等四十圓を出しこの外毎回レースに勝馬投票券附加券をも發賣し一千圓福券レースと同樣の抽籤方法をもつて附加券金發賣高の二割を引いた殘り六、二、一の割をもつて拂戻すので前記十周年競馬大會は殆どお土産つきのレースばかりである、なほ同倶樂部では記念入場券を來る二日ごろより一齊に市内十一軒の代表店にて前賣りを開始する筈である

白衣の勇士 卅日に内地へ
けさ七十三名來連

黄塵の曠野に奮戰力闘して大和男兒の意氣を宣揚し輝く武勳を白衣に包む歩兵大尉時末嘉氏外七十二名の勇士は戰傷漸く危險を脱し内地へ痛ましい凱旋をする事となり廿八日午前七時大連驛着列車で豐島二等軍醫外十數名の看護兵に附添はれ來連したが、驛頭には田村陸軍運輸部出張所長を始め軍部關係者並に公私諸團代表者及び小中等學校生徒團體多數出迎へ戰傷勇士の輝く勳を讚え在滿邦人の感謝の渦は驛頭を埋めた、白衣に包んだ頑強な體軀に未だ衰へざる戰闘心を漲らせてはゐるが銃とる腕を吊り松葉杖或は擔架の勇士の傷ましい姿に出迎への人々は今更に新たなる感激を覺えた、懐しの軍帽に戰ひの夕を追想し戰友と別れて今歸國の途にある勇士は救護車で市内大江町衛戍病院分院に收容されたが來る卅日午後四時(廿八日附親刊赤刷には單に午後四時とし卅日を逸脱せるに付訂正)出帆照國丸にて廣島より出迎への永島二等軍醫に護られ懐しの故國へ凱旋する【寫眞はけさ驛頭で】

十七勇士遺骨 七月一日來連

滿蒙の原野に奮戰しよく皇軍の武威を輝かし乍ら遂に名譽の戰死を遂げた井口穎二歩兵伍長以下十七勇士の悲しき遺骨は來る七月一日午後四時五十分大連驛到着同二日午前一時[illegible]丸にて[illegible]の凱旋する事となつたが慣例により二日午前八時より市主催の下に埠頭待合所に於いて慰靈祭を執行する筈である

派出所前を贓品が無事通過
誰何し乍ら見のがす

二十八日午前四時ごろ市内浪速町二丁目警官派出所前を客馬車に吳服雜貨類を山ほど積んで通行する怪しげな支那人を立番警戒中の間野巡査が發見誰何するとその支那人は浪速町二丁目天盛號の店員で主人の命で得意先に注文品を屆けるところだと申し立てた間野巡査はなほも怪しみながら不覺にも主人を呼んで來いと支那人を手放したところ、天盛號に行く風を裝ひ薄暗に紛れて何れかへ逃走した一杯喰された間野巡査は地團駄を踏んで殘念がり天盛號に驅けつけて見ると同家の裏口窓を破壞して屋内に侵入し商品の毛羽二重二十反(時價一千四百十二圓)外百餘點の吳服、雜貨類合計二千二百三十一圓を盜み出し客馬車に積込んで大膽にも派出所を通行し小崗子方面へ運ぶところであつた事が判明、大連署では前科者の所爲とにらみ犯人嚴探中

晴の一戰に自重練習 水泳チーム メッセーヂ

【龍田丸特電二十七日發】オリムピック水泳チームは總監督田畑氏の名で熱誠なる一般後援者に對し大要左の如きメッセーヂを發した

祖國出發に際し全國的御聲援を得感激に堪へず生等責任の重大なるを感じ晴の一戰で國民諸氏の期待に應ふべく總員自重練習に努めてゐます

なほ海上は平穩で一行元氣旺盛である

朗かな選手達

【龍田丸二十七日發】選手達の朗かな態度に日本人のみならず外人の子供達まですつかり仲良しとなり練習の餘暇にキヤツチボールその他の遊戯の相手に引つ張り凧の有樣である、廿八日午前十時(滿洲時間廿八日午前七時)子午線を通過し廿八日が二日ある譯である

林熊祥氏歸臺

去月十二日來滿以來滿蒙各地を視察中であつた臺灣の大地主林熊祥氏は廿八日午前十時大連出帆はるびん丸にて歸臺の途についたが同

氏は語る

今度の旅行はたゞ漠然と新興國の現狀を見學して來たが滿洲は私達としては矢張り農業です、青果でバナナ、オレンジ等を今後大量に輸出したいと思ひますが臺灣から當地への輸送は矢張り臺灣と當地間は一回直航船があるのでこれを出來るだけ有効に利用し滿蒙の販路を擴張したいと思つてゐます

黒石礁の水泳場 一日から開場

滿鐵運動會水泳部の主管にかゝる黒石礁の水泳場は大連近郊における唯一の好適の水泳場として大小無數の河童連より大いに歡迎されてゐたが本年度もシーズン來と共に水泳部幹事では種々準備を進めた結果來る七月一日から開場することゝなつたが、同所には水泳部主管の小船、遊艇あり二階建脱衣場棧橋簡易賣店飲込臺等の設備も完備して居り開場中は水泳部員多數出席の上日本古來の各種水泳術を指導し行事も左記の如く施行する筈である

▲開場式 七月三日 ▲大會 七月三十一日 ▲閉場式 九月四日

▲遊泳 一哩(七月十七日)三哩(七月廿四日)五哩(八月七日)十哩(八月十四日)一哩(八月二十八日)

なほ今年度より水泳術の普及を圖るため左記の如く部費を値下げする

社員及び其の家族(學齡未滿を除く)開期券三十錢▲臨時一回券五錢▲社員外開期券五十錢▲臨時一回券五錢

對日デ盃戰のイタリー選手

【ローマ二十七日發】デ盃庭球戰歐洲ゾーン準決勝試合にローマで日本選手を迎へて戰ふべきイタリー選手は左の三名に決定した

デ・ステフアン、パルミエリ、セルトリオ

佐藤三木組勝つ

【ウインブルドン二十七日發】青木ロジアス組準々決勝にて英國デ盃選手に破れた

ペリー(英) 六—三 六—三 七—五 ロジアス 青木(電文脱漏)

佐藤三木組は三回戰に濠洲デ盃選手クロフオード、ホプマン組を大接戰の後破り準決勝出場資格を得た

佐藤 三木 六—四 六—三 三—六 六—二 九—七 (濠)クロフオード ホプマン

野村中將入院

【東京廿七日發】野村司令長官は義眼の整形と身體中に殘つてゐる數個の爆彈破片摘出のため二十八日午後海軍病院に入院する

古着で俄紳士

金州生れ王有之(二三)は去る廿三日ごろより市内磐城町馬場古着店外數軒に忍び込み古着約百圓を竊取し廿八日贓品悉くを身につけて俄紳士になりすまし棚立町から西途小崗子署員に怪しまれて逮捕された

柳樹屯史蹟見學團

大連史談會では來る七月三日、柳樹屯史蹟見學團を組織し同地における先史時代、明時代(倭寇)日清、日露戰役時代の遺物である貝塚、烽臺、砲臺、古碑、墓跡、兵營等を滿鐵囑託島田好氏の說明を聽く

當日は午前八時北大山通り波止場に集合、同八時三十分出帆、午後二時半若しくは同四時柳樹屯出帆の豫定で會費は往復四十錢(船賃のみ、六十錢を割引)辨當は各自持參の事、參加希望者は七月一日まで往復ハガキにより市役所内大連史談會(電話八四五四)へ

トキワガーデン

連鎖街ミス・ダイレン經營のサンマーガーデンは涼しい補込と瀟洒を配して納涼氣分を滿えた生ビール、アイスクリームで家族本位のサービスをして散歩から喜ばれてゐる

安藤氏母堂

實業團選手安藤忍氏の母堂トシ刀自は兼ねて病氣で鳥取縣鳥取市掛出町自宅で養生中二十四日午後四時死去した、大連に於ける追悼會は廿八日午後五時から明照寺で執行

カレンダー配布

本紙愛讀者に贈呈する第三回カレンダーは滿洲、支那、朝鮮及内地へは廿九日、州内は卅日附新聞と共に配布します

天氣予報

二十九日

南の風(曇)一時晴

滿潮(午前七時十五分 午後七時五分)

干潮(午前零時二十分 午後一時二十五分)

けふの小洋相場(正午) 金百圓は一五三圓五五錢

會葬御禮 牧原修七

父田村益二儀豫て病氣の處藥石無効本日午後七時死去致候間此段御通知に代へ謹告仕候
追て葬儀は明後二十九日午後四時出棺西本願寺に於て執行仕候
昭和七年六月廿七日
男 周太郎
次郎
四郎
末五郎
親族 田村嘉
親族代 竹島隆

國難日本刀（16）

高桑義生作　京極佳夕畫

右と左（四）

水戸齊昭は、將軍の命をうけて七月五日、たえて久しい江戸城に登營した。そして新將軍に謁し、老中諸役人を接見し、以後隔日に登城して、幕政を視ることになつた。

藤田虎之介（東湖）、戸田銀次郎、安島帶刀——錚々たる水戸の新人が、かれの側近に奉仕して、機密にあづかることになつた。

八日、齊昭は海防意見十條を示した。要するに國防の急務を論じ軍備を修ることを力説したもので天下は騷然として鎖國攘夷に傾倒した。

また、齊昭はみづから質素儉約の範をしめし、城内で、書食に、室數から持參の粗末な行李辨當を食し、雨が降ると、蓑を着てはたらくといふありさま。で、自然幕府の役人も粗服をまとひ、儉素を旨とするやうになつた。十六日には、儉約令を發布して、諸大名を戒めた。國をあげて、國力の充實——いはゆる五個年計畫、あるひは十個年計畫といふやうなものである。

すると、翌十八日、露國艦隊司令長官プーチャンが、軍艦二隻、帆船二隻をひきゐて長崎に入港した。露國もまた、國書をもたらして、修交通商をもとめ、さらに日露國境を解決しようとするのだつた。が、三百里もはなれた長崎の事件が、江戸幕府に報告されたのは、ずつと後の事——。

ちやうどこの夜ごろ、西の空にはうき星があらはれた。夜ごとに光をまして來る。地上の人間はそれを仰いで、不安なまなざしで語りあつた。

「いやな色ぢやありませんか。近々にきつと大變がございますぜ」

「左樣、當節のやうに、かう騷がしい世の中になつては、まつたく生きてる空もありませんや」

日が暮れると、何處の辻にも、空地にも、五人十人の人があつまつて、空を仰ひでゐるのを見た。

繁華な町中でも、わびしい草家の軒下でも——。

男も、女も、老人も、子供も——。

空にはすでに秋の氣が、あざやかに動いてゐた。混さつた花は、武中の山脈が浪のやうにうねつてゐるのが見える。

その夜は、さやかな月が照つてゐた。月の色も思ひなしかものすごい。遠近は油色に澄んで、秋の虫がけんめいに啼つてゐる。

日暮里下谷中。

そこでも蒼茫たる武藏野のおもむきが感じられる。

粗末な衣服、大小をさしてゐるから、武士にちがひない。月と星の下を、小聲でなにかうたひながら、谷中にむかつて歩いて行くのだつた。

月のひかりで、秀麗な顏が、なんとなく憂ひをふくんだ眼ざしが——ほのかな輝きを見せてゐる。

と、人聲がおこつた。十人ばかりの百姓家であつた。十人ばかりの人が、女も子供もまじへて、空を指さして、語つてゐる。まだ涼み客が出てゐた。

通りかゝつた武士は、いそがぬものと見えて、その仲間に入つて今更のやうに、ほうき星を見あげたのである。影——地上の影はくつきりと濃い。

「今に、世の中に、大騷動が起るだらうよ。どうなるのか、わしにもわかりやしないがのう、きつと起るに違ひないのぢや」

と、老人——このあたりの百姓らしい、朴訥な老爺だつた。

「わしなどは、もう長い事はないから、たとへばどんな世の中になつたところで、いゝやうなものぢやが、若い者や、これからの子供は、どうなるのか？どうせ善い事ぢやないにきまつてる。この頃の世間を見るがいゝ、見る事、聞く事ひとつとして善い事はない。世も末なのぢやよ。あのはうき星がその前兆なのぢや。昔からの言ひ傳へは、けつして違へないものぢやからのう」

老人は嘆息した。

かなしい聲である、わびしい呟きである。

穂芒をおもちやにして、ぐわんぜない子供も、好奇の瞳をかゞやかしてゐる。

常盤座の七月プロ　會員を募集

常盤座では新しい興行法として六月から一萬人會員を募集し最初から相當の成績をあげ、將來益々發展する可能性を認め、七月以後のプログラム編成のため小泉友男氏が内地に赴いてゐたが、この程歸連し七月プログラムを大體左の如く内定した、なほ七月第一週は六日からで毎週六日間の豫定である

▲一週　高木永二實演團とパ社映畫「私の殺した男」メトロ映畫「俺は渡鳥」

▲第二週　コロムビア映畫「乘合馬車」パ社映畫「珍暗黑街」

▲第三週　パ社映畫「貨物船と女」メトロ映畫「大飛行艦隊」

▲第四週　パ社日本映畫「浪子」同「インチキ商賣」

會員券は普通一圓、特別一圓五十錢で廿六日から發賣してゐる

（噂話）

帝國館のトーキー興行「上海」は來る三十日まで二日間日延することに確定▲上海から歸つた長大日活館主の噂する處によるとチヤプリンの「街の灯」は先づ望みがないとのこと▲銀の四千弗といふ話だつたが行つて見ると金の五千五百圓だと言ひ▲金さへつくればすぐ手に入るやうに傳へられてゐたが、そんな樂觀らしいものは一つも邦人との間に取交されてゐないとのこと

田吾作　ホームラン　帝國館上映

日活の大衆映畫監督池田富保を御大とする喜劇班の第一回作品で時代劇の俳優を現代劇に用ひた澤田清のロイド振りがミソの大衆的現代喜劇である

池田富保の原作監督でストオリイは田舍から青雲の志を抱いて神戸に出た青年田毎清作（澤田清）が許婚の豪農の娘（花井蘭子）のため小使の身であり乍ら重支配人となつたゝめに首をきられ、失業の憐みを味つた末或夜首をきられた會社に押入つたギャング團——實は會社の社員——を逮捕してホームランを飛ばし錦を飾つて故郷に歸るといつた筋である。

池田富保の監督手法及び俳優指導は全くロイドの喜劇振りで大衆[illegible]で内地では物凄く受けたといふからロイド物が何度映畫されても觀衆を笑はすと同じ理窟である

例へばボロ自動車に乘つて物凄いスピードで街を走る場面、ギャング團に追はれてビルディングを逃げ廻る驚天樓もどきのテクニック等いづれもロイド映畫の模倣であるが、大衆には受けるのだらう、兎に角大衆本位の喜劇映畫である【寫眞は澤田清と花井蘭子】

社説
吉會終端港と各種の利害點

目下敷設工事が進捗して居る所謂吉會線の終端港に就て、過日の東電は其候補地、即ち西藩浦、雄基、羅津並に清津のうち雄基が最も有力視されて居ると傳へた。由來この問題たる久しく朝野の間に論議せられ、吾人も亦た屢々意見の一端を發表し來つたが、吉會未成の豫定路が、時局に從つて急速に實現性を高め、全部の開通を目睫の間に見んとする今日に於ては、最早や彼これ議論に時を過すことを許さない。當面の急務として是非孰れかに決定せねばならぬ時となつたのである。

◇

自然の情形から各港の適否を檢討すれば、そのいづれにも長短はあるが、位置、水深、背後地などの諸點に於て、雄基は港灣としての資格十分であり、且つ人文的に見ても清津に亞ぐ重要地たるや論を俟たぬ。唯だ缺點は港内水面の狹隘なると、東北風の衝に當つて居ることだ。大津灣及び晩浦を隔てゝ、雄基の西方に西藩浦がある。地形は南方に向つて展開し、周圍の餘裕亦、他の三港の共に遙かに及ばぬ所だが、豆滿江口のデルタであるだけ低濕の沼澤多く、水深其他に於ても到底大港灣たる資格ないやうに言はれて居る。殊に軍事上にも種々缺點が少なくない爲めか、今まで餘りこの地に就て語られなかつた。

◇

どちらかといへば、從來最も盛んに議論の鬪はされたのは、雄基と清津との優劣適否であつて、雄基は常に次善的批評の内に閉ち込められて居た。それは前に述べた港内面積の狹少などに起因したのだが、併し同時に雄基港にはこの地自體のヒンターランドがあり、羅清のいづれに終端が策定されても、現有の繁榮力は失はれぬてふ自信力が在住者にある爲だと思ふ。處が羅津と清津とに至つては、終端港その者の去就に依つて、直ちに死命の全體が制せられる土地柄なのだ。羅津の加擔者は其の港灣の勝景を說きて、清津の遠く及ばざる所なるを高調する。清津の加擔者は、羅津には背後地なく、且つ鍾城以南の難路崎嶇たる實狀を指摘する。斯くて互ひに鎬を削り合つて居たのである。

◇

併し羅津說に比較して清津說の強味は、それが築港上種々風土の缺陷あるに拘はらず、既に會寧との間に五十八哩の幹線を擁し、四萬の人口と二千萬圓の貿易額とを有する點にあつて、半島行政の局に當る朝鮮總督府としては、之を無視して猶ほ落々農村の點在するに過ぎない羅津に、遽に大々的犧牲を拂ふことが出來ないのであつた。隨つて常に行政者としての穩健な態度を採つたが、其間に會寧以北の狹軌鐵道は進捗し、それが江岸に沿うて潼關鎭に出で、他方訓戒より慶源を經て雄基と相連するに至つたが、之が爲に後者は必然的に琿春平野の物資を雄基に流下する勢ひを激成し、羅清間の問題は漸次雄基清津間の繩張爭と變じた。羅津は寧ろ第二次的の位置に低下した形であるが、恰度この際、吉會線の國際的開通期は差迫り、開通後の物資を吞吐すべき終端港決定が急務となつたのだ。

◇

之は俄かに時局が與へた北鮮事情の變化であつて、上三鮮若くは鐘城と、羅津とを連絡する鐵路の敷設されぬ限り、雄基の位置は居然として動かすべからざる者となつた。隨つて東電傳ふる如く同港終端說が強調されるとすれば、公平に實際の實情を知るものゝ反對し得ざる所であらう。唯だ注意點は羅津が有する自然の形勝であつて、然し雄基が差當つて吉會の終端となつても、遲かれ早かれ前者の形勝を利用しない譯には行かない。前にも說いたやうに、清雄兩港の優劣論が世の耳目を衝動させた時代、雄基在住者はその自から有する強調を確信して疑はず、就中羅津の繁榮は雄基に餘澤を興ふるものだとさへ唱へて居た。そこにこの僅々數里を距つる兩港間の相助的關係があつて雄基が商港としての適當な地形を有する如く、羅津には必ずしも背後地の如何を問ふに及ばぬ使命がある。例へば國防上の要塞地帶としても、朝鮮東岸無比の天嶮さ利便さを有して居る。況んや同灣背後の山谿には、石炭その他の礦物を多分に包藏し、東に一路東を指せば、日本海が蓄積する無限の水產物に富めるをやである。何れにしても吉會線終端港問題は、それ自體之に隨伴する多くの研究事項を有するが吾人はその一日も速かに決定實現され、人心をして嚮ふ所を知らしめんことを切望したい。

新黨參加者は廿五名以上の見込
第三次臨時議會前に結黨式

【東京二十八日發】安達謙藏氏は廿七日愈々新黨樹立の聲明を發し表面に乘出すについては至急適當な事務所を見つけ次第政治俱樂部を組織することに決した、之に參加するのは安達氏を始め既に民政黨を離黨せる山道襄一、古屋慶隆、小池仁郎、伊豆富人、深水清、加藤鯛一及び東方會の中野正剛、風見章、由谷義治の十氏の外更に近く脫黨を豫想される福田虎龜、戶田由美、杉澤良四二、佐藤啓、佐藤理吉、高橋壽太郎、伊豫田、野中徹也、中川觀秀、中田正輔、後藤亮一等の諸氏であり、なほ第一控室からは鈴木正吾、福田關次郎氏等の參加を期待してゐる、而して着々準備を整へた上第三次臨時議會前大體結黨式を擧げる豫定である、安達派は小山谷藏、森峰一、清寬其他數氏參加豫想し結局二十五名以上の安達團體に達することを確信してゐる

所見一致し意強し
民政幹事長談

【東京二十八日發】民政幹事長談　安達氏の聲明書を見て安達氏が黨の最も民政黨組織當時發策と精神においてところがない、この所見を一にするにおいてその相見強くするに足る、を持せられ茲に決に國救に當られる此時に當り相共に國家獻すべき聲明を出の最も敬意を表する

新黨の勢力増大せん
政友幹事長談

【東京廿八日發】山口政友會幹事長談

新黨樹立に關し安達氏聲明書發表
『一君萬民の大義に則る政治』
昂然たる門出の意氣

【東京二十七日發】安達謙藏氏は愈々新黨樹立のため政界の表面に乘出すに決し廿七日午後五時十六分麴町區布廠尾の自邸で左の重要な聲明書を發表した

內外の難局は甚だ險惡な世相を示しこのまゝ推移せば容易ならぬ事態を起すかも知れぬが日本帝國は實に興廢の危機に立ち八千萬國民の自覺と奮發に依つてのみ難局を乘切ることが出來る

一、世界無比の國體に基き一君萬民の大義に則る立憲政治の運用

二、滿蒙問題の急速なる解決を中心とする根本策の確立

三、國力の增進を綱とし社會政策を緯とする統制經濟政策の確立

四、農村及都市の窮乏切迫大衆生活の不安に關する應急對策

五、教育の徹底的實際化

之等は切迫せる情勢の下に急速に解決を要する無力な既成政黨は手を下し得るものでない、今日應急の諸對策は單獨別々に實行さるべきものでなく大日本國家發達の現在一貫せる主張の下に綜合集成せらるべき根本的革新事業の一貫である、余は昨年末外交經濟社會各問題の窮迫に鑑み協力內閣に依り政黨を超越し難局打開せんことを主張した其の眞相は今日一言の辯解を用ひずして明かとなつたが余は過去の問題を脫却し將來に向つて一身を捧げ君國の爲め奉仕し度い考へである、今日邦家內外の諸事業は單に官僚及政黨領袖の協力のみでは追付かなくなつた、更に根底深き國民大衆の協力に向つて呼びかけねばならぬ、余は過去の經過に反省を加へ最後の御奉公を爲すと共に今日の過渡期に於て新時代發生の產婆役となり年壯有爲の士の協力に依り大事を完成して貰へば本懷の至りである具體的政策も腹案として持つてゐるが余は廣く天下に經へて識者の協力を仰ぎ共に事を爲さんとするものである、故に難局を乘切るべき有力なる政黨を結成する目的とし先づ大方諸賢の達見を求むべく俱樂部とか研究會とか云ふ樣なものを設け學者にも實際家にも軍人にも官吏にも浪人にも自由に出入して貰ひその敎へを乞ひ同志相寄り衆議を凝して新政黨結成の旗印を決め度い考へである自他共に白紙の立場に立ち新に出直して進むを得ば幸福である

安達氏は語る

【東京廿七日發】新黨組織につき安達謙藏氏は語る

愈々新黨組織に着手することゝなつた、近く俱樂部が出來たら自から乘出して各方面の人と意見交換したい、結黨式のことは何時にするか考へてゐないが新黨は天下の人士を求めて之を作る決心で政策は大いに練つて之を揭げる、從來の羊頭を揭げて狗肉を賣る底のものでなく飽迄徹底を期するつもりだ、要するに結黨には型を破つて行きたい或は結黨前遊說に出るかも知れぬが集まるものは我々のみならず一騎當千の人ばかりだ

政界淨化を希望
貴族院方面の批評

【東京二十八日發】貴族院の批評を綜合するに新黨の五政綱は別に目新しい處なく實行力如何だとしてゐる、而して政黨刷新につき具體的に言及してゐないのは物足りないと見、新黨が政界淨化に寄與せん事を望んでゐる

東支李督辦滿鐵總裁を訪問
昨夜哈市出發南下

【ハルビン特電二十八日發】東支督辦李紹庚は一九三一年度利益金處分三二年度豫算が片附いたので內田滿鐵總裁に敬意を表するため理事沈瑞麟、通譯一名を伴ひ二十八日午後九時四十五分發大連に向つた、大連着は二十九日夜である李督辦は語る

昨年八月內田總裁の訪問を受けたのでその答禮を兼ね外相就任の祝辭をも述べ旁々滿鐵の諸施設を視察したい、滯在は約三日の豫定で

大連は これで二度目です滿洲國のシンガポールと云はれる位で發展も急テンポであるから隨分變つたでせう東支の三十一年度利益金は二百萬金留と決定しロシヤ國で分配した、此利益金は東支が事業費豫算を使はなかつたために出て來たもので少し苦しい利益金です卅二年度豫算は收入三千七百萬金留と決定したが現在の狀態では百七十五萬金留も損失があるので前途は大いに懸念される、東支從業員は現に給料の三割減をされてゐるのでこれ以上給料の値下げすれば生活が出來ない、併し何うしてもやつて行けなければ從業員を多少減らさねばなるまいかと思つてゐる、自分の

辭職說 があるやうだが自分はこの財政難切拔に全力を注ぐ積りだから辭職はしない

軍隊匪賊入亂れて阿片收入の爭奪戰
苛政に喘ぐ熱河省民
一部は錦州の皇軍に出兵請願

錦州來電によれば熱河省特に建平縣地方においては同地附近駐屯騎兵第十六旅第十一團長蘇某等は該地方において奸婦掠財その他不法行爲多く又一方熱河一帶は今や近くその唯一の然も最大收入たる阿片の採取期に入りこれを掠取若しくはこれに課稅せんとする軍隊、官僚、匪賊等これを免れんとする農民との間に各種の亂鬪劇を行ひつゝあり、地方民は兵匪のために壯丁の一部に銃器を執らしめあくまで武力を以て對抗せんとし先づこの苛政より免れんがため日本軍の來ることを望むもの多く仕民の一部は在錦州の邦軍に對し出兵を請願し來つた【奉天電話】

湯玉麟は朝陽、凌源境にある學良の義勇軍拭天の聲明により二十日百七旅を以て討伐せしめ又朱霽は目下北平において熱河省要人と連絡せんとせしむ、湯玉麟はこれに絕對反對せしを以て朱は目的を達せずそのまゝになつてゐる【奉天電話】

乘客を拉去
東部線で乘込んでゐた賊
乘客を片端から檢査

【ハルビン特電二十八日發】二十八日朝七時頃一面坡よりハルビンに向ふ第二十五號旅客列車が阿什河の手前六露里の地點を進行中乘客を裝つて乘り込んでゐた賊九名は機關手を威かくして停車させ乘客を片ッ端から檢査して金品を奪ひ人質として滿洲國人三名を拉致した

船橋枝隊楡樹を占領

【ハルビン特電二十八日發】船橋枝隊は二十七日朝八時劉家店東北十キロの地點で敵騎五百を擊退十時四十分迫擊砲を有する敵百名を潰走せしめた、先遣部隊は二十七日午後三時三十分楡樹を占領、支

日滿經濟關係の現在及將來 (2)
滿鐵經濟調査會　安藤松之助

(四)滿洲產物に販路の提供

滿洲の輸出貿易額を向先別に見るときは日本が最も大なる部分を占めてゐる(最近五ケ年平均において四十六%)卽ち滿洲の資源の最大華客は日本である、特に豆粕に對する日本の需要が大豆生產及び油房業の發達を促したるは著しい事實である。南滿三港貿易の輸移出總額に對する對日輸出割合を見るに大豆は二十七%、豆粕六十八%、石炭五十八%、粟九十七%、銑及同製品八十九%柞蠶糸七十一%、雜豆類七十四%等であつて滿洲の重要產業は日本といふ販路を有することによつて初めて成立するの狀況を示してゐる。

商品を賣り買ひすることを貿易とすることは之を一方的に恩惠とか利益とかと解することは出來ないがその關係が濃厚であることは相互依存の重大な關係といふことが出來る。而して滿洲商品に對し販路を提供した事は滿洲の經濟發達に少からぬ貢獻をなしたといふべきである

(五)必需品の低廉供給

滿洲は原料資源の供給は豐富であるが精工業が幼稚なため他より衣料品諸雜貨並一部食料品の移輸入を仰がねばならぬ。此等生活必需品の安價提供といふことは、生活程度低き滿洲在住農民達にとつて甚だ必要であつて之は勿論供給者の方にも充分の利潤を與へるものであるが又之を要求せる需要者側から見れば一つの恩惠とも見るべくかくて相互依存の關係は需給兩者の經濟發展を助長するものである。

滿洲の輸移入總額中日本よりの輸入額は最近五ケ年平均に於て四十三%を占め最大の供給者である重要品に就いてみるに綿織物に於ては日本は輸移入總額の六三%砂糖六九%、藥品及び藥材三九%、綿及綿四七%、機械類五一%、車輛類五四%、紙類四五%等となつてゐる。此等の供給者として日本が進出しなかつたとすれば幾分の割高を以て他國が之を供給したであらうかその差額が如何程滿洲の經濟に貢獻したかといふ事よりもその差額のために日滿相互依存の關係が濃厚となりたることに意義が多く見出される。

(六)日本の寄與による滿洲經濟發達

以上日本の寄與を大體要約して見た、卽ち投資(資本的貢獻)經營(智識勢力能力等の貢獻)貿易(物資の需給的貢獻)の三である、而して此等の實際上經濟各部門に亘つて働き作用し滿洲經濟發達を促したのである。以下極めて簡單に各部門に於ける狀況を述べよう。

●鐵道 滿洲鐵道延長六、二三四〇粁で支那自辦鐵道…

滿鐵事業資金
四千萬圓近く起債

滿洲製品を日本に輸出
大阪の貿易商

歐亞連絡換算率

東支滿鐵連絡運輸換算率

渤海漁業權邦人に許可か

山岡長官歸任

うすりい丸船客

市況
特產
銀高と乘替で大豆低落

株式
內地變らず保合閑散

錢鈔
日米爲替軟調　鈔票反撥

商品
綿糸保合

奧地市況

市場電報
神戶特產　東京株式　大阪株式　東京期米　大阪期米　神戶期米　大阪綿糸　橫濱生糸

魅力とは何?

▼…魅力とは一體何でせう?滅多に持つてゐる人がなく、稀には持つてゐる人があつてもその人自身は意識しないもの。人間の五官によつてはなかく把握されないが何となく人を惹きつけるチヤームといふものが五官以上のものであるやうに――個性の片影です

▼…例へば機械文明の精華を誇る近代都市に住む人が、道といふ道もない山奥の原始そのまゝの掘立小屋や水車小屋を見て魂のふるへるほどの感動を受けるやうに、綺麗に塵一つないまで整頓され掃除された公園の花壇の絢爛さをたゝえた人が、ふとした田舍道のかたはらに見出した雜草に無限の美を見出すやうに――

▼…私共の近代的生活が強烈な刺戟をのみ求めてかけずり廻つて疲れ切つた時に技巧と粉粧ぬきにした大自然の大きさが私共の乾き凋んだ心に清水のやうに沁み込んで來るのを覺える瞬間がありませう、グロテスクなメーキヤップと、誇張された身振りや言葉と鼻もちのならぬエロ臭さ――もさうした雰圍氣の中に窒息しさうになつた時、まだそこなはれない幼い子供たちの中に、名もない片田舍の純朴のまづしい人々の心に、私共の求めてさがし得なかつたあるものを見出すことがありませう。

▼…刺戟を、魅力をと血眼にさがしまはつてゐる時、私共の求めてやまないものは全く私共の思ひがけぬ所に存在することを發見するでせう。

みな樣の道しるべ
『家庭顧問欄』の陣容成る
婦人・衛生・育兒・法律各相談部の顧問に斯界の權威者十八氏を

坊ちやんや孃ちやん方への日曜日の贈物――「滿日日曜附録」は來る七月三日の第一回發刊日を目前に控へてわが社係員はその準備に忙殺されてをりますが、これと同時に家庭人の道しるべをもして開設することになりました「家庭顧問欄」の顧問につき左記の方々に顧問たることを交渉中のところわが社のこの企てを諒として快諾を得ましたのでこゝに全く陣容を整へ、讀者一般のご相談に應ずることになりました、せいぐ御利用下さい(順序不同)

婦人部顧問

大連羽衣女學校長 岡内半造氏
大連技藝女學校長 島田道隆氏
大連彌生高等女學校長 細萱庫三氏
大連神明高等女學校長 村井榮藏氏
大連女子商業學校長 樋口光雄氏

衛生部顧問

大連信濃町六三 肛門皮膚科 辻慶太郎氏
大連市信濃町一三 内科 土井三郎氏
大連市大山通六四 耳鼻咽喉科 森本辨之助氏
大連市信濃町一二〇 眼科 三根辰一氏
大連市三河町一八 産婦人科 岩男其二郎氏
大連市山縣通七二 外科 唐澤準吉氏
大連市三河町二 齒科 日下卓四郎氏
大連市西通七八 小兒科 金子甚藏氏

育兒部顧問

大連幼稚園主任保姆 岩本ナツノ氏
大連双葉學院講師 礒部千代氏
大連南山麓幼稚園主任保姆 峰羊氏

法律部顧問

大連市磐島町一四〇 寺島由松氏
大連市但馬町一二 小野實雄氏

衛生相談部顧問 向つて右上から辻慶太郎氏、岩男其二郎氏、唐澤準吉氏、金子甚藏氏、左上から日下卓四郎氏、森本辨之助氏、土井三郎氏、三根辰一氏

婦人相談部顧問 向つて右から岡内半造氏、細萱庫三氏、村井榮藏氏、樋口光雄氏、島田道隆氏

「家庭顧問」へご相談の方は左記をお守り下さい

一、用紙は必ず官製はがきの事
一、住所姓名明記の事 紙上發表は匿名でも差支へありません
一、直接顧問へのご相談は堅くお斷りいたします
一、宛名は大連市東公園町滿洲日報社家庭欄係

ネツト裏の

強いのが好き
だが三振打者にはすつかり同情

―11―

大連市西公園町六六 土橋蔦子さん(二三)

「私たゞ強いのが好き、ファイティング、スピリットに燃えた選手が好きですわ」だからご飯の一度くらゐ食べなくてもいゝといふほど野球の好きな蔦子さんですけれど、調子が惡くて自暴氣味になつたりあんまり勝ちすぎて調子をおろしたりして來るときまつてネット裏で欠伸をかみころすのです

× × ×

神明高女を卒へて東京のさるドレスメーカー學校へ學んでゐたんですが六大學リーグや早慶戰には縫ひかけのドレスや型紙なんか放り出して、朝早くから兵糧をしこたま仕入れてグラウンドに頑張つたといふ流石昭和の女學生です「クラスに野球ファンが七八人ゐましたの、ふだんは仲がよいのですが早慶戰にあるとそれが二派にわかれるのです、いつかみんなで學校をサボつて早慶戰を見に行つた時、相憎かへりに雨がふり出して困りましたの、ところが揃ひも揃つて早大ファンの者は雨具の用意がなくてそれでその日は慶大の勝だつたでせう、傘をもつた方たちが入れてあげると仰言るのを振切つて雨の中をビショぬれになつて泣き作らかへつた事をおぼえてゐますの」

その位にも早大が好きだつたといふ蔦子さんです。

× × ×

蔦子さんの野球ファンになつた起因は遠く常盤小學校在學當時に遡及してゐます當時大連各小學校の少年野球大會ではさんざ毎シーズン優勝をつゞけてゐた常盤小學校ですからその野球熱も推して知るべく、蔦子さんも女ながらおうちの長い廊下で弟さんを相手にキヤッチボールをしてはガラスや障子を破つてお母樣の御叱言をくつたものです。更に神明高女へ進んでからはクラス對抗のインドアーベースボールの外野手として、或は應援團長として、獅子奮迅として可なり活躍したものです

「今の滿倶の吉野新夫人など素晴らしいショートでしたのよ、私なんか三振の名人で……だから今でも三振して氣まりわるさうにスゴスゴとバットをさげてかへつて來る人を見るとすつかり同情しちまひますわ」

× × ×

「母さまだんだん話せるわれ」蔦子さんこのごろしきりにお母様をおだてゝは一生懸命野球のルールをコーチしてゐます

× × ×

「この間浪速町に出てグランドパラソルを見つけて欲しくなつちやつたんですけれど、あんなもの生意氣だつたてお母樣に叱られましたの、だからお母樣にも野球を教へてグラウンドへ連れて行つてあのグラウンドパラソルがどんなに必要かつて事を知つて頂かうと思ひますの、それに一人で野球見に行つたら話相手がなくてつまらないんですもの」

それにしてもずいぶん分氣の永いはなしです(寫眞は蔦子さん)

子達が嫌ひな人・參・料・理
斯うしてあたへて榮養を攝らせる

虚弱兒の嫌な食物?を調べて見ますと、先づ牛乳、豆、人參、トマト、玉葱と、ヴイタミンを含む榮養價あるものばかり嫌はれてゐます、人參など既報した樣に凡ゆるヴイタミンを含んでゐるのですが折角の榮養價ある人參を色々工夫して美味しく調理して子供に食べさせませう、次に人參料理數種を記して見ましたがこの方法だけでなくお母さん方も珍しい物を工夫して與へて下さい

人參白和 人參の皮をむき、小口から廻しながら亂切りとし茹でて、出汁、砂糖、醤油でうす味をつけ、ごろごろに摺り、水氣をとつて、切つた豆腐半分を加へ、白味噌を少々加へて摺りまぜ、砂糖を加へて裏漉にかけ、この中へ汁を切つた人參を入れてよく和へ小丼へ盛つて出します

人參のスチユ煮 人參の皮をむいて一寸位に切り、四つ割か六つ割位にして芯を除り軟かに茹でて汁が煮詰つたらその中へバタを加へ、鹽と胡椒で味をつけます

人參豆腐 皮をむいた人參を軟かに茹で、裏漉にかけ一合二勺の水で五勺の葛を溶いた中へ前の人參を加へ鍋へ入れて湯煎にかけ、よく煮て攪廻してゐる中に固くなりますから、これを布巾の中に取つて四角に手で形を拵らへ、蒸籠に入れて蒸し冷まして長さ二寸、幅一寸位に切り、鍋の中へ味淋、醤油を入れ煮詰めて、出汁を加へ、少しからめの味にして、水溶きの葛を加へ、よく火が透つてから四角に切つた人參を入れ温めて椀に盛り、卸生姜を添へます

人參サラダ サラダ油と酢胡椒、鹽などで調味した中で人參をさつぱりと和へたもので、ビフテキ等に添へて出しますと引立ちます、人參の皮をむいて小口から薄く切り茹で笊へあげておき、サラダ油大匙三杯、酢大匙一杯、胡椒茶匙半、鹽茶匙二杯をよく混ぜ合はせ、この中へ人參を入れてかきまぜます

人參なます 皮をむいた人參を小口から薄く切つて重ねて毛の樣な線に切り、鹽をふりかけてもみ、軟かになつたら洗つて、固く絞り少しの砂糖、醤油、酢を加へてよく掻きまぜて小皿に盛ります、人參なますは平凡のやうですが夏向の料理として、あつさりしてゐる許りでなく、榮養もあり喜ばれませう

北滿の激戰に武勳輝やく五勇士
森司令官から表彰さる

【鞍山】鞍山守備歩兵第六大隊の左記五氏は北滿吉林省海林、南滿頭、四道溝附近の激戰に於て勇敢なる働きをなし武勳を輝かしたので森守備隊司令官より左の表彰狀を授與された

表彰狀

獨立守備歩兵第六大隊第二中隊 陸軍歩兵上等兵 竹內 鍵治

昭和七年三月二十一日吉林省南湖頭附近の戰闘に於て大隊本部桃澤軍曹の指揮に屬し敵陣地の右翼を攻撃せり敵は高地上を巧に占領して我を猛射し爲に我が死傷續出せしも上等兵は最も勇敢機敏に攻撃前進して戰友の士氣を鼓舞し敵の右翼據點猛烈果敢に突撃を決行し遂に之を奪取して敵に側射を加へ以て第四中隊全般の戰闘を有利ならしめ敵をして潰亂に陷らしめたり、其の動作は勇敢機宜に適し軍人の儀表とするに足る

仍て茲に之を表彰す

昭和七年六月二十五日

獨立守備隊司令官 陸軍中將 森 連

◇

獨立守備歩兵第六大隊第三中隊 陸軍歩兵上等兵 吉松 義雄

昭和七年三月三十日吉林省海林南方四道溝附近の戰闘に於て右側衞小隊第三分隊長として敵陣地の左翼高地の奪取に任ず、敵は制高を利用し側衞に對し熾に火力を集中せしも上等兵は能く部下を掌握し射撃を以て敵を制壓しつゝ攻撃前進し遂に突撃に移り率先敵陣地に突入し忽ち數名を殪せり、之が爲分隊の指揮大に振ひ奮戰格闘最後迄死守せる十餘名の敵を殲滅し以て大隊の戰闘を最有利に進捗せしめたり右の行動は洵に勇猛果敢にして軍人の儀表とするに足る

仍て茲に之を表彰す

昭和七年六月二十五日

獨立守備隊司令官 陸軍中將 森 連

◇

獨立守備歩兵第六大隊第四中隊 陸軍歩兵上等兵 遠藤 惣吉

昭和七年三月三十日吉林省海林南方地區の戰闘に於て左側衞小隊の分隊長として敵の翼側に行動し高地上に於て不意に約二百の敵と遭遇するや迅速適切なる射撃に依り先づ敵の企圖を挫折し之を急追して全く其の背後に遁り側衞をして此敵を捕捉殲滅せしめたり、次で各地の掃蕩に方り敵の集中火を蒙り部下相繼で死傷し自己亦身に二彈を受けたるも毫も屈せず益々部下を叱咤激勵し完全に之を掃蕩し山砲及機關銃隊の進出を容易ならしめ敗敵を殲滅するを得しめたり右勇敢機宜に適したる行動は軍人の儀表とするに足る

仍て茲に之を表彰す

昭和七年六月二十五日

獨立守備隊司令官 陸軍中將 森 連

◇

獨立守備歩兵第六大隊第四中隊 陸軍歩兵上等兵 渡邊 嘉幸

昭和七年三月三十日吉林省海林南方地區の戰闘に於て左側衞小隊に屬し敵陣地の翼側に行動して其の據點たる高地上の敵を一擧に擊退し之を急追するや敵の約五十は窮餘逆襲に轉じ分隊長先づ敵彈に殪れ上等兵亦右大腿部に擦過銃創を受けたるも毫も屈することなく率先敵集團に突入し其の數人を刺殺せり、此間再び大腿部に盲貫銃創を蒙りしも尙續いて力戰奮闘し側衞小隊の戰闘を最有利に導き遂に敵將校以下約二十を捕虜とし約三十を全滅せしめ赫々たる戰勝を得しめたり、其の勇敢なる行動は旺盛なる攻擊精神とは共に軍人の儀表とするに足る

仍て茲に之を表彰す

昭和七年六月十五日

獨立守備隊司令官 陸軍中將 森 連

◇

獨立守備歩兵第六大隊第一中隊 陸軍歩兵一等兵 平工 數雄

昭和七年三月二十四日吉林省板子房南方に於て尖兵に屬し密林內を前進中俄然近距離より敵の猛射を受けしが敵は巧に隱蔽し其の所在を確認するを得ず中隊は銃聲に向つて攻擊前進し忽にして死傷續出す、此の時平工一等兵は自ら進んで分隊長に從ひ敵火を冒して進出し敵前約二十米に於て敵兵を確認報告せり、爾後中隊突擊を敢行するや分隊長に從ひ率先敵陣に突入して奮戰格闘其の二名を仆し次で退却する敵に尾して機敏に敵情を報告し以て中隊の追擊を容易ならしめたり、密林內の戰爭極めて困難なりし局面を有利に導ける は一等兵の沈着勇敢機宜に適したる行動に依ること大にして其の行動は軍人の儀表とするに足る

仍て茲に之を表彰す

昭和七年六月二十五日

獨立守備隊司令官 陸軍中將 森 連

各縣公安隊聯合討匪軍を組織す
金山好一味を殲滅

【鐵嶺】開原縣に侵入せんと機會を狙ひつゝある金山好一味の兵匪と大刀會匪は約二千と見られてゐるが、今にして殲滅せずんば憂慮すべき狀態に陷るべしとし近縣各公安隊聯合の下に大討伐隊を編成し西豐縣公安隊二百名、西安縣百五十名、于芷山軍騎兵旅團四百名合計九百五十名の討匪軍を組織し開原公安隊と連絡し二十七日より行動を開始したが今回は徹底的大討伐を敢行する計畫であると

東山地方再び不穩
皇軍の出動切望さる

【鐵嶺】清原、金川兩縣下を席捲し益々その勢力を增大したる大刀會匪は最近海龍線に於て一千の于芷山軍の武裝を解除し討伐滿洲軍は襲撃されさなつて北山城子に引揚げるなど賊勢は破竹の如く、最近は海支線たる梅西線方面に進出し遂に西安大疙瘩居住邦人の引揚げさなり大肚川邦人婦女子も二十五日朝奉天に避難し、男子も引揚げ準備を整へるなど東山地方は再び事變直後と同樣の大混亂に陷つてゐるが、これに對抗せんとする滿洲官憲の力は誠に薄く各地公安隊の素質不良の上に給與不渡が因をなして內部に不平多く且銃器

第二、第三の市場を開設
奉天の食料品需要激增で差當りバラック建で開業

【奉天】奉天人口の增加に伴ひ食料品の需要は益々多くなるばかりで從つて小賣相場の變動もまた高調に達してゐるが、滿洲市場會社で目下十間房の新許可地に第三市場豫定地を計畫すると共に第二市場豫定地(競馬場附近)に明年度より市場を開設し南方市街の小賣市場新設を計つてゐるが取敢ず暫定的市場として稻葉町三番地にバラック建の市場を新設し開設をなす筈である尙同市場は明年度より第二市場豫定地に移轉するさ

群る敵兵めがけ肉彈また肉彈
崇山屯で名譽の戰死をした大川中尉と二上等兵

【長春】輝かしい滿洲國獨立の陰には幾多悲壯な血と淚の鬪爭史が綴られてゐる、これもまた去る二十四日の朝崇山屯の激戰に名譽の戰死を遂げた德島縣海部郡宍喰町步兵中尉大川高喜(二九)愛知縣岡崎市上六名町木之座二二豫備上等兵草野敏治(二四)宮城縣栗原郡尾松村稻屋敷字中屋敷豫備上等兵阿部龍市(二二)の三氏を繞る壯烈極まる悲壯な戰闘物語りである、廿七日歸長した滿洲國軍事敎官芳賀豐次郎氏は戰友大川中尉の人となりを激賞しつゝ左の如く語つた――

大川中尉の率ゆる吉林

鐵道守備騎兵隊は本年一月以來各地の戰線を經て本月廿二日ハルピン近くに接近して來たその頃馬占海、宮長海の聯合隊は日本軍のため驅逐され南方に遁却しつゝあつた、この情勢を知つた大迫中佐は敵軍は楡樹方面に移動するものとの豫想から誘て大川部隊の後銳な知る中佐は直にその後方を衝くべく命令を下した、この命により大川部隊は二十二日楡樹を出發、その北方四阿城青山砲に向つて出動した、その途中二十三日午前十時に崇山屯附近でバッタリ馮、宮、趙の聯合軍約四萬の大兵に衝突したのである、この大軍に對し味方は僅か三四百名の手勢しかし奮戰の結果、辛うじて之を喰ひ止めその夜はその附近に假宿した、ところが夜二時頃になつてさしもの猛軍な敵軍も多勢に無勢、遂に前線は全くけた、これが爲め約五六百名の

敵の重圍

にかこまれ未明にはほとんど目前に敵兵が迫り盛に砲火をあびせかけた、この猛襲への應戰は朝の二時ごろから四時半まで約二時間半を續け味方は傷き斃れ遂に百名の戰死者をだした、今まで大川中尉の人物に敬服し、この人とならば死をも辭さぬと誓つた滿洲兵も餘りの危險におそれを爲し次第々々に姿を消し最後に殘つたのは僅くなかれ阿部、草野の兩上等兵と大川中尉の三名きりとなつた、三人は殘つた力限り根限り崇壘の上によぢ登つて機關銃を盛んに敵兵に向つてあびせかけた

敵兵はうち斃された、も早や殆ど立つ力もないほど斃ひ扱いた大川中尉はそれにも屈せずズタズタに破れた上衣を拔ぎすて今一度と立ち上つたところ敵の迫擊砲一彈飛び來つて大川中尉の右肩にバッと命中した、この傷手に早くも機關銃を持つ手を奪はれた大川中尉は敢然ピストル握つてよせ來る敵兵の

眞只中へ

飛び込んだ、その時そばにゐた阿部、草野の兩上等兵は後れじと砲壘から飛び降り銃先深く押し寄せた敵兵目がけて突入した、肉彈また肉彈約一時間の激戰は續いた、そしてこの激戰の杜絕えた後に大川、草野、阿部の戰友は悲しくむくろとなつてゐた

騰鰲堡の住民安穩
皇軍に感謝

【鞍山】遼陽縣騰鰲堡李公安局長及維務會長金延眞氏の兩氏は廿七日午前十時來鞍し守備隊本部、警察署等を訪問し今回の匪賊討伐につき騰鰲堡附近各部落は非常に平穩に歸し住民一同は今更の如く皇軍の有難さに感激し安心して從業に就きゐるさ感謝の意を表した

虎石臺守備隊の除隊兵

【奉天】奉天獨立守備歩兵第二大隊で春季除隊兵中除隊延期中の虎石臺守備隊は來る七月一日午後八時卅五分發奉天、撫順守備隊は同夜十時四十五分發列車で離奉何れも大連經由歸還の途につくが市民多數の見送りを希望すると

警備飛機活躍

【營口】目下蓋平東南方十邦里の地點偏嶺に約二百名より成る馬賊出現、盛んに掠奪横行中との趣き蓋平城內の警察隊が通報に接し當營口通業總局所屬警備用飛機の應援方を依賴して來たので直に一機をして爆彈を搭載し卽刻之が討伐に赴かしめた、同機は偏嶺南方二邦里沙家斗に匪賊二百餘名が潜伏

原縣に侵入せんと畫策しつゝある大刀會匪は廿三日午後十一時頃清原縣大孤家子掏鹿東南十七里附近に約二千の大集團となつて現れ其の頭門西北土口子に移動し一部は西豐縣老營廠に襲撃し來れるを以て東豐西安兩縣下の鮮農五百餘は開原縣下肥地八棵樹地方に避難し形勢頗る急を告げつゝあるを以て開原領事分館主任は二十六日來鐵して領事館に狀況を報告し開原守備隊に赴きて出兵討匪に關し懇請するところがあつたが東山地方住民は何れも戰々兢々として避難準備に忙殺されてゐるさ

……彈藥缺乏して防禦力なく何時兵匪に動擾するやも知れずとさへ言はれる狀態にあり、滿洲側首腦者は各地とも皇軍の出動一刻も早からんことを切望してゐるさ、なほ開

文官屯居住民
警察機建造獻金

【奉天】文官屯居住民一同は今回警察の飛行機獻金として金三十五圓二十錢を二十七日奉天署に屆け出た

寬甸縣の匪賊

【安東】寬甸縣小雅河方面に集中した唐玉振一派の一千餘名は鴨綠日本軍及び徐文海の軍を擊退すべく部隊配置を爲してゐたが又討伐隊愈々接近し交戰しても勝算なしの情報を得たので同地附近の偵察をも行つた

武器を要求

【營口】營口縣管內上口子に根據を有する匪賊頭目立山は第五區大房身村公所長に對し三八式銃彈三百發モーゼル拳銃三挺同彈藥三百發軍衣五十着軍帽二十箇を要求し若し之に應ぜざる時は攻擊を加ふべしとて脅迫狀を送つて來たので同村長は大に恐怖し直に其旨縣公署公安隊に屆出でた縣公安隊では警戒中である

……と見て二十三日朝來各部隊を引揚げ桓仁縣內に逃走すべく第三區牛毛溝に向つた

軍警慰勞園遊會
けふ鐵嶺公園で開く

【鐵嶺】鐵嶺全市民主催の軍人、警察官慰勞園遊會は二十九日午後五時より公園境內東側樹林において催されるが、旣に市主催者側の出席申込も二百名を越え主客合して八百名近くになる模樣あり空前の大園遊會となるやうである、尙この慰勞會に對し大矢組は金二百圓、電燈局から淸酒一樽の寄附があつた

州外野球大會優勝戰經過

【安東】(廿六日) 州外野球聯盟大會第三日撫順對奉天の優勝戰は午後四時より撫順先攻、岡崎(球)三好、杉田、保田(壘)四氏審判の下に開始、撫順軍最初より優勢にて好守好打に一、三、兩回に一點づゝを加へたが奉天を壓迫し得點を許さず遂に零敗を喫し優勝の榮冠は撫順ナインの頭上に輝いた、斯くて米澤會長より主將渡邊、副將成松兩君に榮ある優勝旗は授與されファンの拍手裡に州外野球大會は無事終了を告げた

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
奉天	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
撫順	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2

(撫順) 川 香沖孫近田室中大村槻 寺原松原野村本野山田 小梶成出俣岡梅佐西島
(奉天) 藤村賀野橋上原 ……

▲一回(撫)小寺三振、梶原一邪強襲に出で成松打者の時投手の牽制球を一壘手後逸に二進、成松三邪に倒れたが一壘よりの送球を三壘手後逸して梶原生還、出原遊飛(奉)香川左飛し沖投手右を拔く飛高打、孫も亦投手右を拔く二遊間安打、近藤遊飛に孫二壘に封殺さる
▲二回=兩軍無為
▲三回(撫)西山四球、小寺投前バント一壘高投に生き梶原も三飛にセーフとなつたが西山本壘に殺到して寸前に刺さる、成松三遊間ヒットに小寺生還、出原、俣野三振(奉)大橋右翼ヒットに出でしも村上打者の時牽制球に刺され村上三振、香川三振
▲四回(撫)二死後佐野投前を一壘手落球に生き西山の三邪は佐野を二壘に封殺す(奉)三者凡打
▲五回(撫)二死後成松遊匍失に出でしも二盜に刺さる(奉)三者凡打
▲六回(撫)出原四球に出でしも俣野三振の時二盜に刺さる、岡村中飛(奉)大橋左腰部死球に出で村上のバントに二進、香川四球に出で捕逸に二進、沖遊匍
▲七回(撫)一死後佐野遊匍ハンブルに出で西山遊飛、小寺一壘寄り絕好のヒットを放ち佐野三進せしも梶原遊匍(奉)孫右飛、近藤三遊間安打、捕逸に二進、田村三振、室賀中飛
▲八回(撫)成松初球を遊越テキサスに出で出原三振、PH高田中飛、岡村後飛(長)PH標原右飛、大橋三壘線に沿ふ軟打を壘手ハンブルに生き村上遊匍失に出で香川三振の時捕手の送球を壘手後逸に柳原三進、沖三振
▲九回(撫)梅本(中野退き柳原三壘に入る)遊匍、佐野遊飛、西山左飛(奉)孫三匍、近藤遊匍、田村一匍
試合終了五時五十五分

撫順大勝
對鞍山庭球戰

【撫順】撫順庭球部は二十六日鞍山に遠征、鞍山庭球部と公園コートで試合を行つたが、左の如く不戰二組を殘し大勝して歸つた(下は鞍山)

第一回戰
▲千野百武 四―〇 大倉木下
▲西尾梶 四―一 大谷黒澤
▲安部野崎 三―四 溝口尾中
▲成井宍戶 四―一 野口伊藤
▲炭田石井 四―〇 長野伊藤
▲濱田小田 〇―四 大谷片山
▲瀧澤矢野 一―四 森川庭村

優勝戰
▲千野百武 四―一 溝口尾中
▲炭田石井 四―二 森川庭村
▲西尾梶 一―四 大谷片山
▲成井宍戶 四―三 大谷片山
不戰
▲千野百武 ▲炭田石井

平北中等野球

【安東】平北體協主催第二回中等學校野球大會は二十五日午後四時より新義州驛前平北體協球場で開催、新中新商兩選手入場式の後新義州中學大塚主將より優勝旗の返還ありて後、佐々木體育會長の見事な始球式に依つて爭霸の幕は切られた、新中先攻、東(球)高田金(壘)三氏審判の下に開戰午後四時四十五分、兩軍とも必死にプレーを演じたが新中大塚投手の好投も空しく遂に九A對八の接戰に敗れた

奉天アマチュア庭球優勝戰

【奉天】市內春日町五番地スター運動具店主催第一回アマチュア庭球大會は廿六日藤浪町コートに於て開催されたが優勝戰で鎗永、田

渡邊上等兵の遺骨鞍山着

【鞍山】湯崗子溫泉玉泉館陸軍轉地療養所に於て匪賊の來襲を受け勇敢に戰ひ名譽の戰死を遂げた本溪湖守備隊上等兵渡邊嘉幸氏の遺骨は二十八日鞍山守備第六大隊練兵場に於て盛大なる守備隊葬を執行されるに就き上杉、坂口兩僧侶護衞の下に二十七日午後二時五十三分着急行列車にて來鞍した、驛頭には上田大隊長を始め將兵、時局委員會在鄕軍人會、青年團時局婦人會等多數出迎へた、直に自動車にて第六大隊本部貴賓室に安置され佛敎團の讀經、一般多數の燒香があつた

安東新興學校維持經營決定

【安東】安東に於ける鮮人初等學校の一たる私立新興學校は設立以來經營思はしからず廢校同樣の窮狀に陷つてゐたが、その子弟敎育本來の使命よりしてこの際これを維持する必要を感じ安東朝鮮人會長金虎賛氏は同氏發起の下に維持會を組織して之れを維持することになつた、この維持決定に伴つて今後の經營方法、同校職員の組織などにつき二十五日午後四時より市場通九丁目の同校內に理事を招集の上協議の結果、校長に金虎賛氏を推し今後に於ける維持策についても略決定を見たのでいよいよ生命ある歩みをつゞけ鮮人子弟の敎育に盡す事となつた

……上組の試合となり大上兄弟組の綺麗な球も後つゞかず亂れ遂に鎗永組優勝し榮ある優勝ラケットが授與され午後四時散會した

全滿中等學校長會議

【奉天】全滿中等學校長會議は廿八日午前八時半から長春高女校に於て開催されたが出席者は關東廳滿鐵の各中等學校長總て廿九名で左記重要事項につき協議をなす外議に中等敎育研究會で決議された事項の實行方法につき打合せをなす處あつた

一、滿洲の事情に適應したる敎育を施す方法如何
一、中等學校に於て民族協和の精神を涵養する適切なる具體的方法如何
一、滿蒙の新情勢に鑑み之に順應する敎育方針を立つる必要なきか
一、民族協和の具體的方策に關する件
一、動勞精神鼓吹方法について各校の模樣承りたし

守備隊除隊兵

【撫順】事變のため除隊延期中の撫順守備隊兵四十六名は七月一日除隊せらるゝこさゝなり、同日午後六時四十分撫順驛發列車でそれぞれ故山に歸るさ

主金拐帶店員奉天で捕はる

【奉天】廣島市鍛冶屋町相生橋通り隆麗ゴム商會店員向井龜人(二〇)は去る廿二日主家の集金二千圓を拐帶逃走し奉天に向つた形跡があるさの捜査手配により奉天署の島田刑事は市內各方面を捜査中のところ廿四日市內富士町下宿屋長門屋方に僞名して投宿してゐるのを發見し直に取押へたが彼はその金を殆ど消費し五百圓のみ殘してゐた

沿線往來

▲內田滿鐵總裁 廿七日朝長春より來奉同夜歸連
▲閻奉天市長 廿七日朝歸奉

鮮人に化けて爆撃から免かる
新濱の匪賊の妙案

【撫順】新濱縣より來撫した鮮人の語るところに依れば目下同地方の刀匪、兵匪は殆ど連日の如くわが飛行機の爆撃を受けて多大の損傷を受けてゐるが、彼等は最近飛機襲來防止の一策として卑劣なる妙案を考へてこれを實行してゐる即ち皇軍の飛機は多數の匪賊團が密集してゐる所をねらつて爆彈を投下滿洲國良民や鮮人同胞の部落に對しては嘗て爆撃したこともないので、彼等匪賊團はこの際鮮人に化くることは爆撃を免るゝ唯一の方法であるとなしプロペラの爆音が聞ゆるより早く防彈鎧ならぬ鮮人と見せかけ手や帽子を振つて所持の白布を肩からまとふて忽ち飛行機を歡迎するといふ風で、搭乘者の目を眩くことにしてゐると

奉納相撲
本年は取止め

【旅順】大日本大相撲一行東西合併一行白玉山奉納相撲に關し二十日午後一時協會代表山分（元大七戸岩岡）嘉右衛門、内藤四郎兩氏來旅、安藤要塞司令官御影池文書課長、佐藤無線電信所長、永山市長、米内山民政署長其他を訪問挨拶を述べた、本年の奉納に關しては當日旅順側世話人と協議の結果種々事情の爲め十五日東西三役行司木村庄之助を始め年寄代表來旅參拜に止め奉納相撲は本年は取行はぬことゝ決定した

安東臨時競馬

【安東】安東臨時競馬初日（廿五日）は大穴の續出にファンを熱狂せしめ三十圓配當、二十四圓配當等にいよく景氣を煽り此の日の賣上高一萬三千二百五十四圓、福券が千六百十四圓により一等一千圓の福運は安東縣四番通八の金文賢に落ちた

第二日目成績

【安東】臨時競馬第二日目（二十六日）は最初から一着三十圓と云ふ配當にファンを熱狂させたが第六レースに於て千丸（騎手洪）がスタート後三百米突頃外ワクから内ワクに入らんとした際福娘の騎手河本落馬し千丸は左足を附根より骨折して横倒れとなつたが幸ひ騎手には別條もなかつた、最後まで善戰した千丸は骨折が元で斃れにも斃れた、關係者相寄つて懇ろに葬らひ馬頭觀音の土下深く永久の眠りに入つた、當日馬券賣上高一萬八千七百九十八圓、福券が千八百十七枚で一等の千圓は新義州若竹町十三の李秉推が得た

藝妓の行路病者
發狂した年增藝妓を警察に持込んだ抱主

【撫順】發狂した年增藝妓—撫順東三條通日ノ出館小林喜代松方抱藝妓仇吉事原籍廣島市□町米太郎三女大久保ツネ(三)は本年一月初旬頃に精神に異狀を來したので抱主方では爾來醫者よ神佛祈禱よと種々手當を講じてゐるが病勢は增々進む一方で目下のところ手のつけやうもなくなつた始末に親權者たる前記實父に對し再三再四身柄引取方を交渉したが、最近實父より返信に依れば「私は車夫稼業で生活に追はれ可哀想とは思ふが身柄引取に行く旅費さへなく、又娘からは今迄金一厘も受けたこともなく親者してゐる以上身元引受人もあらうからそちらの方で勝手に措置してくれ」とあり取りつく島もない返事に樓主も萬策つき最近所轄警察署宛本人は昭和六年五月末前借千圓三ケ年契約で抱へたのに半歲もたゝぬうちこの始末になり元も子もなくすわけだが貸金は棒にするからこの際行路病人としてゞも世話して貰ひたいと嘆願して來た

安東の火事

【安東】廿六日午前一時半三番通り六丁目二番地鮮人無職孔心一方より出火二棟中全燒三戸、半燒二戸を出し午前二時鎮火したが原因はオンドルの焚き過ぎと判明、場所柄だけに一時は大變な人出を見大雜沓を極めたが損害約二千圓

四平街

神社大祓式

四平街神社々頭に於て來る三十日午後七時より大祓の儀式を執行する由

釣魚競技大會

大檢邊釣魚會にては同驛近くに新設されたる釣池の初竿入れを兼ねて四平街長春間の太公望連を案内し來る七月三日左記總向により釣魚競技大會を開催することゝなり當地にも案內狀到來せるが當日は恰も日曜日なれば參加者多數に上る見込である

鐵嶺

城內日本電信所事務取扱ひ

當城內日本電信所では從來本局同樣に時間外電報も取扱つてゐたが今回取扱ひ時間を改訂し四月一日より十月三十一日までは午前七時より午後六時まで十一月一日より三月三十一日までは午前八時より午後六時までとし來る七月一日より實施する由從つて來月一日からは夜間取扱ひを廢し且つ從事員は每朝本局より出張し夕刻歸り宿直員を置かず夜間城內の到着電報は本局より配達する事になつた

二道溝に賊團

縣下第二區二道溝に於て二十七日午前二時頃鐵嶺縣公安隊と十數名より成る賊團と交戰二時間に及びたる結果賊團は死體一個を遺棄して東方に敗走した

鐵嶺雜聞

◇滿鐵の兒童慰安巡廻映畫は二十九日日沒から小學校講堂で兒童と父兄達の爲めに公開される入場料は大人十錢、兒童五錢、上映のフキルムは實寫東京から靑森まで一卷、漫畫猫の戯れ一卷、實寫海と空二卷、喜劇彼女は男だ二卷、教訓劇美しき心四卷

◇滿鐵クラブ主催の家庭慰安童謠と舞踊と音樂の夕は鐵嶺碧尾少女會、鐵嶺音樂會後援の下に明三十日晚クラブで開催

◇二十六日開原に遠征した全鐵嶺庭球軍は滿鐵系開上本中川組は物凄いあたりを見せ敵主將組を肉薄して殆んど勝算我れにありと思はれてゐたが最後の五分間で逆轉し惜しくも敗れたと

撫順

警官宿舍增築

宿舍不足の撫順警察では豫て關東廳警務局に對し宿舍增築方禀申中のところ、最近漸く增築の段取りとなり二十七日臼井技師來撫の上候補敷地其他を實地視察し打合せを遂ぐるところがあつたが、今回新築されるのは判任官宿舍二戸巡査同二十戸其他で七八萬圓を要するが何しろ千餘坪を要することゝて適當の敷地なく折角郵便局宿舍豫定地を譲り受けんと目下折衝中であるが敷地難で弱つてゐる

慰安演劇會

炭礦庶務課では先年當地新公會堂のコケラ落しを行つた羽田歌劇團が今回三年ぶりに來滿したので七月二、三日同團を招き新公會堂に於て在滿者慰安演劇會を催すことゝしたが階下椅子席は同部豫約指定とするので至急庶務課及び蜂屋慰安部に申込まれたいと、なほ入場料は大人階下一圓階上五十錢であると

撫順見學團

南滿工專礦山分科一年生六名は地質調查及び炭礦見學のため來る七月七日來撫三日間滯在する由尙熊岳城農業實習所生十六名は一日午前八時十分來撫炭礦實習所採種田等を見學 午後六時四十分 離撫すると

田村氏急死

大連新聞撫順支局長田村竹次郎氏は二十七日午前二時四十分突如腦溢血で醫師來診の違もなく頓死した享年五十四歲實直な人物で逝去を惜まれてゐるが、葬儀は二十八日午後四時より淨土宗高野山寺で多數在撫名士參列の上嚴かに執り行はれた

海城

他山驛東方に匪賊

二十七日正午頃他山驛東側長良子山に約二百の匪賊團現れたので同驛員は小人數乍ら各自銃を採つて警戒を嚴重にし一方直に大石橋警察署と海城派出所及守備隊へ應援を求めた、よつて大石橋より原田署長以下三十名、海城より林警部補以下十二名、守備隊より六名出動し他山驛より東南に向ひ進撃せるが一時頃に至り匪賊は金山嶺保線丁場の後山へ移動せるを列車中より發見したので更に鞍山守備隊及南滿諸の警官の應援を得て之等四十餘名の軍警は分水驛より進發し金山嶺に挾撃し多大の損傷を與へた

三道溝にも匪賊

二十七日午前十一時頃海城東南二十支里三道溝に百五十名よりなる匪賊團現れ縣公安隊第六大隊七十名は附近自警團四十名と共に討伐に向ひ之と交戰し賊に輕傷三名と重傷一名の損害を與へ擊退し馬三頭と重傷一名を捕虜にして引揚げた

安東

小坂警務課長

奉天省小坂警務課長は就任後勞々初度巡視のため廿六日來安縣警察を視察して大東旅館へ一泊し廿七日朝大石橋へ向つた

靑訓生の表彰

豫て本部より調査中であつた安東靑年訓練所生の表彰はいよく此の程決定を見た旨本部よりの通達に接したので來る七月一日滿五周年の記念式場に於てそれぐ全滿表彰者の賞品授與を爲すことゝなつたが（大連靑訓にて）安東では指導員小池政吉氏、四年次松本進の兩名と決定した

OB庭球大會

全安東庭球協會主催のオールドボーイス（前後衛年齡合計七十歲以上）庭球選手權大會は二十六日午後一時よりB組個人戰に引續き山下町コートで開催、緋碧の空にガットの響きも朗かに白熱戰を演じたが結局瓦斯の木浦、松岡組が優勝した

△準決勝戰
▲田邊、山本四—三廣瀨、喜多
▲木浦、松岡四—三鈴木、國岡
△優勝戰
▲木浦、松岡四—三田邊、山本

B組庭球大會

全安東B組庭球個人選手權大會は廿六日午前八時より山下町コートに於て全安東庭球協會主催、坂井屋商店、安東運動具店後援の下に開催されたが、照りつける陽光を物ともせず各組每に鎬を削る白熱戰は展開され遂に正門、榎本組が最後の榮冠を獲得した

陳列品に蓋

傳染病流行期の到來を豫想して關係當局ではこれが豫防策並に防疫方法が種々と考慮されてゐる際、安東公設市場內の生魚販賣業者は率つてその意に贊成し從來見なかつた陳列臺の蓋を二十二日より設置して豫防に努力することゝなつた、右蓋は全部硝子張りであつて見るからに鮮魚にしろ綺麗であり長持ちがすると云ふので一般からは非常に喜ばれてゐる

遼陽

傷病兵還送

遼陽衞戍病院に收容中であつた池田計手以下十名の傷病兵は廿七日午後十時七分發大連經由內地に還送された

警備會議開催

高粱も逐日繁茂し夏季警戒を要するの時期に近寄つたので廿七日午後一時から步兵聯隊で軍部、警察、憲兵隊、在鄕軍人分會の各代表者が會合協議する處があつた

プール開き

遼陽に於ける大小河童が待ちあこがれて居るプールの修理も終つたので三十日午後四時半からプール開きを行ふと當日は平井神職の修祓に引續き飛込式があり終つて一般に公開するがプール使用希望者は社會係に申し込み所定の出入票を携帶されたしと

日滿語學研究會

遼陽城內滿洲國側有志の發起で滿洲國建國以來日滿の交涉は益々多きを加ふるの時相互に語學に熟練する事は交際取引を圓滑ならしむると云ふので城內の元圖書館跡を利用し每日午後五時から七時迄六ケ月間を一期として日滿語の研究會を開催すると會費每月大洋二元入會資格は男女と年齡に制限はないが入會に付て紹介者を要すと希望者は圖書館又は遼陽公報社に申込まれたしと

鞍山

正諷會謠曲會

鞍山謠曲觀世流正諷會第八十四回月並謠曲會は廿九日午後六時より稻本正諷社に於て開催されるが番組左の如し

加茂（高橋思竣、中野八太郎、渡邊榮作）巴（久保スエ、猪尾よし子）羽衣（吉澤以志、鶴與四郞）藤戶（三岳政太郎、永田金十郞）阿漕（大久保讓、吉澤英一）

那古屋洋行賣出

鞍山北二條町那古屋洋行では二十六日より三十日まで五日間榮種類の賣出しを催し活動寫眞無料入場券を進呈し三十日午後六時半より演藝館に於て謝恩活動寫眞會を公開し抽籤により一等より五等まで百本の景品を贈呈すると

普蘭店

鄕軍射擊會

在鄕軍人會普蘭店分會では春期總會並に射擊會を二十六日午前八時より午後四時まで普蘭店西方海岸射的場にて開催參加者百五十名の射擊を行ひたるが當日使用した銃機は奉天製のものにて熟練者が試射を行つたが嚴格の檢査を經ざる粗製品の事とて中には壞充不能不發等ありたるのみならず偏避修正の記錄等勿論なく射手も始めて使用した關係上成績の振はざりしは已むを得ざる次第であるが、當日入賞者點數左の如し

▲會員既教育者 一等三九點尾山正勝、二等三六點甲斐美壽吉、三等三四點山崎庄作、四等三三點、青木利纖、五等三二點河野熊登
▲會員未教育者 一等三一點園田道德、二等二三點河本後一、三等二二點太藤明
▲會員外 一等二四點黑木庄三郎、二等二三點宮原正志、三等二一點秋吉勳一

旅順

虎疫豫防注射

旅順警察署にては二十九日午前十時より正午迄同署武道演武場に於て希望者一般に對しコレラ豫防注射を行ふ

旅順放送

▲二十六日午後五時過ぎ吉葉町五三菓子商小泉近藏方へ年齡二十五六歲、身長五尺五六寸、色白丸顏、白地に藍色筋の背廣を着した日本人が來り「市役所の西村だが菓子を六十錢、十圓札で剩錢を持つて來て呉れ」と云ふので店員と共に同行市役所附近に來るや「小學校に居るかも知れん」と稱しその儘行方を晦ました邦人の剩錢詐欺が現はれた

▲去る五月二日新義州より木材を積み入港した同地濱町二梅田彌右衞門外水夫二名乘込んだ四九順の空船が八日旅順港歸鮮の途二十六日に至るも行方不明の爲め其筋へ搜査方を願ひ出た

▲明治町三〇東長太郞氏方では十日四女キミ子孃が出生

▲元寶町八七河島常德氏方では同日二女ノリ子孃同上

▲乃木町三ノ五四高橋昇太郞氏方では九日次女しづ子孃が出產した

▲關東廳警務局警務課主任警部泉文二氏二女淑子（八）孃の葬儀は二十六日午後一時龍心寺に於て執行在旅文武官知友の會葬者多數あり盛儀を極めた

▲巨民政署長は要務打合せの爲二十七日來旅

▲河相外事課長は問題の海關接收の件で二十四日來大連に在つて不歸

▲日下、林局長、森本警務課長出張で不在、御影地學務課長のみ堆積文書の整理に忙し

▲長春署倉田庄五郞警部は要務打合せの爲め二十七日關東廳、旅順署を訪問一泊の上歸長

市中の噂

關東軍の北滿進出、關東廳廢止又は縮小說に對し旅順市民の前途は悲觀の極に達した▲折柄一方には〇〇復活で三百名の兵隊さんが增加する、處へ又耳寄りの話しは海軍では追つて飛行場を設けるとの政途も行はれて來た▲事の濱端は別として目下支那大工の二百名募集計畫はどうやらホントウらしい、永い間ドン底生活をして來た旅順市民も浮び上る時期が到來したやうな感じがする

白米食に起因する日本人の諸疾患

日本人は米食人種であります。根本的に主食物を異にした歐米人の榮養學をそのまま直譯的に適用した處で我々の保健率を高めることにはなりません。それ故に日本人には日本人獨特の榮養學を樹立すべきだといふ説が盛んになつて、玄米食から半搗米、胚芽米といふいろ／＼な試験時代を經てまゐりましたが最近酵素學説が唱導せらるるに及んで玄米食も半搗米も胚芽米も結構であるけれども未だ／＼可なりの缺陷があり、學理的にも實際的にも充分研究の必要がある事が發見されました。日本人の體質にピツタリ合つた理想的の榮養素は何によつて求める事が出來ませうか

白米食の欠陷 白米か死米か

米は天が日本人に與へた天惠的の食物であります。一粒の玄米そのなかには千差万別の榮養素、治療上及保健上に重大關係を持つ生命力、神秘力が包藏されてをります。その大部分は胚芽と外皮の内に在る類脂肪體との中に含まれてをりまして榮養と保健と生命力の根源を成すものであります。二百年ほど前から日本人は此の重要なる成分を糠として捨てゝしまひ、何等生命力なき死物に過ぎない白米を常食とするに至りました。近代に至り日本人の體質が低下し早死するに至つたのは實にこの巧妙な天の配劑に背反したからであります

日本人はなぜ脚氣に罹るか

脚氣の原因は皆樣も御存じの通りヴイタミンBの缺乏に依るものであります。胚芽には最も多くヴイタミンBを含んでゐるから胚芽米を常食とすれば脚氣は治る、脚氣は罹らぬかと云ふとなか／＼そうではありません。何故か、學者の調査によりますと市販の胚芽米の胚芽保有率は最低百粒中に三十粒、最高八十五粒、平均六十粒に過ぎません。しかも最近

東京醫大顯微鏡學教室の發表によりますと貯藏一ケ年後の玄米のヴイタミンB含有量は新米の五分の三に減じ貯藏年數を増するに從つて其含有量は低下することが發見されましたそこで新米の胚芽でないと効力が少ないこと及び酵素の働きを亡失せるものは治療的價値少なき事が分つて來ました。

日本人にはなぜ結核病が多いか

東京市結核療養所長田澤博士は「ヴイタミンB缺乏と結核との關係」の論文に於てヴイタミンの缺乏と結核菌の活動との密接なる關係を説き白米食國に於ける結核患者の榮養療法としては先づヴイタミンBを補給すべきことを力説してをられます。新米から採つた生きた胚芽、ヴイタミン保有率の豐富な新米の胚芽、而して酵素の働きを最も有利に活用させた胚芽こそ結核體質にとつて欠くべからざる貴重な榮養素であります。

日本人にはなぜ胃腸病が多いか

胚芽の成分はヴイタミンBだけではありません。もつと重大な無數の酵素が含まれてをります。これこそ稻の發芽する力、伸びる力、穰る力を司る宇宙の大神秘力の凝集であります。そのうち現在發見されてゐるものは澱粉を消化するアミラーゼ即ちヂアスターゼ、脂肪を分解するリパーゼ及びエステラーゼ、蛋白を分解するプロテアーゼ。尿素を分解し疲勞を恢復するウレアーゼ等でありまして其他既知未知のもの無數を含むと稱されてをります。即ち天は食物と共に消化劑まで同時に與へてゐるのであります。白米のみを食べることは消化劑なくして食物を攝取すると同じ道理で消化器内に於て化學的變化を起す力に乏しく、胃腸は其の重荷に堪へ兼ねて其の機能の衰弱を來すのであります。

日本人は何故に早老早死するか

元來酵素は云はゞ一種の生物でありまして熱に會つたり、貯藏法が惡ければ直ぐに分解變質して其の作用を失ふものであります。玄米食、半搗米、胚芽米が欠陷の多いと云ふのは高熱で煮炊するため酵素の働きを殺してしまうからであります。胚芽は生きた新米の胚芽、酵素の働きを活用させた胚芽を生で食べることによつてのみ玄米の有する有効成分を殘らず攝取することが出來、初めて日本人の體質とピツタリ合つた理想的の榮養並に治療的價値が充實するのであります。

凡て人類は自然の法則に從つた生活をしてゐれば細胞は常に全能力を發揮し新陳代謝は旺盛に體内の諸機關も順調なる活動をつゞけ眞の健康を享受し天與の壽命を完することが出來るのであります。白米食の如き自然に背いた食物を取ることに依つて樣々の病氣を招き早死早老の悲運の道を辿るのであります。而も飾粹の胚芽は榮養の範圍を越えて驚嘆すべき治病力を有するもので一般脚氣、妊產婦血脚氣及び產前惡阻、乳兒脚氣、慢性胃腸、食慾減退、消化不良、惡醉、二日醉、常習便秘、利尿、腎臟等に偉効を奏し、更に精力減退、神經衰弱、榮養不良（特に結核體質其の他虚弱兒童、腺病質小兒）等に對し凡ゆる榮養劑、科學藥劑の著効なき難症をも速かに恢復に導き消化機能―胃腸を强壯にし、新陳代謝を旺盛ならしめ治癒に導くは、各實驗例の證する所である。

理想を實現せる文研の胚芽出づ

文研の胚芽は以上の生化學の學説と實際とに基き、從來の胚芽を細菌學の泰斗醫學博士山田壽一先生の創案を樞軸とし、榮養學の權威服部彌二郎先生を製劑顧問とし、改良に改良を加へて苦心研究し、今や理想を實現し天下に推薦して憚るところなき純正の胚芽劑「文研の胚芽」を創製するに至りました。比類なき特長としては、悉く生活力旺盛なる新米の胚芽より摘出せるものなること胚芽の有する無數の酵素をして、特殊の生化學的操作により其の活力を發芽直前の狀態まで昂進せしめ更に其の生命力に永遠性を賦與した點であります。

文研の胚芽を創案するまで

醫學博士 山田壽一

「文研の胚芽」は余が白米を常食とする日本人の榮養缺陷を救匡し、民族の保健、體質の向上に資せんがため文化榮養研究會より從來の胚芽劑の改良を託せられ、營々研究の結果玆に初めて創案せられたるものなり。

從來白米食の缺陷を補はんとする目的のためには或は麥飯奬勵時代あり、小豆粥時代あり、パン食時代あり、玄米食常用奬勵時代あり、半搗米奬勵時代あり、胚芽袋奬勵者あり、胚芽米奬勵者等あれども榮養するに此等は酵素の活用を俟つて初めて凡てが充實せるものと評すべく、又世に胚芽と稱して市販せるものありと雖も有効成分の大部を失へるもの少からず、或は胚芽のみを離脱し粉末として市販に附するに際し、腐敗を防がんとして極度の高熱を與へ爲めに最も重要なる酵素を墮實流失せるものならんか。

余が改良創案せる文研の胚芽は從來の缺陷を除去し得たるものと確信す。即ち「文研の胚芽」は悉く生活力旺盛なる新米を原料として其の胚芽を摘出せるものなり。而して余が獨創になる生化學的操作を以つて其の貴重成分たるフエルメント（酵素）の機能を嘸せざる樣其の生活力を極限まで上昇せしめ、更にこれに永遠の生命を賦與したるものなり。余は「文研の胚芽」に於て玄米の有する有効成分を完全に包含せしめ得たりと信ず。「文研の胚芽」の普及により白米食に原因する各種疾病の根絶を期するを得ば余の本懐とする處なり

製劑顧問として

醫學博士 服部彌二郎

「文研の胚芽」は余が製劑顧問たる立場より仔細に之を檢するに、胚芽特有の成分たるヴイタミンBを主とし、蛋白質、脂肪含水炭素、無機質、有機鹽及びアミラーゼ、プロテアーゼ、リパーゼ、エステラーゼ、ウレアーゼ等既知未知無數のフエルメント（酵素）を含有す其の製劑工程中、フエルメント（酵素）の取扱は最も至難なるものに屬し微妙なる作用を永遠に生けるが儘に封じ込む操作は、眞に銘酒を釀造すると同樣なる苦心を要すと稱せらるゝ爲め、現今市販に供さるゝ胚芽劑の類が多く酵素について顧みる處なきに反して、同會が敢然該難事業に當りあらゆる辛苦と犧牲を拂ひ、遂に完璧に近き該製品の製出に成功し得たるは余の竊に欣快とする所にして、眞に國家的優良品たるに恥ぢざるものと信ず。

白米食の缺陷を補ふもの

富士見高原療養所 醫學博士 正木不如丘

主として脚氣を問題として半搗米や胚芽米等の一般的採用に就て學者達が夫れぞれ自分の説を主張してゐる。今日の研究は其の中心は胚芽そのものにある然し目で見える胚芽だけを問題にしては實はいけないのであつて、胚芽そのものが生きて居てヴイタミシBは勿論その他の榮養分を完全に含むで居るのが必要條件なのだ。貯藏法が拙かつたり、餘りに古い籾は之れを蒔いても芽を吹かない。からゆう籾にも胚芽はついて居るが、實は死んだ胚芽でしかない。近來「文研の胚芽」と稱して市販せるものがあるが、これは我が意を得てゐる。胚芽の生きる力である酵素に重きをおいて、初めて製劑せられたと云ふから、恐らく生きた胚芽であらう。若しそうなら脚氣の豫防治療は勿論、結核に對する自然免疫を增大する意味でも白米常用者には恰好な榮養劑と云ひ得るであらう。

會心の驚異的効果

醫學博士 津金巨摩雄

最近榮養學の進步に伴ひ、種々なる榮養素續出し、殊にヴイタミン類に關するもの、酵母の作用を主眼とする等續出するあるは斯界の一大進步たるを疑はず、然れども之れを個々に亘り究する時は、何れも一長一短の嫌あるを免れず、例をヴイタミン劑、酵素劑について見るに、元來此の兩者中には或程度の高熱に耐え得るものもあるも、熱によつて容易に破壞缺乏せらるるもの多きに拘らず、その製劑工程中熱との關係を顧慮せずして製劑せられたるものあるが如き最も遺憾とする處なり。

然るに最近山田壽一博士によつて苦心創案せられたる「文研の胚芽」の出現を見たるは余の欣快とする處にして、余は之を腺病質小兒、虚弱者、病後の恢復、乳兒脚氣（これは母體に服用せしむ）等に試みるに何れも豫想以上の驚異的効果を收め、嘗て得ざりし會心の治療的經過を齎らし得たるは余が感賞するに止まらず、我が刀圭界のため慶賀すべき朶韻と信ず。今其の効果を實驗の經過に依りて探究考察するに、本劑に用ひたる胚芽は新鮮にして充分なる發芽力を有するものの如く、生物の生存、生長に不可缺なる各種の胚芽酵素及び活力の素たるヴイタミンB以下各種要素を破壞亡失することなく自然の姿に於て摘出し得たるが如く其の綜合的作用の齎らしたる必然的成果に歸すべきものと思惟す。

婦人科の立場から

醫學博士 木川浩逸

吾々產婦人科醫は妊婦及產婦の脚氣に常にヴイタミンB劑の投與を行つてゐるが、近時半搗米又は胚芽米を食用して豫防及治療を行ふことが流行してゐる。然しながら半搗米及胚芽米に就いては消化し難き不與な纖維が附着し又完全に腸管壁から吸收せられないために學界に於て種々論議されてゐる。偶々此等の缺點を除去した純粹の胚芽の摘出に成功して「文研の胚芽」として販賣さるるに至つた。私は妊、產、褥婦の脚氣又は浮腫患者に本劑を試用して効果を得た。殊に惡阻患者に對してはヴイタミンB劑中「文研の胚芽」の使用が最もよいと思ふ。「文研の胚芽」は單にヴイタミンB及びACDEのみでなく從來同種劑が全然沒却し去つた酵素を活用してゐるので一層有効である。私は脚氣に罹り易い妊婦、褥婦には豫防法として、及び產後の榮養劑として常用を勸める。

文研の胚芽を體驗して

便通が整つた 頭が常に爽かである

大阪商船會社東京支店長 渥美育郎

どつちかと云へば、通常從來榮養劑其他藥劑類は全然無視して居る程僕は健康である。所が始めて榮養劑文研の胚芽をすゝめられて厭々用ゐてから、其驚くべき眞價を知つて今日は一日も無くてならぬものとなつた。

元來僕の健康狀態は不健康の健康であつた。何故ならば第一坐食である。步るくと云へば事務所内と自宅座敷内で他は殆ど車である第二は應接が主の仕事である。從つて筋肉を働かせることが殆ど無い。第三は米食人であり乍ら米食榮食をしない。これは毎日なく晝と夜となく宴會に引き出されて洋食する或は和食しても料理屋の料理には自然食が殆ど無い。

以上に依つて僕の不健康である健康の理由が成立すると思ふ。此不健康な僕の日常を知つて居た横濱在勤時代からの知友内田君が、是非用ゐよと云つて文研の胚芽をすゝめてくれた。成程これは米食榮食の少ない僕にはうつてつけの榮養劑であらう。然し常に多忙の僕が毎日缺かさず用ゐると云ふのは中々至難であるに違ひないが、健康を願る秋、それくらゐの犧牲は小さなものであらう。で僕は事務所に於て氣の附いた時始終文研の胚芽を用ゐる樣にした。用ゐてから成程驚いた。實にお腹が空く從つていくらでもお美味く物が食べられる。便通が整つた。頭が常に爽かである。

以上の事實を經驗して、早速家内にも文研の胚芽を用ゐさせたところ便通が整つて、近頃親氣分の優れた日常を送ることは十五年來嘗つてなかつたと大喜び、内田君に會ふ度毎に謝意を表して文研の胚芽の効能を讃えてゐる次第である。

醫者が見離した 半身不隨から救はれて

非凡閣社長 加藤雄策

一昨年十二月五日、母が腦溢血で倒れてから足掛三年、半身不隨ながら一應の元氣と生氣を保ち得てゐるのは、全然胚芽のお蔭と僕は信じてゐる、母が倒れた當座は完全に意識不明に陷り、二週間以上醫師もつききりで、あらゆる手段をつくして、而も死線を彷徨してゐた譯だが、奇蹟的に二十日目頃から意識を復活し苦痛を訴へる樣になり同時に幾分の流動物が嘔吐なしに喉を通る樣になつたが、苦痛を訴へる毎に早く死に度いと連發されるのに近親者もほと／＼閉口した。こんな日が一ケ月も續いて或る日僕は擽て惡意に願ふてゐる、文化榮養研究會の河原氏を訪ねた折、偶々河原氏より米胚芽が腦溢血に非常なる卓效あるを聞き「それでは早速母に飲んで貰ふ」といふ事になり即日「文研の胚芽」一罐を携へて歸りました。

意識恢復以來、母が一番苦しんでゐたのは此の種の病人につきものゝ便秘であつた。頭痛と便秘、便秘と頭痛、常人でさへ此の相對性には時折惱まされる。母は全然それだつた母の昔氣性は機械的に便秘の漸策を施される事を極度に嫌つた。そんな譯で母が大便を催の耳癒ほどでもしやうものなら一家を擧げてよろこんだものだ。ところが胚芽を用ひ始めて二日目の夕方だつた。丁度總領の姉が看病當直だつた折、他の兄弟近親者十人許りが別室で雜談して居たところ、不斷大聲一つあげぬ姉が耳をつんざく許りの聲で「此を見な」と叫んだので一同驚天して病室に飛込んだものだ。それは説明するまでもなく旱魃に雨を求める農民の如く一同が期待してゐた便通であつた此の頃の母はすつかり頭痛と便秘を忘れて杖にすがつて多少とも步行も出來、まだきかぬ左手をふり乍ら「此の分なら間もなく孫の子守位は出來やう」など言ひ乍ら生命禮讚を始めてゐる。

虚弱兒童に與へて 驚ろくべき好成績

教育家著述家 椎名龍德

私の學校では兒童衛生といふ事に就ては特に意を用ひてゐる事は御存じの通りであります。

今まで實行してまゐりました健康增進法のうち、特に目立つて優れた成績を擧げ、私共をはじめ父兄の方々まで驚嘆させたのは文化榮養研究會の「文研の胚芽」であります。私の學校では每日兒童に晝食後二匙づゝ與へることに致しておりますが其成績は何と驚くべし、今まで顏色の惡かつた子供や腺病質で瘠せてゐた子供がメキメキと見違へるばかり丈夫になつてきたことです。學校で驚いたばかりでなく、親御さん達も大した喜びです。「文研の胚芽」は腺病質の小兒虚弱兒童にとつて全く救ひ神と申しても過言ではないと信じます。聞く所によれば文化榮養研究會は單に營利的許りでなく、白米食の害を一掃して全國民の健康と榮養の向上のため設立せられたもの〻由でありますが、目のあたり「文研の胚芽」の素晴らしい効き目を見るにつけ廣く社會のため御成功を祈つてやみません。

重症な脚氣を全治した喜び

前やまと新聞社理事 中塚晃南

私は永年慢性脚氣のため苦しめられたこと一方ならず、且つは其青年時代に於て此脚氣病のため蒙りたる損害は甚大であつたら或は研究を中途にして放棄するの止むなきに至り、或は將來のための絕好のチャンスと知りつゝ之を見逃すの無念を味つた。正に私を苦しめたものは事業の失敗に非ず經濟界の變動に非ず且又自己の不明に非ずして此の脚氣の患ひそのものであつた。

妻の血脚氣を治し 乳兒の綠便快癒

婦人雜誌記者 山戸宣男

私の家内が昨年十一月長男を產した時です。赤ん坊は兩眼瞼がひどく腫れてゐました。產婆は直ぐ治るでせう、と稍多量の硝酸銀液を注入し簡單な手當で歸りました。すると四日目は大人の親指大に腫れ上り、而も夥しい出血があり、診斷の結果が或は失明するやも知れぬとあつて失神せんばかりに打ち驚きました。

身も世もあらぬ思いで、日夜看護につとめて居るうちに、今度は家内が血脚氣にかゝつてゐることがわかつたのです。どうも赤ん坊の便が惡るいから一度内科の先生に診て貰ふようにとの、眼科の先生の注意があつて、早速かゝりつけの石田醫師に診察を乞ふたところが、今いふ通りの血脚氣だつたのです。

家内の脚氣は幸ひ極く輕いから今手當をすれば直ぐ治る、それには醫者の藥よりも文研の胚芽が一番よい。私の方で別に藥は差上げませんから、今日にもそれを服用なさい。と懇切なお言葉だつたさうです。

文研の胚芽と云へば、社の代理部の推奬品ですが、實は同じ社内でも代理部勤務でないので、文研の胚芽は斯く醫者が奬める程いゝものとは知りませんでした。早速社の代理部から文研の胚芽小罐一個買ひ求めまして、服用させました。大匙服みよいと云つて四匙づゝ三回服むと、其晩から快い便通があり、またお乳の出が頗るよくなつたといふので、私も妻も先づ驚きました。

それよりも尚一層おどろいたことには、翌朝赤ん坊の便を見ますと、今までの綠便が素晴しい良便となつてゐるのではありませんか。こんなにも早く効いて來ようとはまるで夢の樣です。此で母子共に救はれたやうな思ひがした。

それからと云ふもの、文研の胚芽服用一回每に家内の體力がめき／＼回復し、また赤ん坊も眼に見えて太り、ぐん／＼發育を見せ、失明を豫想された程の眼病も、自然治癒力の增加と共に、全治を早め、一擧にしてすべてが順調に好結果を得まして、感激に堪へず、發賣元文化榮養研究會に衷心感謝の意を表すると共に斯る靈劑の益々普及增大を希望する次第であります。

文研の胚芽の卓効を讃へる

帝國興信所日本魂社 岡本四郎

浦和高校二年の長男が急性肺炎を病み四十一度の高熱が一週間續き既う二三日續けば危なかつたと云ふ際どい所で幸ひ救はれましたが、餘後がはか／＼しくなく、丁度廣告に依りて文研の胚芽を知り嘗つて其の効果を多少認めた經驗を想ひ、況や生きた純粹の胚芽であれば米食人の體質機能に最も大なる効果があらうと早速購つて服用させました。蒼白なる病後の皮膚が直ちに光澤を現し、めきめき體量が增し、實に僅かの日子で病氣前の體量を遙かに凌駕しました。斯る驚異的な効果を目前にして私も用ゐ、又四年前腎盂炎を患ひ、次いで胃腸炎を病み六十日間醫療を受けたるも根治せず、僅かの坂道にも、掃除に力を使つても、浮腫し過ぎてもその日のうちに浮腫を來し、熱を出す。

食慾不振に陷る等實に弱り切つて居た妻が、文研の胚芽を用ゐるや實に速に根治し、全く再發せず、四年來の苦しみは完全に一掃されました。中學五年の次男が進級試驗前極度の勉强の結果、眩暈で倒れて以來、運動過勞の時或は空腹時に極端に眩暈がして二日位寢るのでしたが、無理に文研の胚芽を用ひさせてより、その服み易きに驚き、今度は進んで缺さず連用し遂に眩暈が襲はなくなつたばかりでなく、以前にも增して體量が殖え、如何なる勉强にも服用前の樣な疲勞を覺えず、一同驚喜して文研の胚芽の卓効を讃えてゐます。

昨今の私は實に繁忙劇務した仕事に携つてゐますが、便秘を知らず疲勞を知らず、體に若々しい彈力を持つ樣になりました。かゝる靈藥の普及こそ富國の基と信じ玆に感謝の一言を記する次第であります。

慢性胃腸病が治る

日本生命保險會社員 飯沼輝雄

私は生れつき胃腸が大變惡く一寸食ひ過ぎても直ぐ吐して終ふと云ふ調子で、體はいつも痩せ衰へ下痢をしたり便秘をしたりして十日も廿日も治りません。殊に食物に好き嫌ひが多く油の强いものは絕對に口に這入らないと云ふ有樣で私の慢性胃腸病は生涯治らないものではないかと思はれました。然し學校を出て愈々社會に働く樣になつてみればこんな風では使つてくれる所もないでせうし、遂に京橋の南胃腸病院に診て貰ふ事にし、約二ケ月を藥と注射に通しましたが一向効が見えませんでした。

が、或る時それには「文研の胚芽」がよいから是非試みよと屆けてくれた人がありましたので、大した期待はかけず服んでみましたが驚いた事には三四日位で便の通じが非常によくなりました。一週間も續けてゐるうち、腹が減る樣になり、體全體が生き／＼し、氣分まで爽快になり、一ケ月後には、今迄嫌であつたものが美味しく食べられる樣になり、三ケ月後には如何なる激務にも携り得る樣になりました今では社の外交で二ケ月に一足の新しい靴を履き切る位活動を續けてゐます。

病後の衰弱快癒

松竹俳優 花柳章太郎

昨年春私は帝劇出演中突如熱を發し、强い頭痛と眩暈に襲はれて終に倒れた。俄のことで樂屋中は大騷ぎ、急遽醫師の往診に依つて到底二三日で恢復不能と斷定された。入院當初の熱は三十九度、二日目より四十度五分に達し、意識全く不明、生死の境を彷徨すること一週間、其間腸チブスと判定された。一週間後に意識稍回復するや今度は口中灼きつく樣に乾き、節々痛み、頭痛强く、不眠續く等、生き乍ら地獄の責苦であつた。斯る重態も幸ひ諸先生の御苦心と努力に依つて曙光を得玆に一命を拾ひ得たのである。回復に向ふにつれて漸々と食慾が起つた。が該病の保後は思ふに委せて食べると忽ちぶり返へすと聞いて、食物の選擇、食量制限等の必要から入院期間の延長を願つた。

斯くして退院は夏の暑い盛りであつた。歸宅後も專ら養生に盡して居た際友人が文研の胚芽を數へて吳れた。色々友人の説明を聽いて成程偉大な効果があるものだと云ふことが解つて、直ちに文研の胚芽小罐一個購めて、中味を見ると如何にも上等として服み易さうであつたが、友人の云ふ樣に迅速偉大な効果があるものかどうかと疑はれて來たので服用を見合せて居た。すると友人より電話で、服用の結果どうかと問ひ合せがあつて、文研の胚芽だけは世間のありふれた不信用の製劑と全く違ふよ、是非速かに試めされよ、と念に念を押された。熱心な友人のすゝめに終に三匙程試した。成程服み易い。而も僅か三匙で十數分後は非常にお腹が空いて來た。玆で始めて友人の言葉も信ずることが出來翌日からは三匙づゝ每食後に用ゐるや、驚いた事には利尿が旺盛となつたことである。文研の胚芽服用前は、熱病を患つた所爲か一日の利尿が極僅少で從つて體は常に浮腫を起こして困つたのが、どん／＼利尿がつき、浮腫は去り、血色は見違へる迄によくなり、めき／＼體量增加し、短日で完全な健康體に立ち返つた。病んで半年、休場後初出演の十月又開演となるや不安に驅られて居た體量は以前にも增して一層調子がよく、且父卿の援勞も知らずに勤め得た事は實に文研の胚芽の賜ものと信じ、衷心感謝に堪えず、一文以て玆に謝意を表す者である

營口のコレラ患者　眞性と決定す
なほ續發し嚴重警戒

夕刊所報の營口に發生した疑似コレラ患者二名はその後檢鏡の結果眞性と決定した旨二十八日午後四時滿鐵衞生課に入電があつた、また他の罹病者も疑似性として警戒中で續發しつゝある

赤十字社の新施設
各方面の要望を容れて活躍

日本赤十字社滿洲本部では野村主事着任以來萬事積極的活動に出でつゝあるが最近關東廳關係の官衙學校方面より經營關係上要望し來れる保健衞生施設に關し左記各項實施に決定した

一、普蘭店民政署長よりの要求に係る同地小學生のためのプール新設
二、大連の各小學校虚弱兒童のため大連赤十字病院に於けるレントゲンの實費治療及施療
三、柳樹屯小學校海濱聚落場に於ける衞生救急機關の施設
四、貔子窩民政署よりの要求に係る管内日支人の巡回施療（七月一日より三週間）
五、長春警察署の要求による管内各地警察派出所に對する救急箱の設置
右の外滿洲政府警務司よりの要請による國境警備隊及遊動警備隊に救急箱を配備した

内田總裁の官民招待宴
奉天ヤマトホテルにて

内田滿鐵總裁の奉天における官民招待會は二十七日午後七時よりヤマトホテルで開催された
軍部側から橋本參謀長、板垣高級參謀、佐野主計總監、滿洲國側から臧奉天省長代理、閻奉天市長其の他各機關團體代表、主人側は山西、十河兩理事、宇佐美所長、岸本秘書、古川鐵道課長等主客合せて百十二名出席
デザートコースに入るや内田總裁は溫和なる面持ちで左の挨拶をした
今回急遽歸任致しまして再び上京することになつて居りますが都合によつては再び滿鐵總裁として皆樣にお目に掛れることが出來兼ねるかと存じますので、旁々平素滿鐵に賜りましたる皆樣の御厚誼に對しまして粗宴を設けましたところ、御多忙中多數御出席下さいましたことは誠に光榮と存じます、顧れば昨年七月着任して未だ一年たらず辭してお別れするの已むなき機運に逍られましたことは誠に情別に堪へぬものがありますがしかし昨年九月十八日の事變突發以來幸にして私共社員の殆んど獻身的な國家に對する御奉公によつて總裁たる私の大過なきを得ましたのは社員の努力もさることながら一つに皆樣の御援助の賜と深く〳〵感謝致します次第であります、本年三月には滿洲國が建國を告げ三千萬の民衆が多年の東北虐政を免れ得たその喜びは直ちに王道全人類の喜びでありますので今後は東亞百年の大計に向つてお互に邁進致したいと存じます、今夜この席に御賁臨を得ました滿洲國の方々からは特に御同國の方々に私のこの心持ちを何卒よろしくお傳へを願ひたいと存じます
これに對し佐野主計總監の答辭あり九時閉宴した、なほ内田總裁は同夜十時四十五分發列車で大連へ歸任した【奉天電話】

内田伯招待午餐會
市長、會頭發起　卅日ホテルにて

内田滿鐵總裁は近く歸連やがて離滿するので竹内大連民政署長、小川市長、村井商工會議所會頭、張大連、關小崗子兩公議會長、許西部大連商民公議會長發起のもとに來る三十日正午ヤマトホテルに於て午餐會を開催する事になつたが會費は二圓、出席希望者は二十九日まで市役所總務課に申出で會券と引換へて貰ひたいと

滿洲神社は北大營跡に建立
總工事費五十萬圓は全滿から淨財を募る

滿洲事變犧牲者の英靈を永遠に鎭座するため建立を計畫されてゐる滿洲神社は總工費五十萬圓を以て東京靖國神社に象り北大營の元の兵舍を取除き神殿、社務所、記念品陳列館を建造し城内より參詣自動車道路を新設するが工費は全滿に淨財を募り滿洲の聖域を造ることゝなつた【奉天電話】

少女使節　永井拓相に招かる
記念の土産物

【東京二十七日發】永井拓相は廿七日午後四時官邸に滿洲國少女使節六名を招待してお茶の會を開いた、拓相は日滿親善關係について優しく抱負を說き少女達と歡談を交したが拓相は記念の土產として華麗樣優しき錦地ハンドバツクを手づから分ち與へ少女達は午後五時引揚げた

新家賃制を公布する
奉天市長が生活苦緩和

奉天市長は中產階級以下の生活苦緩和を目的とし省城内外の月額家賃を左記の如く六等に分ちこれを犯す家主を嚴罰にすることを公布した
一等七元以下、二等五元五角以下、三等四元以下、四等二元五角以下、五等二元以下、六等一元五角以下
右は新賃貸契約者に適用するもので舊契約者には適用しない【奉天電話】

◇浮き袋◇

何が彼女をさうさせるか――花やかしくつゝましい彼女を誘き出して甄戀な海濱の人魚たらしめるものは灼熱の暑氣であるとさもに「浮袋」であらればならぬ、水泳姿の上昇に正比例して日覺ましく賣れゆくブイには彼女たちの尖端的な流行心理を織込んで新滿洲國の國旗を取入れたもの、さまざまな家禽、動物を形象したものなど一樣に「目新らしさ」をねらつた苦心の跡がデザインの上に明瞭に現れてゐる、國產全盛で一圓五十錢から三圓位まで、たまにアメリカものも見受けるがないといふ程度＝きのふ三越にて寫す

夫を捨てた支那美人
水上署で保護

灼熱の戀に燃える年增支那美人が情夫の後を追ひ續けて二十八日午前入港の長沙丸にて來連した、女は原籍山東省萊州府卽墨縣、現在芝罘住宅西南河涯に住む張孝氏（三）で永年連れ添つた夫張子明には昨年秋死別後同地内杜元學（三）に再嫁したが杜の收入では生活を充す事が出來ぬ處より張孝氏は女の身で働きつゝ家計を助けてゐたが間もなく宋顯山（三）と云ふ眉目秀麗な青年と知り合ひ親しむ中年增女の情は燃えて灼熱の戀と變り宋顯山は餘りの亂痴氣に漸く底恐ろしさを感じ本月始め大連へ逃れて來たので張孝氏は夫を捨てこれまた絕世の美人である姪張有蘭（二）を伴ひ芝罘を脫出し情人の後を追つて長沙丸にて來連したものであるが大連水上署では芝罘の夫杜元學の保護通牒により上陸間もなく兩女を保護檢束した

麻繩で縛り拳銃で射殺

二十八日午前二時十五分奉天淀町十二番地渡邊傳吉方ボーイ任昌之（二七）が熟睡中二名の怪滿洲人侵入し同人を麻繩にて縛し拳銃を横腹に押しつけて發射盲貫銃創を負はせ逃走した、被害者は直に滿鐵醫院に擔ぎ込み手當したが遂に絕命した、原因は同人は六百餘圓を友人より借金し居りその他貸借上の怨恨より右友人から狙はれたものとみらる目下犯人嚴探中【奉天電話】

上海から潛行した露人スパイを檢擧
水上署の警戒網に飛び込んで憲兵隊に引渡さる

滿洲國の健全な發達を阻止すべく蔣介石一派は北滿攪亂の徹底を期して全滿一帶にスパイ網を設け計畫的にその實效を擧げんとし露支日語に通ずる鮮、支、露人を使用してこれを滿洲に潛行せしめんとしてゐるが、逸早く右情報を摑んだ大連水上署では爾來警戒の網を擴げ虱つぶしに入滿露支人を取調べてゐる、廿八日午後上海より入港の大連丸でこの待設けた警戒網に自ら飛び込んだ二人の蔣介石直屬のロシヤ人スパイがある
同人等はかれて當地水上署がその搜査の目的人物として居たもので元白系露人陸軍大佐ククリン（二八）四三）並にその部下ドイダリンの兩名で有無を云はせず本署に連行取調べたが兩者何れも露日支語をよくし蔣介石より北滿攪亂の密命を受け義勇軍反滿洲國軍と連絡を執らんとしたもので既に蔣介石よりは約二十萬元運動資金として出資されて居る
兩名は滿洲への上陸第一歩で水上署高等係員にマンマと功名を攫はせたが觀念したか横着に構へてゐた、一方右情報を知つた當地憲兵隊では〇〇方面との連絡もあり一應兩名の身柄を引取る事となり慌しく憲兵軍曹が憲兵分隊に護送した

臨時競馬
――第三日――

廿七日の星ケ浦競馬第三日目午後は月曜日のため觀衆幾分減じたが各レース共單勝式に大穴續出して觀衆は熱狂し何れも緊張したレースであつた、當日の馬券賣揚高は四萬三千七百五十圓で午後よりの成績は左の通り

▲第五競馬（繋駕六頭）三千二百米第一着大福（李騎手）七分四十八秒一、第二着萬歲、第三着濃花配當（單）七圓（複）一着五圓八十錢、二着七圓八十錢
▲第六競馬（春抽五頭）二千米第一着龍馬（福島騎手）二分五十四秒三、第二着松風（一馬身）、第三着浄雅（四馬身）配當（單）五十圓九圓二十錢、一着五圓六十錢（複）一着賞馬全部へ一圓六十錢（複）一着
▲第七競馬（各抽四頭）千八百米第一着麒麟（山下騎手）二分廿三秒四、第二着千代（大差）、第三着五佑（四馬身）配當（單）十三圓九十錢
▲第八競馬（春抽六頭）千六百米第一着司（山下騎手）二分十一秒一第二着高陽（半馬身）第三着當陸（九馬身）配當（單）四十三圓三十錢（複）一着九圓、二着七圓十錢
▲第九競馬（各抽五頭）二千米第一着寶（内田騎手）二分四十一秒一第二着大鳥（四馬身）第三着光陽（五馬身）配當（單）廿二圓六十錢（複）一着七圓二十錢、二着五圓四十錢
▲第十競馬（春抽十頭）千六百米第一着流星（堤騎手）二分十四秒四第二着初駒、第三着雛、配當（單）五十圓（複）一着九圓、二着六圓、三着五圓九十錢
▲第十一競馬（各抽十一頭）千六百米第一着北州（堤騎手）二分八秒二、第二着多志夜（四）第三着若葉（三馬身）配當（單）九圓三十錢（複）一着六圓三十錢、二着七圓七十錢、三着十四圓七十錢
▲第十二競馬（各抽九頭）千六百米第一着榮（福島騎手）二分十三秒一、第二着神（一馬身半）第三着金峰（五馬身）配當（單）九圓八十錢（複）一着六圓四十錢、二着十三圓四十錢、三着十二圓四十錢
▲第十三競馬（春抽八頭）千八百米第一着早苗（保利騎手）二分卅八秒四第二着佐渡（一馬身半）第三着天州（二馬身半）配當（單）十圓四十錢（複）一着五圓七十錢、二着六圓九十錢、三着八圓六十錢
▲第十四競馬（各抽八頭）二千米第一着颯飛（青柳騎手）二分四十秒一、第二着輪（首）第三着白山（鼻）配當（單）五十圓（複）一着十二圓三十錢、二着十一圓、三着六圓十錢
備第三日目の競馬レースには市内淡路町二九内海博（二）これが一等に入賞した

吸殼御用心

廿七日午後四時二十分ごろ市内吉野町十二番地毛審氏方から出火し同家を燒いて同四時五十分鎭火した、損害八十圓原因は煙草の吸殼から

實業大敗
八幡對實業第一回戰　八幡の健棒振ふ

13A―5

大連實業團對八幡製鐵所の第一回戰は因藤實業投手の不振に乘じて八幡の健棒振ひ實業最後の奇襲も及ばず十三A對五で八幡大勝したが第五回以後の經過及びスコア左の如し

五回以後經過

◇五回　實業中川投前藤澤三飛高橋遊前●八幡　加藤四球花田三振藤井左胸に死球を受け（代走坂戶）中村の右飛に加藤三進したが清德二飛
◇六回　實業渡邊遊前惡投に生き津田二飛後渡邊二盜ならず木下中堅深く二壘打して出たが立石二僞●八幡　（實業高橋退き藤濱遊擊に入る）高橋二僞後坂戶四球に出で續く大岡近目の低い球を右翼權越の大本壘打し兩者轡を並べて生還尚末松、加藤共に三遊間單打し二　一壘に據つたが花田二飛藤井遊飛
◇七回　實業因藤三振武井左飛中川四球に出で藤澤の左中間二壘打に一擧本壘を衝き中―左―捕の好リレーに刺さる▲八幡　中村四球に出で清德三飛後高橋の左中間二壘打に中村生還、遊擊の本壘暴投に高橋三進し坂戶の中飛に高橋も還へり大岡二度目の死球末松左前單打で走者二、一壘に據り加藤四球で二死滿壘となり依然二死滿壘であつたが藤井と續く花田も四球で大岡押出され
◇八回　實業藤濱二僞後渡邊右越二壘打し投手暴投に三進したが津田三僞木下中飛●八幡　中村清德の中飛後高橋二壘左を拔く單打坂戶も亦三遊間單打大岡遊僞一壘落球に生き二死滿壘の時末松の二僞失で高橋還り坂戶本壘を窺つて一壘の送球に三、本間に挾殺さる
◇九回　實業立石二壘左を拔く單打し因藤三振の時二盜し武井投手を強襲し足に當つて二壘打となり立石生還續く中川も中堅に三壘打して武井を還へし藤澤の遊僞一失に中川も生還藤濱二盜に成功し藤濱四球（この時藤井退き大岡投手となり前川一壘に入る）渡邊右飛で二死となり津田三僞で藤濱三壘に封殺され實業僅起したが僅に三點を酬いしのみにて十三A對五で大敗す

（實業）	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
（左）中川	4	1	1	0	0	0	1	2	0	0
（中）藤澤	5	0	1	0	2	0	0	4	0	0
（遊）高橋	3	0	0	0	0	0	0	1	2	1
（遊）（藤濱）	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
（一）渡邊	5	0	2	0	0	0	0	6	2	1
（三）津田	5	1	1	0	0	0	0	3	1	1
（右）木下	3	1	1	0	0	0	1	1	0	0
（二）立石	3	1	2	0	1	0	1	2	2	1
（投）因藤	4	0	1	0	0	2	0	0	2	0
（捕）武井	4	1	1	0	0	0	0	4	1	0
計	37	5	10	0	3	2	4	24	10	4

（八幡）	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
（中）清德	6	1	1	0	1	0	0	3	1	0
（右）高橋	4	4	2	0	0	0	2	1	0	1
（三）坂戶	4	3	2	0	0	0	2	2	3	1
（一投）大岡	4	3	3	0	0	0	2	9	0	1
（遊）馬場	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（二）（末松）	5	0	2	0	0	0	0	2	3	0
（二遊）加藤	3	0	2	0	0	0	2	3	4	1
（捕）花田	4	0	1	0	0	2	1	3	2	0
（投）藤井	4	0	1	0	0	0	1	0	1	0
（一）（前川）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（左）中村	4	2	0	0	0	0	1	4	1	0
計	39	13	14	0	1	2	11	27	15	4

▲本壘打―大岡▲三壘打―中川▲二壘打―坂戶．高橋（八幡）立石．津田．木下．藤澤．渡邊．武井▲併殺―八幡1（坂戶―加藤―大岡）實業1（因藤―津田―渡邊）▲與へし死球―因藤4（大岡2．高橋．藤井）▲暴投因藤1藤井1▲試合時間二時間二十分

戰を終へて

八幡は大岡投手をマウンドに据え豐國中學出の藤井投手をマウンドさせる、藤井投手は大投手ほどスピードはないが内外野手の好守に援けられて樂に投げて居たが九回武井の投手強襲ゴロが左足に當つて後大岡投手に交代した▲リリーフの大岡投手は一死走者一、二壘據りの危機に起つて例の如き剛球を以て後續二打者を見事に凡退せしめて主戰投手の眞價を充分に示した▲實業因藤投手は最初より好調さは云ひ得ず加ふるに第三回無死滿壘後末松の捕前ゴロを捕手武井ひろつて本壘と一壘に併殺をくわだてたが□球審は本壘生還を認めて宣告したので以後全く氣を腐らせて亂調子となり、安打七本（本壘打一本、この本壘打は右翼ネットを越す大岡投手の大本壘打であつて、二壘打一本）死球四、四球五を與へて得點のひらきを大きくした▲例へそれが誤審であつたにせよ、そのためにゲームを投げ棄てるが如き態度は觀衆に對して甚だ悪感情を與へるものである、吾等の主將高橋君のプレーに對する眞劍さを大いに習つて欲しい▲この日實業の各打者は物凄い當り振りを示して居たが不運にも野手を拔く能はず僅かに九回その猛打振りを發揮した第二回戰こそ實業ナインのコンディション回復することであるから好ゲームとなるであらう

ロータリー俱樂部が沙市で世界大會
國際感情融和に貢獻

世界に於ける物質的文明と精神的文明とを連絡し住み易い現世を送り出さんとする二十世紀に於ける特殊の一大運動を以て人類に幾多の貢獻をなしたロータリー俱樂部は「サービス」卽ち「他のために役立つ」事をモットーとして組織され既に七十九ケ國にそのロータリー俱樂部は設立され一都市一俱樂部の原則に依つて今は三千四百九十四の俱樂部を有し會員も亦十五萬餘を算し日本及び滿洲にも現在十二俱樂部、會員六百六十名の紳士を集め、先頃日本、滿洲の同俱樂部大會を大阪に開催し日滿俱樂部員の親睦に連絡を圖つたが同俱樂部は每年一回世界大會を開き國際間の融和親睦を圖る事に規定されて居り、去る六月二十日より五日間北米シヤトルに於いて華々しく開會された、本年大會に出席せるものは五千百五十九人國別にして五十三ケ國に達し前年の會長英國パスコール氏に代りニューメキシコ國のアンダーソン氏は本年大會會長となり伊國ポリケロ氏副會長の下に國際親善の和氣藹々たる實に美しい情景を呈したが同大會に日本側出席者はフレザー、齋藤惣一、三輪善太郎、野村洋三、高柳松一郎、里見純吉氏の諸氏で國際的に融和な氣分に包まれてゐる折柄、是等各國の代表的紳士の會合は國際感情融和に資す貢獻は大なりとしてその結果が期待されてゐる

全東京再勝
對滿鐵庭球戰

全東京對滿鐵の第二回庭球戰は廿七日午後四時より北公園内滿鐵コートに於て開始し、滿鐵側雪辱せんものと各組力闘奮戰したがその效もなく全東京軍は優退一組を殘して再勝した

東京			滿鐵
○森牧 元	4	2	伊藤 津島
○内藤 楠	4	0	津田 田河
○淺野 日向	4	1	大工 石藤

伊藤元氣なく自滅す
内藤組よく打つてストレートに勝つ
遠征以來始めて昨日惜敗したる淺野組の當り凄く一ゲームを與へたるのみにて見事に復仇す

○土橋 小川	4	1	大高 川上
○關根 南宮	4	2	萩原 永沼

土橋よく大高の虚を衝き小川がよく得點しての勝は順當であつた
萩原組始め2ゲームをリードしたるも漸次挽回さる、萩原あせり氣味にて凡失多し

荒川 杉内			川久保 高木○

川久保組好く當つて滿鐵最初の優退なり

優退戰

西田 高山			原（棄權）下
○牧森 元	1	4	川久保 高木○
○内藤 楠	4	2	原 下

原當り着く簡單にゲームを得たが内藤楠の當り凄く挽回ならず

○内藤 楠	2	4	川久保 高木○

川久保はロツブに前衞を避けて内藤の驅行を封じ高木悠々長身を利して活躍せしめた

○淺野 日向	4	1	川久保 高木

漸く暮色迫る川久保善戰したが疲勞の色見えて敗退す

庭球チーム離連

二勝一敗の好記錄を殘した全東京庭球チーム一行十四名は森牧元氏監督に引率され二十七日二十二時發列車で多數庭球關係者の見送りを受けて離連した

ホノルルで歡迎の準備

【ホノルル特電二十七日發】龍田丸は三十日當地に着くので當地では早くも歡迎氣分が漲つてゐる、當日一行が上陸すれば直に自動車に分乘軍樂隊を先頭に市中を練り午後七時より米大陸艦隊日布自治協會主催の歡迎晩餐會に臨む、翌朝は陸上、水上兩選手もそれぞれ練習をなし正午一路羅府に向け立つ豫定

滿洲事變展

國際聯盟事務所、滿鐵總務部弘報係、同英文係主催の下に社員俱樂部第二集會室において國際聯盟關係、滿洲事變の寫眞並に滿洲事變以後外國の新聞、雜誌等に現れた滿蒙の展覽會を催すことになつたが二十九日（午前十時より）三十日（午前八時より）の二日間それぐ午後四時までゝ蒐集約二百點に及ぶのを社員のみならず一般にも縱覽に供すると

金龍丸審判

二十九日午前九時より海事ビル四階海事審判室において去る二月門司沖前田燈臺附近において御用船八雲丸と衝突した金龍丸（船長香坂峰三氏）に關し第一回海事審判が行はれるが特に金龍丸側には我國審判界の權威者門脇觀次郎氏が補佐に當ると

湘江大增水

【長沙二十八日發】湘江增水甚だしく二十五日長沙のバンド一帶二尺五寸乃至六尺浸水し我領事館内も浸水一尺に達した、奧地の衡州湘潭、常德にも出水してゐる

安樂椅子

大連海關問題で一躍世界に名を知られた海關長福本順三郎氏は日本無產運動の大立物大山郁夫氏の實弟…………◇…………令兄郁夫氏は五十三、舍弟順三郎氏は五十一、歲もあまり變らぬが、顏のやうに（…は失禮だが）長い顏は全くの生き寫し、違ふのは令兄は革命でせつかちだが、舍弟は莊重で悠揚迫らぬ風格がある位…………◇…………今度の事件の發祥人として六十餘名の男を率ゐて堂々と闘つた恰好も闘士らしくて似てゐる…………◇…………「兄さんの郁夫氏も今ごろ米國で大連海關問題で心配してゐませうね……」と記者が水を向けると「このごろは便りもお互にあまりしませんが選擧の時は費用を僕も出したものでしてね……この問題では兄貴も驚いてるでせうよ」と、莞爾。【寫眞は福本氏】

曙の鐘 (329)

倉田潮 作・河野想多 畫

結婚 (六)

かれてあけみが懸け合つておいた江の島の松濤樓と云ふ、海へ見はらしのきく大きい旅館に二人は夜遅くなつてから着いた。

壯三は豫想と反對にたえ子が從順であるのを喜んでゐたが、今迄幾度も最後になつてから前言を飜へされてゐるのでひそかに用心してゐた。

宿では豫てあけみから電話をうけてゐるので、新婚旅行の二人を迎へるのに遺漏は無かつた。既に着かぬ前から三階の眺めのよい八疊が二人の爲に取つてあつた。

壯三は宿につくと風呂に這入つて、たえ子を代つて湯に行かしたたえ子はその言葉のまゝに階下におりて行つたが、なか〳〵戻つて來なかつた。壯三は心配になり出した。そつと湯におりて行つて、その前に立つて樣子をうかゞつた湯の落し口にかすかに水のしたゝる音がしてゐるだけで、物音は全くしなかつた。

壯三は心配になつて息をころして、耳をそばだてた。と、暫くして浴槽から湯のあふれた音がして續いてながしにあがる人の氣配がした。確に湯に這入つてゐるのだ

――と壯三は安心しようとしたが直また疑ひが心に湧き起つて來た湯には確に誰か這入つてゐるが、それがたえ子だとはきまつてゐない。案外たえ子は湯からあがつて何處かへ逃げてしまつてゐて別の誰かゞ湯に這入つてゐるのかもしれない。

壯三は延び上つて、曇ガラスの上に一枚づゝはめられた透明のガラスごしに、チラと中をのぞいて見た。浴槽は見えないで、飛に這入つて棚にあげられた華美な着物と其の紅い裾が眼についた。

壯三はそれがたえ子の着物ではないと思つて、ドキとしたが直たえ子が湯に行く前に隣りの部屋に這入つて着換へてから出て行つたことを思ひ出した。でも、その着換へた着物が果して今籠の中にある着物か何うか、彼はそれを知らなかつた。

新しい着物の縞や、燃えるやうな紗の裏を見てゐると、それがたえ子の新しくつくつた着物であるやうな氣持もして來た。が、想像と云ふものは大抵はづれるもので多くの場合反對に來るものだと云ふことを思ひ出すと、壯三は一層よく確めないではゐられなくなつた。

あたりを見廻したが、誰も見てゐる者はなささうだつた。大きい宿の中は波の音にこそ滿されてはゐるが、人の足音は全く聞えなかつた。彼は安心して風呂の前の階段にそつとのぼつて、戸の上のガラス戸越しに今度は詳しく内を覗いて見た。

初めは湯氣に隔てられてよく見えなかつたが、暫くすると眼が慣れて來て、内の樣子がハッキリと見えて來た。湯からあがつてぢつと項垂れてゐるのは確にたえ子だつた。長い足を輕く斜に折つて、その横に手桶をおき、それにタオルを持つた手をかけてゐるが、體を洗ひもせずに物思ひに沈んでゐる樣子だつた。上半身は少しねぢ曲げてゐるが、色が透き通るやうに白く、その上に湯の温味が櫻色に染まつてゐた。

壯三は女神を見るやうな、手にとるのが惜しい氣がした。そして、春木が此の女と同棲したと云ふことが嘘であるやうに思はれて來た同時に自分も恐らく今夜手痛く拒まれるのではないかと案じられ出した。そこには何等エロチックな惑ひを思はせないほどの美の威嚴が領してゐた。

しかし、たえ子が立ち上つた時壯三は再びその指に光るリングを見た。それは大山家からやつたものでなく、多分春木の與へたもので、何時にか春木とたえ子の頭文字が組合はされて彫りつけられてゐるに相違なかつた。壯三はリングを見た時初めてたえ子が戀人として新妻として、今夜は何んなことがあつても、己の腕に抱きしめようと全身を顫はしながら考へるのだつた。

第四回 滿日特選碁戰

先相先 先番 三段 島村利博　四段 長谷川章

【3】

黒	白
●四一 ウの七	○四二 チの九
●四三 レの七	○四四 カの六
●四五 カの七	○四六 ヌの十六
●四七 ヌの十三	○四八 ヌの九
●四九 チの十三	○五〇 ルの四
●五一 ルの八	○五二 ルの九
●五三 チの十七	○五四 への十七
●五五 チの十五	○五六 ルの十四
●五七 ルの十三	○五八 ヌの十八
●五九 チの九	○六〇 ヌの七

對局者の感想

黒曰く 四三では色々迷ひましたが兎に角眼形の奪はれるのが嫌だつたのです

白曰く 五〇は疑問です（チの十六）に圍ふのも好點でした

黒曰く 五一もはぶくと次に（ルの七）に護られるのがたまらないいゝ、ところです

黒曰く 五五が大變では兎に角（ルの十七）あたりへぶち込むべきです

白曰く 六〇は（ルの七）に護るのでした

けふの放送

大連 JQAK 六月廿九日

▲午前六時ラヂオ體操 ▲午後四時四十分野球連絡放送（滿倶對八幡製鐵第二回戰）▲午後七時三十分ニュース ▲英語講座（テキスト第七課）大連第二中學校片山篤郎 ▲ソプラノ獨奏（一）埴生の宿「ビショップ作」（二）かもめ「弘田龍太郎作」（三）子守歌「大中寅二作」加藤ユリ子 ▲清元（深山櫻及兼樹振）淨瑠璃三谷、同絢崎、同牧、三味線清元延美佐榮、同大槻駒吉 ▲職業紹介事項 ▲ニュース ▲氣象通報 ▲中國劇（打鼓罵曹）連東倶樂部々員

東京 JOAK

六月廿九日午後六時卅分（凱旋記念上海實戰談の夕）日比谷公會堂より

▲吹奏樂、行進曲「皇軍の門出」陸軍戸山學校軍樂隊、指揮樂長辻順治 ▲（挨拶）東京市長永田秀次郎、上海派遣司令官代理陸軍中將植田謙吉、第三艦隊司令長官海軍中將野村吉三郎 ▲（講演）第九師團歩兵第七聯隊歩兵中尉辻正信 ▲（講演）第十二師團第四十一聯隊歩兵大尉一ノ瀨壽、上海特別海軍陸戰隊海軍少佐勝野實、第三艦隊參謀海軍中佐大西瀧次郎、第十一師團第四十三聯隊歩兵大佐辻權作 ▲吹奏樂、行進曲「軍艦」海軍々樂隊、指揮吹田鐵雄

滿日柳壇課題

▽題「浴衣」「蚊」「雨」
▽締 七月五日（各題五句）
▽定 題毎別記住所氏名明記
▽宛 大連市能登町十高橋月南

一般梅毒と胎毒

自己を亡し子孫を滅す

專賣特許 根治の王座を占むる強力コロイゲン水銀の威力

強烈なる副作用はなきも稍もすれば其の毒性の爲めに使用を忌み嫌はれ是が世界醫學界の缺點となり果ては水銀の毒性除去といふ難問題に逢着したのである、然も此の難事業の遂行するにあらざれば自然梅毒治療界の運命も決定されぬ事は既定の事實である故に各國醫界一齊に此の目標に向つての爭闘戰となつたのである。

梅毒治療の貫徹を期す コロイゲン水銀の新鋭威力

水銀毒性除去の爭闘戰は遂に斯界の泰斗中村勝晃博士の努力によつて終局を告げた星霜十餘年の苦心の結晶、無毒性コロイゲン水銀（藥名コロイゲン）こそ斯界に與へたる効績は實に偉大たり故に政府は一早く第四四九九六號を以て

專賣特許 を與へられて此處に名實共に梅毒治療界に重用される事となつた。專賣特許コロイゲンは水銀を極微粒子に分解し特殊の操作によつて毒性を除去せしものなるにより内服して血液中は勿論筋肉間を通し骨組織に迄もグン〳〵と浸透し強力殺菌の實を擧げサルバルサンの遠く及ばざる二期三期の潛伏梅毒遺傳梅毒を根本的に驅逐し而も再發の憂ひ絶對になく治療の目的を貫徹するもので從つて初期の下疳や横痃の如きは服用旬日にして一掃されるこれ本劑は無毒水銀の含有量に於て注射の三倍にして一日分よく一本の注射に匹敵するゆゑんである。

先天梅毒兒の運命

流産早産死産する婦人の血液檢査の結果四十パーセント乃至八十パーセント即ち約半數以上は陽性（有毒性）にして潛伏梅毒を有するものであると換言すれば流産死産の大多數は梅毒に起因するものであり又輕くて死産流産を免れたるものも生後一年二年と順次梅毒性疾患の爲めに斃れとなり又は死亡するもの多く、健康に天壽を全ふするものは極めて少數である。しかも先天性梅毒兒は病毒に左右され

抵抗力甚 だ弱く一度疾病に犯される時は容易に重症に陷り恢復すべき輕症も却つて死の轉歸となる事が屢々ある即ち潛伏梅毒の潛勢力により諸病を誘發し重症となすものにして實に遺傳梅毒兒の運命程はかなくも悲慘なものはない故に虚弱兒の多數がこの疾患に起因する事を思ふ時わが愛兒の育兒上に大なる關心を持たねばならぬと同時に兩親自らもその責任を感じ血液の淸淨を期す可である。

先づ兩親の梅毒を去れ

一生を不幸に呻吟させる遺傳梅毒兒の上を思へば慈愛の第一は先づ（父母の病毒を去れ）である遺傳となつては白痴畸形兒皮膚の腫物に惱み抜きさせては病魔の捕虜として愛兒の一生を苦しめ自己の身に汚染しては頭の上から足の先迄腐る全く一個の人生を食ひ荒さなくまなく荒し廻る一個の梅毒菌は止まぬ、然しこの恐ろしい梅毒も機宜を得た

適切な る治療に觸れては一たまりもなく敗退するのは當然である。故に第一に治療の核心を摑むべきである。過去に於て梅毒の代名詞の如くいはれたサルバルサン注射は發見當初は全く無毒なる事を唱道せられしも漸次時を經るに從ひ種々なる副作用報告せられ時に不測の危險症状さへ招く事は周知の事實でありて即ち發熱、嘔吐、食慾不進、頭痛、呼吸困難、腎臓病、糖尿病による蛋白尿、血管硬化等枚擧に遑なき恐しい副作用を來し一時陰性（無毒の意）となつた梅毒が半年を出でず

再び強陽 性（有毒）となつて再發する實例は各醫家の臨床中、頻々あることは[illegible]に深く[illegible]

つた梅毒菌が完全に殺菌驅除されぬ爲めであつて最近判明せる新學說によると初期即ち傳染後二三ケ月以内に於て早くも梅毒菌は淋巴管を傳ひ全身の組織間に蔓延して了ふものであるから一時六〇六號で表面的に血清診斷が陰性（無毒）となつても再び再發は免れないのである都會の一流病院は勿論各地の專門醫家の門を叩いて治療を乞ふた場合重症と輕症とを問はず必ず六〇六號の他に水銀注射をなすは即ち

水銀劑が 梅毒根治の最後の切札であり必須の特効藥たる所以である。サルバルサンがかく陳久性梅毒即ち潛伏遺傳に對し單獨療法の威力なく明かに否定されし今日水銀の療法によつて梅毒治療界は甦生されねばならぬは克明の理である、即ち水銀は梅毒に對し直接殺菌の威力を有し梅毒に起因する諸症狀を消退せしむるのみならず根本的に是を撲滅する強力を有するが故に常に治療の主體をなすものにして如何なる場合にも水銀は主力であり、六〇六號は從である。然れども水銀にはサルバルサンの持つ

先天性梅 毒兒の治療に於ても無毒性水銀治療藥の絶對必要となりし事は周知の事にして而もこの二方面の治療の領域こそ實に

時に姙産婦の驅梅療法は注意の上にも注意が肝要である殊に姙娠中サルバルサン注射により不幸を招來せし例は數限りなく又

姙産婦にも虚弱兒にも

無毒性コロイゲン水銀の獨壇場にして本劑は内服用なるが故に胃腸障害その他の副作用絶對になく姙産婦、虚弱兒も安心して治療の目的を達する事が出來るものであると同時に左記重輕症病者及び醫師諸家の渇望せし梅毒治療の絶對的新藥である。

先天性梅毒

梅毒性發疹

滿洲日報
發行人 松本豐三 編輯人 橋本喜代治 印刷人 本村武 發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月金一圓二十錢 郵税金十五錢 一部金五錢
廣告料 普通一行金一圓二十錢 特別一行金二圓六十錢 場所指定二割以上加算

滿洲國内の各地海關 接收順調に進捗

引揚げ關員の補充準備

滿洲國では凡ゆる犠牲と隱忍を以て國内海關の圓滿接收を圖つてゐたがこれに對する支那側の不誠意に遂に實力を以て接收するの外策なき状態に陷つたので已むを得ず外交總長の名によつて海關接收の聲明を發し廿六日ハルビン海關の接收を皮切りとし二十七日には大連、營口兩海關を接收したが、更に二十九日は安東、琿春、龍井の三ケ所を接收することに決定した、然るにその接收により支那側はわが(ゞ)より上支那側の任命した海關官吏たる外人、支那人には引揚げ方を發令することは當然豫想されるので、若し彼等が滿洲國に誠意を提供せず引揚げる場合は事務の澁滯を來す恐れあるためこの對策として全滿商工會議所及び稅務會に手配して補充を講じつゝある、隨つて一般輸出入業者に迷惑をかけることはないだらう【長春電話】

英帝國は憂慮を表示

サイモン外相下院で答辯

【ロンドン二十七日發】本日英下院で保守黨議員サー・アーサー・サミエル氏の滿洲國内海關接收に關する質問に對しサイモン外相は左の如く回答した

滿洲國政府當局の命によりハルビン、牛莊、安東の各海關收入の上海總稅務司の許への送金停止に關しては駐日大使リンドレーに命じて、右に關する事實並に大連海關問題についての**事實を確め且つ同問題については英帝國の憂慮せる旨を表示**せしめることゝした

海關問題の對策協議

大橋、河相兩氏内田伯訪問

近く外相に就任し大連海關問題解決の最後の鍵を握るべき内田康哉伯は廿八日午前八時歸任、直に星ケ浦の滿鐵總裁別邸に入るや同九時二十分大橋外交部次長は總裁邸を訪ひ、内田伯と對座して

會談時餘に及んだが、十時二十五分に至つて河相外事課長も往訪、鼎座して重要協議を行ひ正午午餐を共にしさらに協議を續けた、會談の内容は固より不明だが恐らく大橋氏よりは本問題に關して滿洲國の採つた態度を、また河相氏は關東廳の立場を詳細に說明して總裁の裁斷の資料としたものと信ぜられる、内田伯は二十八日午後さらに關係各方面より事情を聽取する筈である、同伯は來る

外相就任 は七、八日ごろ七月二日大連出發上京と見られてゐるので日本外務省の態度の決定がその前後いづれになるかは興味ある點で既に滿洲國の大連海關接收が日本政府に何らの豫告なしに行はれたので、日本政府としては成るべく速かに滿洲國に對して何らかの方策に出ねばならぬ立場にある、即ちこの事實上の接收状況を永く放置する時は日本はこれを承認したかのごとき印象を列國に與へるわけで日本政府の態度は注視されてゐるが滿洲國が日本の立場を顧慮し當初の聲明によつて

瓦房店に 新海關を設置し南京政府の大連海關が存續するも事實上徵稅は不可能となり、この間に日本をはじめ各國の斡旋で大連海關問題の合理的解決が圖られるにあらずやと觀測されてゐる

金州出張所も告示を揭示

海關接收の報を聽して二十八日元大連海關金州出張所に林田重三郎氏を訪へば氏は語る

廿七日本處に行つて自分は邦人と行動を共にするから萬事宜敷…

海關問題に何等か よい辦法があらう

二重課稅問題は起らぬと思ふ

けふ歸任の 内田滿鐵總裁談

内田滿鐵總裁は夫人および杉本秘書役同伴廿八日朝八時着列車で歸連した、驛頭には村上理事、山崎總務部次長、石川經調委員長、根橋技術局次長、中西文書、千種衞生、有賀地方の各課長、猪子大連鐵事務所長はじめ課長多數その他小川大連市長、築島國際運輸、花井大連警察署長等官民多數の出迎へあり、總裁は夫人と共に出迎への人々と挨拶を交した後、一先づ自動車で星ケ浦の別邸に落ついた、なほ山西、十河兩理事も同車で歸連した、總裁は途中金州まで出迎への記者に語る

やあ、御機嫌よう、大橋君はまだ居るだらうね、海關問題については早速大連で大橋、福本の兩氏をはじめ關係方面の人々に會つて眞相を聞きたいと思つてゐる、この問題については谷亞細亞局長や奉天駐在領事等にも會つて聞いたが何れも極めて斷片的なもので自分はこの問題の最初からの經緯なり總括的なことは知らぬから今自分がこれを批判することは極めて危險だ、然し自分はこの問題は何とか辦法がつくだらうと思つてゐる、元來これは滿洲國對支那の問題で唯大連海關が日本の租借地内にあるといふ點で日本にも關係があるのだが、日本は双方の間に立つて何とか良い方法を見つけるために努力しつゝあることゝ思ふ、自分も個人的に出來ることがあれば盡力したいと思つてゐるのだが、この問題については關東廳が政府を代表して大いに解決に努力するだらう、次のことが今度の例に當はまるかどうかは知らぬが曾て關錫山が天津で佛租界にある支那稅關を押へたことがある、そして支那はそれを結局承認したらしい、なほ今度の問題も結局日本が滿洲國を承認すれば存外簡單に片づくのではなからうか、といふ人があるが、前にもいつたやうにこれは滿洲國と支那との問題であつて承認によつて法的關係においての日本の立場だけは變つて來やうが、從つてこの問題がそれだけで解決すると見るのは早計だ、なほ自分は今のところこの問題のために二重課稅問題は起らぬと思つてゐる、驛頭に大連驛に着いた總裁と出迎への大橋外交部次長(右端)

飽迄既定方針で邁進

最早何者にも動かされない

大橋外交部次長聲明

大橋滿洲國外交部次長は廿八日内田滿鐵總裁との會見後午後二時星ケ浦の家において記者團と會見大連海關問題について憤激した面色にて重要なる聲明を發した、右は極めて長文であるがその内容は先づ海關問題について滿洲國が最善を盡して妥協を圖りしにも拘らず南京政府の暴戾なる態度によりて事こゝに至れる事を詳述した後

滿洲國政府は今や非常なる決意を以て右政策を斷行最早や**何者の來りて容喙するも之を動かす事は不可能**となつた從つて大連において如何なる問違が及ぶも斷乎として徵稅事務を繼續する決意を有してゐる、若し日本政府等の壓迫により**事務の遂行不可能となるに至らば已むなく瓦房店に引揚げ**徵稅事務を徹底的に行ふより外なし

と述べ日本政府が壓迫を加へるにおいては附屬地の周圍に幾多の海關を設け滿洲國の關稅自主の見地より飽くまで徵稅する旨を語り、これをしも日本が實力を以て壓迫するにおいては飢餓日餓の後も滿洲國は倒壞の外なしと述べ、最後に吾人は滿洲國に對して滿腔の同情を表せられん日本國民に訴へんとするものである

と結んだ、なほ同氏は二十八日の夜行で北行歸京する筈

吉田一等幇辦は きのふ辭表を提出

大連海關における日本人關員中只一人の辭表未提出者として注目されてゐた一等幇辦吉田五郎氏は廿七日午後五時頃辭表を電報をもつて叩きつけ廿八日は平日通りサバくした氣で新しき看板財政部關稅徵收處に出勤してゐた、執務中の吉田氏に刺を通ずると快く語りつゝける

最初に日本海關員が全部出席した時自分は友人のところにあつて一しよになれなかつたので全く一人除け者にされたやうになつたんです、で二十七日の朝刊でその事情を知り早速福本氏、中村氏に自分の考へを述べて了解して貰つたのです、廿八日になれば一切判るといつたのはすでにその時から辭意があつたんでしたが、一度決心した以上四時間や五時間遲れても好いと考へてそのまゝにして廿七日午後五時頃辭表を打電したのです、これは日本人としては當然すぎる事で常識で考へてもわかると思ひます、いづれにしても今申上げた通り皆樣に會はなかつたのがいけなかつたので、それが誤解の原因と思ひます

兩中將親補式

【東京廿八日發】廿八日午前九時半左の如く親補式行はせられた

海軍中將 正四位勳一等功五級 野村吉三郎
補軍事參議官
海軍中將 正四位勳一等 左近司政三
補第三艦隊司令長官

なほ左近司中將は三十日午後一時東京發七月二日旅艦出雲に搭乘四日上海に向ふ筈

拓務兩書記官

廿七日滿鐵本社の地方部および鐵道部の組織、および業績を調査した拓務省富田、副島兩書記官の一行は廿八日午前十一時滿鐵技術局を訪問、根橋次長、由利庶務課長木村地質調査所長、栗原中央試驗所長等から技術局の組織を聽取し

地方官異動

けふの閣議で決定

【東京廿八日發】齋藤内閣最初の地方官異動原案は左の如く決定、廿七日夜柴田翰長は政友會側鳩山文相に原案を提示し鳩山文相は鈴木總裁と協議の結果、大體諒解成立した、但し内務部長、警察部長も同時に更迭するとの條件附で廿八日の閣議で決定左の通り發表を見ることゝなつた

復活知事(民政黨系八名)

任大阪府知事	縣　忍
任大阪府知事	半井　清
任栃木縣知事	小栗　一雄
任福岡縣知事	赤木　朝治
任靜岡縣知事	石原雅二郎
任山形縣知事	阿部　嘉七
任茨城縣知事	山口　安憲
任石川縣知事	窪田　治輔

新進拔擢(八名)

任島根縣知事　内務省河川課長	岡田　文秀
任千葉縣知事　秋田縣内務部長	福島　繁三
任埼玉縣知事　新潟縣内務部長	關屋延之助
任山梨縣知事　靜岡縣内務部長	清水　良策
任福島縣知事　長崎縣内務部長	多久　安信
任青森縣知事　社會局勞政課長	一戸　二郎
任秋田縣知事　内務省會計課長	武部　六藏
任愛媛縣知事　京都府内務部長	田口　易之
任大分縣知事	

居据り組

兵庫縣知事	白根　竹介
長崎縣知事	鈴木信太郎
三重縣知事	廣瀨　久忠
宮城縣知事	三邊　長治
福井縣知事	大達　茂雄
鳥取縣知事	館　哲二
岡山縣知事	篠原英太郎
山口縣知事	岡田　周造
徳島縣知事	落合慶四郎
高知縣知事	坂間　棟治
佐賀縣知事	早川　三郎
鹿兒島縣知事	市村　慶三
沖繩縣知事	井野　次郎
群馬縣知事	金澤　正雄
宮崎縣知事	木下　義介

(政友會内閣時代任命された知事で居据り異動の者)

任神奈川縣知事　京都府知事	横山　助成
任京都府知事　大阪府知事	齋藤　宗宜
任愛知縣知事　神奈川縣知事	遠藤　柳作
任岐阜縣知事　埼玉縣知事	宮脇　梅吉
任新潟縣知事　廣島縣知事	千葉　了
任和歌山縣知事　靜岡縣知事	田中廣太郎
任滋賀縣知事　茨城縣知事	君島　清吉
任富山縣知事　奈良縣知事	齋藤　樹
任香川縣知事　岐阜縣知事	伊藤　武彦
任奈良縣知事　愛媛縣知事	久米　成夫
任熊本縣知事　富山縣知事	鈴木　敬一
任廣島縣知事　和歌山縣知事	唐澤　俊樹
任内務省土木局長　内務省土木局長	湯澤三千男

罷免組(十六名)

新潟縣知事	小幡　豐治
千葉縣知事	大久保留次郎
栃木縣知事	豐島　長吉
愛知縣知事	尾崎勇次郎
山梨縣知事	芝辻　一郎
滋賀縣知事	新庄祐治郎
福島縣知事	村井　八郎
青森縣知事	宮本貞三郎
山形縣知事	川村貞四郎
秋田縣知事	内田　隆
石川縣知事	不破　周
島根縣知事	八木　林作
香川縣知事	伊藤　昌盛
福岡縣知事	中山佐之助
大分縣知事	永野　清
熊本縣知事	山下　謙一

依願免本官(各通)

けふの閣議

午後一時再開

【東京廿八日發】地方官異動を決定する定例閣議は午前十時開會せるも政友會出身閣僚の鳩首協議の小委來强硬のため午後零時二十分一旦休憩午後一時から再開した

資政局は廢止

各省財政廳を廢し中央で統轄

滿洲國々務會議決定

滿洲國第三十四次國務會議は廿七日午後三時より國務院において開催されたが、當日の閣議に上程可決された議案は十一、二件の多數に上り隨つて最近稀に見る緊張を見せた、その主なる議案は左の如くで廿八日發表された

一、政府組織法、國務院官制、國務院各部官制中一部改正の件
これは建國早々の滿渡期であるが過去三ケ月の經驗により最も合理的に改正し根本的に基礎を定むるもので、その正式發表は四五日後になるであらう

一、資政局廢止の件
建國當初は當然必要の官制でそれだけにその活動は大いに見るべきものがあつた、然るに今日では既にその役割も濟み必要がなくなつたため之を廢止することに決定した

一、文官官等俸給令の件
之は從來内規のみで發表されて居なかつたが今回敎令として公報に發表することに決定した

一、硝磺局、マッチ公賣局の所管に關する件

一、自治縣制の件

一、各省財政廳を廢止し中央政府に移管決定の件
各省の財政廳を廢止し徵稅その他財政所管事務總てを中央政府に集中する事に決定した

一、教科書編纂委員會官制の件
これは國定教科書の審査編纂事務を管掌するもので一時的でなく永久性を帶びて設置する事に決定した

一、中央銀行開業に際し私帖、紙幣類似證券などの取締暫行制法制定に關する件
等々であり此等はいづれも執政の裁可を得て近く公布することになつた【長春電話】

丁交通總長

けふ、日本へ向ふ

日滿親善の使命を帶びて

非公式に滿洲國民代表を以て渡日し我政府當路者を始め實業界、軍部、教育等各界を訪問、日滿親善の大使命を帶びた丁鑑修氏は二十八日午前八時半急行で駒井長官、謝外交總長その他日滿官民多數の盛大なる見送りで華々しく出發したが、同氏は往路は安奉線經由で歸途は大連上陸歸京のはずである、而して同氏の渡日により日滿の親善滿洲國の承認促進、產業投資に對する誘發等に寄與する所頗る大なるものがあらうと期待されてゐる、因に一行は十五名で正使丁氏の外副使は最高法院長林棨氏、謝員交通部鐵道司長森田成之氏等であると【長春電話】

滿鐵辭令(廿八日附社報)

監理部考査課計畫班副査　事務員　江口　胤秀
監理部考査課計畫班主査心得を命ず
監理部考査課計畫班主査兼地方班主査參事　山島　登
監理部考査課地方班主査を命ず
監理部考査課元財產班主査　事務員　小林　完一
監理部考査課財務檢査班主査を命ず
監理部考査課工事班副査　技術員　西島　源次
監理部考査課工作班主査を命ず
監理部考査課元能率班副査　技術員　加藤　富二
監理部考査課事務能率班主査心得を命ず

人事

▲内田康哉伯(滿鐵總裁)廿八日朝八時着列車で歸連
▲山西恒郎氏(滿鐵理事)同上
▲十河信二氏(滿鐵理事)同上
▲杉本重道氏(滿鐵秘書役)同上
▲林顯藏氏(滿鐵秘書係主任)同上
▲鎌田彌助氏(滿鐵囑託)同上
▲山之井格太郎氏(滿鐵囑託)同上
▲石原重高氏(洮昂鐵路顧問)同上
▲松島鑑氏(滿洲國農鑛司長)同上
▲林熊祥氏(臺灣實業家)二十八日出帆はるびん丸にて內地へ歸還

關東廳縮小と 市の對策

在滿機關統一もいよいよ七月中に實施するやに傳へられこれに伴ふ官制改正の結果は大連市にとり重大影響を及ぼすので小川市長は二十八日午後四時半から市會議員の非常召集を行ひ全員會議を開きこれに對する根本方針につき協議する事になつた、即ち關東州に長官制を撤廢し州知事級に縮小する事となれば民政署の存在は認めぬ事となり從つて市の權限に及ぼす影響重大となつて來るのでこの際權限を擴張して官選市長を置く事とするか或は他に適宜の方法を講ずるか兎に角根本對策に關し慎重審議を遂げて手廻りよく方針を確立して置かうといふのである、しかし本問題は市政上劃期的重要問題であり一朝一夕に決する事なくは數三回の協議會を必要とするであらう

くて賴んで來た、此處は大連海關の出張所であるから大連海關が滿洲國に接收されて滿洲國關稅徵收處となればその出張所となるのは當然であるから、本處の命に依つて專心滿洲國の爲めに努力する積りだ、退職慰勞金が惜しいだらうつて、そんな事は此際問題ではない、我々邦人には血と熱があるんだなほ同日大連から告示第一號が屆き直に揭示された

角蛇

犧牲者を出さず合法的に行はれた點においてシャムの革命は先づ芽出度完了。

◇

安達氏も漸く眼鼻がついて來たこれが第一黨の分裂ならキャスチングボートが握れるンだが…。

◇

撫順炭移入制限問題に對する石炭聯合會理事會の決定は先づ穩當。

◇

これを勞働者解雇の口實にしやうとする鈴木互助會の態度は感心出來ず。

◇

世界早廻りの新計畫、相變らずヤンキイの暇潰し。

◇

飛燕の業、到底彼に及び難しとは口惜しき限り。

◇

吉田書翰の行衞、僅かの方便と…

滿蒙の戰慄 (28)

直木三十五 作　淺枝次朗 畫

踏出す者(六ノ一)

寒月凍る嚴行鎭
霜白々と廣野原
沈默の底を進み行く

落花紛々、雪紛々
落花を蹴り、雪を踏んで
伏兵起る

「そうだ、そうだ」
白晝、斬取る大臣の頭
あゝ、時事、知るべきのみ

「ちえすと」
一人が、立上ると、佩劍をもつて、鞘のまゝ
櫻田門外血花の如し

「やれく」
落花紛々、雪紛々
よう
風蕭々として
易水寒し
壯士二度び出つて
又、歸らず

佩劍が、きらつと、閃いた。

「その意氣、その意氣」
…

道木は、醉つてゐたが、しつかりと…

「貴殿、困つた事だよ——何うなるか——」

道木は、女中と啞山拳したり、話したり、食つたり、怒鳴つたりしてゐる人々を見ながら、一人の將校と、床の間の柱の前で、頷き合つてゐた。

「下らん事をいふな」
「醒り而して、家に女房あり、子供あり」
「吉原あり」
「北に」
「品川あり」
南に——南に
エットあり、西に、アメリカあり
だぞ。それを忘れるな。東にソビ
「道木、滿洲は、その第一歩のみダーや、蒙が、置かれてゐた。

滿した。女中は、若い血、熱い血に狂ふ人々に、驅逐されてしまつて、德利をもつたまゝ、默つて座つてゐた。

「飲め、飲め」
劍舞のやうな形をした一人に、二三人が、盃を指した。

「お醉だ」
「こらつ、醉ぜんか」
女が、周章てゝ、膝を立てゝ、醉をした。

「道木、貴樣の送別會だ、も…つと、飲めつ、おい」
「飲んどろよ」
「白晝、斬りとる大臣の頭か」
一人が、女中の手から、德利をとつて、道木に醉をした。卓の上の鉢は、皿は、亂れてしまつてゐたし、疊の上にも、德利や、サイ…

合唱だ。天井も、襖も、その聲に、合唱してゐるやうな喧騷さだ
「獨り、爆彈三勇士のみが、騎士ではないぞう」
一人が、怒鳴つた。
「止めい」
「機會さ——」
一人が、叫んで、どんと、卓を叩いた。卓の上の盃も、皿も——皿の中の肴も、びつくりして、飛上つた。
二十二三人の將校が、軍服のまゝで、醉つてゐた。

全滿郵便局閉鎖命令

歐洲行郵便物の滿洲經由停止

南京政府の報復手段

【南京二十八日發】南京政府交通部は滿洲國の海關接收の報復手段を取るに決定した

一、全滿郵便局の封鎖命令を發し同時に從業員の關内引揚を命ず
一、滿洲國切手を貼附せる郵便物は無切手郵便物として取扱ふ
一、歐洲行郵便物の滿洲經由を停止し一切海路を取る

コレラ遂ひに營口に發生す
舊市街に疑似性二名
愈よ嚴重防疫

北支方面のコレラ患者續出の報一度び傳はるや營口では他港に先立ち滿洲國、關東廳、滿鐵協力してその防疫につとめてゐたが、遂に廿六日舊市街に患者二名を發生廿八日午前三時半何れもコレラ疑似性と決定した、このため現在營口の防疫設備は全部々署につき防疫機關も整つてゐるが今後の成行により更に機關の擴充をはかることゝなつた

今回の發生までの事情を見るに營口の舊市街に去る十八日以來數名のコレラ様患者が發生したので關係防疫機關ではこれに對して正規の檢査を施行すると共にその關係者を隔離若くは交通遮斷等を行ひ嚴重警戒中のところ廿六日に發病して同日海口檢疫醫院に收容してゐた舊市街五蓮子丁字街居住の滿洲國人秦梁(女二三)および同平安街居住の滿洲國人高長順(二〇)の二名は細菌學的檢査の結果廿八日午前三時半何れもコレラ疑似性と決定された、また同様の症状で同醫院に收容中のもの七、八名ありこの傳染系統は一兩日中に判明の筈であるが兩人共營口の住民で高の家は罐造り、秦は無職である

なほ滿洲國内の本年の患者發生はコレラ猖獗を極めた大正十五年の患者が八月二十二日に初發したのに比し約二ヶ月早く從つて今後雨期、臨暑期を控へる關係上今年のコレラは大正十五年以上に猖獗する可能性が充分にあり滿鐵でも非常に憂慮してゐるが取敢ず目下滯奉中の村川防疫係主任を現場に派し眞相を調査せしめることゝなつた

因みに大正十五年の附屬地接續の舊市街の患者發生數は營口百十三名(初發八月廿二日)安東三百三十六名(初發九月六日)で關東州内および州外附屬地の患者總數は六十二名、保菌者二十名であつた

營口線船舶 檢便協議
海務局緊張

營口における虎疫患者發生の報を受けると共に當地海務局にては上海天津航路同様營口よりの入港船に對し檢便を行ふか否かについて協議中だが右に關し岡本局長は語る

たつた今營口署よりの通知によつて知つた、今後續發する様な事があつたらどうしても檢便しなくてはいけないだらう、今のところその發生徑路その他が判然さしないので何とも手の施し様がないが聞き合せて對策を講じよう

麻醉劑密輸公判に また新な波紋
近森元關東廳技手の告示で
犯罪不成立を主張

關東廳令第五十四號を以て發布された麻醉劑取締規則中一部條文の脱落から遂に白川一味のベンゾイリン大密輸事件が一二審共に無罪の判決が下され我裁判史上前例なき珍事件として法曹界の注目を惹いてゐる折柄今度は二十八日午後一時から大連地方法院長島裁判長係開廷の市内信濃町藥種商萬壽堂こと石川萬次郎(五〇)ほか十三名にかゝる七十餘萬圓の麻醉劑密輸の公判廷で瀧田辯護士から麻醉劑取締規則全部の無效論を提唱し再び廳令原議の取寄せ方を申請することゝなり法曹界に新たなる波紋を投じてゐる

理由は同規則中「誘導體の種類」なる條文が脱落せるを發見した際關東長官の決裁を經ず勝手に近森技手が挿入公布せるもので立法の主腦者たる長官の捺印なき法律は全部無效であるさいふにある

更に當日は白川一味の無罪の導火線を作つた元關東廳衞生課技手近森監介氏が在官當時各藥種商に對し大連から長春方面へ麻醉劑を輸送する場合たさへ瓦房店の税關を無斷通過するも密輸とは認めないとの告示を口頭をもつて發したの理由をもつて石川一味の密輸は法律を犯したものでないとの辯護士側の主張があるので果して右の告示を近森氏が發表したか否かに就き當の近森氏を證人に喚問する筈で二つの新らしい疑題を提供した同公判の成行は非常に注目されてゐる

英艦を誤認し 爆彈を投下
廣東軍の飛行機から
幸ひ一彈も命中せず

【香港二十七日發】二十六日午後廣東三角洲内の溪登附近を航行中の西江警備英國砲艦ムーアヘン號に對し廣東軍飛行機一機が突如爆彈六個を投下したが幸ひ一彈も命中しなかつた

【香港廿七日發】昨日廣東空軍が陳策の艦隊を爆撃する際自由港碇泊中の英國軍艦ムーアヘン號は安邦軍艦と誤認され爆彈六個を投下されたが寄跡的に爆沈を免れた又他の英砲艦は陳策の乘れる中山艦の空襲さるゝを目撃したさ、なほ陳策の艦隊は爆撃を恐れ香港附近の英國領海に避難した

滿鐵は自分の家
八田副總裁の招宴に出席し
少女使節一行大喜び

【東京特電二十八日發】上京以來人氣者の少女使節一行は二十八日日光見物、二十九日鎌倉見物を最後としていよく懷しの東京にさようならを告げることゝなつた、これより先二十七日午後拓務大臣官邸のお茶の會に臨んだ後、自動車で滿鐵總裁社宅に赴いた、八田副總裁の招宴に臨むのである、一行が社宅の大玄關に着くさ八田副總裁、大瀧支社長同夫人令孃、平山庶務課長同令孃、池田、清水各令孃等が「ようこそお出で下さいました」さ喜び迎へた一行は「ほんさうに有難うございます、滿鐵さ聞くさ自分の家のやうな氣が致します」さ打ちくつろぎ廣間で面白い手品を見物した後、廣い青芝の庭で鬼ごつこや唱歌を歌ひながら戯れた、子供好きの副總裁はニコくしながらもてなし歸りには立派な文房具をお土産に贈つたなほ山岡長官よりは時計入りのインクスタンドのプレゼントがあつた

日滿人百三名を人質
奉山支線盤山附近進行中の
旅客列車を匪賊襲撃

二十七日午後五時三十分奉山線營口支線營口驛に到着する筈であつた旅客列車は盤山大窪間に於て匪賊に襲撃せられ邦人三名支那人百名人質として拉致された急報に接し王殿忠軍三百名は同六時同地現地へ急行した【營口電話】

楡樹縣城を死守する
吉林軍將兵

楡城の吉林步兵第一旅の主力及び鐵道守備騎兵隊は反吉軍の主力たる馮占海、宮長海の部下約六千に包圍せられあるも吉林軍將兵は楡城の要點たるを以て吉林省の治安に重大なる影響を考へ悲壯なる決心で死守し增援隊の來着をまちつゝある【奉天電話】

馬占山軍擊破

吉園騎兵○部隊は廿六日午前十一時四十一分樣泉東北方において馬軍約五百を急襲し十六名を殪し五名を捕虜とし兵器多數を鹵獲した【奉天電話】

東邊道の討伐隊
各方面に活躍

平田大佐の指揮する東邊掃蕩隊は新濱附近出動以來殆ど晝夜の別なく兵匪と戰ひ二十六日山城子に到着した、又某方面より東邊道方面に派遣された部隊は二十五日朝陽鎭に到着した、森中將は右兩部隊作戰指導のため二十八日該方面に向つた【奉天電話】

工大小倉氏 理學博士に

【東京二十八日發】廿四日の東京帝大理學部教授會にて旅順工大小倉勉氏の學位論文が通過した氏は大正二年東京帝大理學部地質科卒業にて今回氏の學位授與により小倉伸吉、小倉謙(東大理學部教授)の兄弟さ共に三人の理學博士を出したことになつた、氏の論證は「旅順老鐵山地域に於ける線狀片麻岩の接觸變質作用」である

世界早廻り計畫
來月九日に紐育を飛出す

【ニューヨーク二十七日發】テキサス州フォートワースのジエームス、マタン及びオクラホマ州のベネット、グリッフインの兩飛行家は昨年七月一日ポスト、ゲッティ兩氏の樹立せる世界早廻り飛行記錄を打破し新記錄樹立を目差し來月九日ニューヨーク發世界一周飛行の壯途を決行する旨本日發表したが豫定コースは左の如し

ニューヨーク—ハーバーグレース—アイルランド—イングランド—オランダ—ベルリン—モスクワ—オムスク—ノブオシベルスク—カクーツク—フエヤーバンクス—エドモントン—ニューヨーク

氏は語る

今度の旅行はたゞ漫然と新興國の現状を見學して來たが滿洲は私達さしては矢張り農業です、靑果でバナ、、オレンジ等を今後大量に輸出したいさ思ひますが臺灣さ當地間は一回直航船があるのでこれを出來るだけ有効に利用し滿蒙の販路を擴張したいさ思つてゐます

一等賞金三萬圓の福券競馬許可
更に袖賞も出し人氣を煽る
入場券は近く前賣

大連競馬倶樂部では既報の如く創立十周年記念として來る七月廿三日より六日間四萬圓懸賞福券レースの十周年競馬大會を催すべく沙河口署に出願したので同署では直に關東廳に禀申すると共に審議中でいよく廿八日朝關東廳より沙河口署に對し許可の通知があつたので同署では同日午後一時倶樂部當局者に正式許可を通達した

右四萬圓福券レースは從來の制度と趣きを異にし期間中即ち六日間を通ずる入場券を三圓にて發賣し最終日に從前の一千圓福券レースと同樣の方法をもつて決定發表するので一等當籤者は三萬圓、二等五千圓、三等二千圓、四等一千圓五等以下百圓で同レースには更に一等袖賞(當籤番號前後)として一等袖賞二百五十圓、二等百圓、三等六十圓、四等四十圓を出しこの外每回レースに勝馬投票券附加券をも發賣し一千圓福券レースと同樣の抽籤方法をもつて附加券全發賣高の二割を引いた殘り六、二、一の割をもつて拂戻すので前記十周年競馬大會は殆どお土產つきのレースばかりである、なほ同倶樂部では記念入場券を來る二日ごろより一齊に市內十一軒の代表店にて前賣りを開始する筈である

白衣の勇士
卅日に內地へ
けさ七十三名來連

茅廬の曠野に奮戰力鬪して大和男兒の意氣を宣揚し輝く武勳を白衣に包む步兵大尉時末富氏外七十二名の勇士は殷盛麻く危險を脫し內地へ痛ましい凱旋をする事となり廿八日午前七時大連驛着列車で豐島一等軍醫外十數名の看護兵に附添はれ來連したが、驛頭には田村陸軍運輸部出張所長を始め軍部關係者並に公私團體代表者及び小中學校生徒團體多數出迎へ厳粛裡

士の輝く勳を讚え在滿邦人の感謝の渦は驛頭を埋めた、白衣に包んだ頑强な體軀に未だ衰へざる戰鬪心を漲らせてはゐるが銃さる腕を吊り松葉杖或は擔架の勇士の傷ましい姿に出迎への人々は今更に新たなる感激を覺えた、懷しの軍艦に戰ひの夕を追懷し戰友と別れて今歸國の途にある勇士は救護車で市內大江町衞戍病院分院に收容されたが來る卅日午後四時(廿八日附朝刊所載)には單に午後四時とし卅日を逸脫せるに付訂正)出帆熱河丸にて廣島より出迎への永島二等軍醫に護られ懷しの故國へ凱旋する【寫眞はけさ驛頭で】

十七勇士遺骨
七月一日來連

滿蒙の原野に奮戰しよく皇軍の武威を輝かし乍ら遂に名譽の戰死を遂げた井口輜二步兵伍長以下十七勇士の悲しき遺骨は來る七月一日午後四時五十分大連驛到着同二日午前十時出帆うすりい丸にて涙の凱旋する事となつたが右側により二日午前八時より市主催の下に埠頭待合所に於いて告別式を執行する筈である

派出所前を贓品が無事通過
誰何し乍ら見のがす

二十八日午前四時ごろ市內濱連町二丁目警官派出所前を客馬車に吳服雜貨類を山ほど積んで通行する怪しげな支那人を立番警戒中の間野巡査が發見誰何するさ件の支那人は濱速町二丁目天盛號の店員で主人の命で得意先に注文品を屆けるところだと申し立てた間野巡査はなほも怪しみながら不審にも主人を呼んで來いと支那人を手放したところ、天盛號に行く風を裝ひ薄暗に紛れて何れかへ逃走した一杯喰された間野巡査は地團駄踏んで殘念がり天盛號に驅けつけて見ると同家の裏口窓を破壞して屋內に侵入し商品の羽二重二十反(時價一千四百十二圓)外百餘點の吳服、雜貨類合計二千二百三十一圓を盜み出し客馬車に積込んで大膽にも派出所前を通行し小崗子方面へ運ぶところであつた事が判明、大連署では前科者の所爲さにらみ犯人嚴探中

林熊祥氏歸臺

臺灣の大地主林熊祥氏は去月十二日來滿以來滿蒙各地を視察中であつたが氏は廿八日午前十時大連出帆はるびん丸にて歸臺の途についたが同

晴の一戰に自重練習
水泳チーム メッセーヂ

【龍田丸特電二十七日發】オリムピック水泳チームは總監督田畑氏の名で熱誠なる一般後援者に對し大要左の如きメッセーヂを發した祖國出發に際し全國的御聲援を得感激に堪へず生等責任の重大なるを感じ晴の一戰で國民諸氏の期待に應ふべく總員自重練習に努めてゐます

なほ海上は平穩で一行元氣旺盛である

朗かな選手達

【龍田丸二十七日發】選手達の朗かな態度に日本人のみならず外人の子供達まですつかり仲良しさなり練習の餘暇にキャッチボールその他の遊戲の相手に引つ張り凧の有樣である、廿八日午前十時(滿洲時間廿八日午前七時)子午線を通過し廿八日が二日ある譯である

黑石礁の水泳場
一日から開場

滿鐵運動會水泳部の主管にかゝる黑石礁の水泳場は大連近郊における唯一の好適の水泳場さして大小無數の河童連より大いに歡迎されてゐたが本年度もシーズン來と共に水泳部幹事では種々準備を進めた結果來る七月一日から開場することゝなつたが、同所には水泳部主管の小賣店徒數ケあり二階建脫衣場樓設備等の設備も完備して居り開期中は水泳部員多數出席の上日本古來の各種水泳術を指導し行事も左記の如く施行する筈である

▲開場式 七月三日
▲大會 七月三十一日
▲閉場式 九月四日

▲遊泳 一哩(七月十七日)三哩(七月廿四日)五哩(八月七日)十哩(八月十四日)一哩(八月二十八日)

なほ今年度より水泳術の普及を圖るため左記の如く部費を値下げする

社員及び其の家族(學齢未滿を除く)開期券三十錢▲臨時一回券五錢▲社員外開期券五十錢▲臨時一回券五錢

對日デ盃戰のイタリー選手

【ローマ二十七日發】デ盃庭球戰歐洲ゾーン準決勝試合にローマで日本選手を迎へて戰ふべきイタリー選手は左の三名に決定した
デ・ステファン、パルミエリ、セルトリオ

佐藤三木組勝つ

【ウインブルドン二十七日發】青木ロジアス組準々決勝にて英國デ盃選手に破れた

ペリー(英) 六—三 六—三 七—五 (電文脫漏) 青木 ロジアス

佐藤三木組は三回戰に濠洲デ盃選手クロフォード、ホプマン組を大接戰の後破り準決勝出場資格を得た

佐藤 三木 六—四 六—三 三—六 九—七 (濠)クロフォード ホプマン

野村中將入院

【東京廿七日發】野村司令長官は義眼の整形と身體中に殘つてゐる數片の爆彈破片摘出のため二十八日午後海軍病院に入院する

古着で俄紳士

金州生れ王有之(三三)は去る廿三日ころより市內磐城町馬場古着店外數軒に忍び込み古着約百圓を竊取し廿八日朝驛頭出悉くを身につけて俄紳士になりすまし橋立町から歸途小崗子署員に怪しまれて逮捕された

柳樹屯史蹟見學團

大連史談會では來る七月三日、柳樹屯史蹟見學團を組織し同地における先史時代、明時代(倭寇)日清、日露戰役時代の遺物である貝塚、烽臺、砲臺、古碑、墓跡、兵營等を滿鐵囑託島田好氏の說明を聽く

當日は午前八時北大山通り波止場に集合、同八時三十分出帆、午後二時半若しくは同四時柳樹屯出帆の豫定で會費は往復四十錢(船賃のみ、六十錢を割引)辨當は各自持參の事、參加希望者は七月一日まで往復ハガキにより市役所內大連史談會(電話八四五五四)へ

トキワガーデン

連鎖街ミス・ダイレン經營のサンマーガーデンは涼しい植込と灑を配して納涼氣分を湛え生ビール、アイスクリームで家族本位のサービスをして散步から喜ばれてゐる

安藤氏母堂

實業團選手安藤忍氏の母堂トシ刀自は兼ねて病氣で鄕里鳥取市掛出町自宅で養生中二十四日午後四時死去した、大連に於ける追悼會は廿八日午後五時から明照寺で執行

カレンダー配布

本紙愛讀者に贈呈する第三回カレンダーは滿洲、支那、朝鮮及內地へは廿九日、州內は卅日附新聞さ共に配布します

天氣予報

二十九日
南の風(曇)一時晴
滿潮(午前七時十五分 午後七時五十分)
干潮(午前零時二十分 午後一時二十五分)

けふの小洋相場(正午)
金百圓は一五三圓五五錢

會葬御禮 牧原修七

父田村益二儀豫て病氣の處藥石無効本日午後七時死去致候間此段御通知に代へ謹告仕候
追て葬儀は明後二十九日午後四時出棺西本願寺に於て執行仕候
昭和七年六月廿七日
男 周太郎
同 次郎
同 四郎
親族 田村末五郎
親族代 竹島嘉隆

國難日本刀（16）

高桑義生作
京極佳夕畫

右と左（四）

水戸齊昭は、將軍の命をうけて七月五日、たえて久しい江戸城に登營した。そして新將軍に謁し、老中諸役人を接見し、以後隔日に登城して、幕政を視ることになつた。

藤田虎之介（東湖）、戸田銀次郎、安島帶刀——錚々たる水戸の新人が、かれの側近に奉仕して、機密にあづかることになつた。

八日、齊昭は海防意見十條を示した。要するに國防の急務を論じ軍備を修ることを力說したもので天下は儼然として鎖國攘夷に傾倒した。

また、齊昭はみづから質素儉約の範をしめし、城内で、晝食に、屋敷から持參の粗末な行李辨當を食し、雨が降ると、簑を着てはたらくといふありさま。で、自然幕府の役人も粗服をまとひ、儉素を旨とするやうになつた。十七日には、儉約令を發布して、諸大名を戒めた。國をあげて、國力の充實をはからうといふ——いはゆる五個年計畫、あるひは十個年計畫といふやうなものである。

すると、翌十八日、露國艦隊司令長官プーチヤンが、旗艦一隻、帆船二隻をひきゐて長崎に入港した。露國もまた、國書をもたらして、修交通商をもとめ、さらに日露國境を解決しようとするのだつた。が、三百里もはなれた長崎の事件が、江戸幕府に報告されたのは、ずつと後の事——。

ちやうどこの夜ごろ、西の空にほうき星があらはれた。夜ごとに光をまして來る。地上の人間はそれを仰いで、不安なまなざしで語りあつた。

「いやな色ぢやありませんか。近々にきつと大變がございますぜ」

「左樣、當節のやうに、かう騷がしい世の中になつては、まつたく生きてる空もありませんや」

日が暮れると、何處の辻にも、空地にも、五人十人の人があつまつて、空を仰いでゐるのを見た。繁華な町中でも、わびしい草家の軒下でも——。

男も、女も、老人も、子供も——。

空にはすでに秋の氣が、あざやかに動いてゐた。澄みきつた夜は、武州の山脈が波のやうにうねつてゐるのが見える。

その夜は、さやかな月が照つてゐた。月の色も思ひなしかものすごい。遠近は潮色に澄んで、秋の虫がけんめいに歌つてゐる。

日暮里下谷中。

そこでも蒼茫たる武藏野のおもむきが感じられる。

粗末な衣服、大小をさしてゐるから、武士にちがひない、月と星の下を、小聲でなにかうたひながら、谷中にむかつて歩いて行くのだつた。

月のひかりで、秀麗な顏が、なんとなく憂ひをふくんだ眼ざしが——ほのかな輝きを見せてゐる。

と、人聲がおこつた。

百姓家であつた。十人ばかりの人が、女も子供もまじへて、空を指さして、語つてゐる。また涼み臺が出てゐた。

通りかゝつた武士は、いそがぬものと見えて、その仲間に入つて今更のやうに、ほうき星を見あげたのである。彗星——地上の影はくつきりと濃い。

「今に、世の中に、大騷動が起るだらうよ。どうなるのか、わしにもわかりやしないがのう、きつと起るに違ひないのぢや」

と、老人——このあたりの百姓らしい、朴訥な老爺だつた。

「わしなどは、もう長い事はないから、たとへばどんな世の中になつたところで、いゝやうなものぢやが、若い者や、これからの子供は、どうなるのか？どうせ善い事ぢやないにきまつてゐる。この頃の世間を見るがいゝ、見る事、聞く事ひとつとして善い事はない。世も末なのぢやよ。あのほうき星がその前兆なのぢや。昔からの言ひ傳へには、けつして善いものぢやからのう」

老人は嘆息した。

かなしい聲である、わびしい呟きである。

穗芒をおもちやにして、ぐわんぜない子供も、好奇の瞳をかゞやかしてゐる。

常盤座の七月プロ　會員を募集

常盤座では新しい興行法として六月から一萬人會員を募集し最初から相當の成績をあげ、將來益々發展する可能性を認め、七月以後のプログラム編成のため小泉友勇氏が内地に赴いてゐたが、この程歸連し七月プログラムを大體左の如く内定した、なほ七月第一週は六日からで毎週六日間の豫定である

▲第一週　高木永二實演劇とパ社映畫「私の殺した男」メトロ映畫「俺は渡鳥」
▲第二週　コロムビア映畫「乘合馬車」パ社映畫「珍暗黑街」
▲第三週　パ社映畫「貨物船と女」メトロ映畫「大飛行艦隊」
▲第四週　パ社日本映畫「涙子」同「インチキ商賣」

會員券は普通一圓、特別一圓五十錢で廿六日から發賣してゐる

噂話

帝國館のトーキー興行「上海」は來る三十日まで二日間日延することに確定▲上海から歸つた長大日活館主の話す處によるとチヤプリンの「街の灯」は先づ望みがないとのこと▲銀の四千弗といふ話だつたが行つて見ると金の五千五百圓だと言ひ▲金さへつくればすぐ手に入るやうに傳へられてゐたが、そんな契約らしいものは一つも邦人との間に取交されてゐないとのこと

田吾作　ホームラン　帝國館上映

日活の大衆映畫監督池田富保を御大とする喜劇班の第一回作品で時代劇の俳優を現代劇に用ひた澤田清のロイド張りがミソの大衆的現代喜劇である

池田富保の原作監督でストオリイは田舍から青雲の志を抱いて神戸に出た青年田毎清作（澤田清）が許婚の豪農の娘（花井蘭子）のため小使の身であり乍ら僞支配人となつたゝめに首をきられ、失業の惱みを味つた末或夜首をきられた會社に押入つたギヤング團——實は會社の社員——を逮捕してホームランを飛ばし錦を飾つて故鄕に歸るといつた筋である。

池田富保の監督手法及び俳優指導は全くロイドの喜劇張りで大衆を謙なく笑はすところ老巧なもので內地では物凄く受けたといふからロイド物が何度映畫されても觀衆を笑はすと同じ理窟である

例へばボロ自動車に乘つて物凄いスピードで街を走る場面、ギヤング團に追はれてビルデイングを逃げ廻る驚天動地ときのテクニック等いづれもロイド映畫の模倣であるが、大衆には受けるのだらう、兎に角大衆本位の喜劇映畫である【寫眞は澤田清と花井蘭子】